

講義コード	U823000101	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)1		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	三宅 俊彦		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-308		

授業概要

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。まず、発音と初歩的な文法を学習することを中心に進めます。そして、簡単な会話(聞く・話す)を身につける学習を行います。教科書に示された程度の会話・文章を、聞いて理解し、また話せるようになることが、一年を通しての最終的な目標となります。授業は教科書に沿って進め、聞く・話すことのトレーニングを重視して行います。

到達目標

中国語を正しく発音できるようになる。中国語の初級文法を理解し、簡単な会話ができるようになる。中国語の初級文法を理解し、簡単な文章が書けるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス・中国語とはどのような言語か(ウォーミングアップ)
第2回	発音 1短母音 2声調 3二重母音 4三重母音
第3回	発音 5子音 6鼻音 7軽声
第4回	発音 8その他のルール 覚えておきたい表現 発音のまとめと理解度の確認
第5回	第1課 1人称代名詞 2“是” 3“嗎”疑問文
第6回	第2課 1疑問詞「だれ」 2疑問詞「何」「何の」 3“的”「～の」
第7回	第3課 1動詞述語文 2副詞「～も」 3省略疑問文「～は？」
第8回	第4課 1形容詞述語文 2曜日の言い方・尋ね方
第9回	第1課～第4課の復習
第10回	第5課 1疑問詞「どこ」 2時刻の言い方と数詞 3前置詞「～と」
第11回	第6課 1指示代名詞(1) 2存在を表す“在”
第12回	第7課 1所有と存在を表す“有” 2数量の言い方
第13回	第8課 1指示代名詞(2) 2いろいろな量詞 3値段の言い方・尋ね方
第14回	第5課～第8課の復習 理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	第1学期の復習
第17回	第9課 1動作が発生したことを表す“了” 2連動文(1)
第18回	第10課 1様態補語 2「～なのです」
第19回	第11課 1助動詞「～したい」 2動作の完了を表す「～した」 3前置詞「～で」
第20回	第12課 1「どうやって」「どのように」 2選択疑問文 3前置詞「～に」
第21回	第13課 1時量補語 2経験を表す「～したことがある」 3二重目的語をとる動詞
第22回	第9課～第13課の復習
第23回	第14課 1助動詞“会”「～できる」 2助動詞“能”「～できる」 3連動文(2)
第24回	第15課 1比較を表す 2反復疑問文 3名詞を修飾する“的”
第25回	第16課 1前置詞「～から/～まで」 2「ちょっと」 3比較を表す“没有” 4動詞の重ね型
第26回	第17課 1動作の進行を表す副詞 2結果補語
第27回	第18課 1助動詞「～しなければならない」 2変化を表す“了”
第28回	第14課～第18課の復習
第29回	全体の復習 理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

上記は目安であり、実際の授業では受講者の理解度・達成度を見ながら、柔軟に進めていく。

授業方法

講義形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に会話文・ポイントの例文を読み、発音練習をしておくこと(1~2時間)。授業で学習した文を復習し、日本語に訳しておくこと(1~2時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	30 %	
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 中間テスト:30% 第2学期(学年末試験):30% 第1学期の最後に中間テスト、第2学期に学年末試験を行います。また授業時間内に数回に一度の割合で復習の小テストを行います。さらに授業態度や出席状況などを加味して、総合的に評価します。小テスト:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

復習プリントや小テストは理解度を確認した後、返却する。また理解度に従い、授業内で解説を行う。

教科書

できる・つたわるコミュニケーション中国語,岩井伸子・胡興智,白水社,初,2015,9784560069356

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000102	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)2		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	和田 浩平		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1-208		

授業概要

中国語の初学者を対象とする授業です。発音からはじめ、必要な語彙を身につけ、やさしい文法の学習を行います。くりかえし学習することで、読む力、話す力、そして書く力を養っていきます。

到達目標

中国語の発音が正確にできること、簡体字、ピンインの読み書きができること、基礎的な語彙や文法を身につけることが主な目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス…授業の進め方。教材、辞書、評価について。中国語の発音(一)声調、単母音。
第2回	中国語の発音(二)複合母音。
第3回	中国語の発音(三)子音、無気音、有気音、音声の構成。
第4回	中国語の発音(四)声調の変化、ピンインのつづり方。
第5回	第一課 牛乳を飲みますか。人称代名詞、動詞述語文など。
第6回	練習問題。
第7回	第二課 これは誰のパソコンですか。指示詞、連体修飾の「的」、疑問詞疑問文など。
第8回	練習問題。
第9回	第三課 彼女の名前は？ 場所を表す指示詞、所在を表す「在」の用法。
第10回	練習問題。
第11回	第四課 一日にいくつ授業があるの？ 数詞、所有の「有」の用法、名詞述語文など。
第12回	練習問題。
第13回	第五課 宿題は多いですか。形容詞述語文、親族の言い方など。
第14回	練習問題。
第15回	前期のまとめと確認。
第16回	第六課 山登りは好きですか。反復疑問文、連動文など。
第17回	練習問題。
第18回	第七課 とてもすばらしい。完了の「了」の用法、選択疑問文など。
第19回	練習問題。
第20回	第八課 六時五分前になりました。文末の「了」の用法、動詞の連体修飾など。
第21回	練習問題。
第22回	第九課 君はいつやってきたの？ 「是～的」の文、経験を表す「過」の用法など。
第23回	練習問題。
第24回	第十課 「可以」の用法、結果補語、動詞の重ね型など。
第25回	練習問題。
第26回	第十一課 もうすぐ着きますか。様態補語、「給」の用法など。
第27回	練習問題。
第28回	第十二課 少し疲れました。主述述語文、「想」の用法など。
第29回	練習問題。
第30回	後期のまとめと確認。

授業計画コメント

授業の進度は状況によって変わります。

授業方法

講義形式で進めますが、発音の矯正をしたり、練習問題を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業の前にCDを聞いて、読み方の練習をしていただくのがよい。既習した課の復習をこころがけてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	発音、語彙、文法の確認をします。
学年末試験(第2学期)	40 %	初級の基礎力を総合的に確認します。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	出席率や授業にのぞむ姿勢を確認します。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各試験で力を発揮できたか、授業に安定して出席できたかなど、総合的に評価します。

各試験で基礎的な問題を正確にできたか。授業に安定して出席しているか。総合的な視点から評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行った場合には、授業内で答案を返却します。

教科書

中国語へのアプローチ, 楊凱榮・張麗群, 朝日出版社

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000103	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)3		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	平石 淑子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 南1-302		

授業概要

中国語を初めて学ぶ人のための講座です。一年を通して、発音を含め、中国語の基本的な約束事を学びます。併せてことばの背景にある文化を学び、日本との比較も行っていきます。

到達目標

- ・中国語の基礎的知識を身につけ、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。
- ・中国語を通して中国の文化を知り、日本の文化を再認識することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語の基礎知識——中国語とはどのような言語か ・学習の仕方、受講上の注意など
第2回	中国語の発音(1)声調と母音
第3回	中国語の発音(2)子音と鼻音
第4回	発音の総復習
第5回	中国語の基本的な仕組み 第1課: 課文読解と文法説明
第6回	第1課: 復習と練習問題
第7回	第1課の復習 第2課: 課文読解と文法説明
第8回	第2課: 復習と練習問題
第9回	第2課の復習 第3課: 課文読解と文法説明
第10回	第3課: 復習と練習問題
第11回	第3課の復習 第4課: 課文読解と文法説明
第12回	第4課: 復習と練習問題
第13回	第4課の復習 第5課: 課文読解と文法説明
第14回	第5課: 復習と練習問題
第15回	第5課の復習 第1課～第5課のまとめ
第16回	第1課～第5課の復習 第6課: 課文読解と文法説明
第17回	第6課: 復習と練習問題
第18回	第6課の復習 第7課: 課文読解と文法説明
第19回	第7課: 復習と練習問題
第20回	第7課の復習 第8課: 課文読解と文法説明
第21回	第8課: 復習と練習問題
第22回	第8課の復習 第9課: 課文読解と文法説明
第23回	第9課: 復習と練習問題
第24回	第9課の復習 第10課: 課文読解と文法説明
第25回	第10課: 復習と練習問題
第26回	第10課の復習 第11課: 課文読解と文法説明
第27回	第11課: 復習と練習問題
第28回	第11課の復習

第12課: 課文読解と文法説明

第29回 第12課: 復習と練習問題

第30回 第12課の復習
一年間の学習のまとめ

授業計画コメント

- ・各自復習をきちんとすること
- ・提出物は必ず提出すること

授業方法

演習形式で行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・毎日10分程度、中国語の発音を練習してください。
- ・授業前には必ず前回までの復習をし、わからないところがあれば質問できるようにしておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	30 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ・実授業の1/3以上欠席した場合は単位を認めない。
- ・出席していても授業に取り組む態度が不真面目であればマイナス評価になります。
- ・提出物などをきちんと提出しているか、内容が整っているかなども評価のポイントです。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題は毎回提出してもらい、そこから発見された問題点などについて、次の授業で解説します。

教科書

オリンピックへようこそ(講読編), 徐送迎, 朝日出版社, 2018, 978-4-255-45297-5

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000104	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)4		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-209		

授業概要

中国語未修者を対象とし、中国語の基本的な発音・文法等を学びます。特に高度な内容は含まれませんが、授業時間のみでなく、授業時間以外の地道な学習が必須な授業です。

到達目標

中国語の発音・語彙・文法の基礎をマスターし、簡単な中国語の文章を読み・書き・話し・聴くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	予備的説明 発音(1) 声調 単母音
第2回	発音(2) 複母音 子音
第3回	発音(3) 子音 鼻母音
第4回	発音(4) 鼻母音 軽声 声調変化 声調の組み合わせ r化
第5回	第1課 人称代名詞 判断を表す「是」 名前の尋ね方と答え方
第6回	第2課 動詞述語文 疑問詞疑問文 副詞「也」 省略疑問文の「呢」
第7回	第2課 (続き) 第3課 指示詞(1) 助詞「～的」 副詞「都」 文末の語気助詞「吧」
第8回	第3課 (続き) 第4課 数字の言い方(1) 所有を表す「有」と「没有」 形容詞述語文 年齢の言い方・尋ね方
第9回	第4課 (続き) 第5課 量詞・もの数の数え方 「几」と「多少」 比較の表現 値段の尋ね方 数字の言い方(2)
第10回	第5課 (続き)
第11回	第6課 年月日・曜日の言い方 時刻の言い方 助動詞(1)「想」 連動文
第12回	第6課 (続き) 第7課 存在の表現「有」と「在」 前置詞(1)「在」 反復疑問文
第13回	第7課 (続き) 総復習 I
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	期末試験の解説 第8課 完了を表す「了」 変化・到達を表す「了」 前置詞(2)「跟」 助動詞(2)「要」
第17回	第8課 (続き) 第9課 助動詞(3)「会」「能」「可以」 二つの目的語をとる動詞 動作の進行を表す「在」 動詞「喜欢」
第18回	第9課 (続き) 第10課 時間の長さを表す言葉(時量補語) 前置詞「从」「到」「离」「往」
第19回	第10課 (続き)
第20回	第11課 様態補語 経験を表す「过」 動作の回数を表す言葉(動量補語) 前置詞(4)「对」「给」
第21回	第11課 (続き) 第12課 動詞の重ね型 選択疑問文 持続を表す「着」 疑問詞と疑問文
第22回	中間試験 第12課 (続き)
第23回	第13課 結果補語 受身の表現 助動詞(4)「得」「应该」
第24回	第13課 (続き) 第14課 主述述語文 方向補語 「把」構文 「要～了」
第25回	第14課 (続き) 第15課 「是～的」構文 「有点儿」と「一点儿」 謹慎の表現 使役の表現
第26回	第15課 (続き) 第16課 前置詞のまとめ 助動詞のまとめ 補語のまとめ 否定の「不」と「没」
第27回	第16課 (続き)
第28回	総復習 II
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

テキストの内容に沿って、文法事項と例文の解説・発音練習・練習問題・小テストを繰り返します。文法事項の説明に当たっては、事前に解説を記したプリントを配布しますので、教室では発音練習・練習問題・小テストに重点を置きます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前には、例文・会話等の発音の練習をするとともに、事前に配布するプリントなども参考にして、各課の文法事項・例文・会話文・練習問題について、自分なりの解釈・解答を準備しておいて下さい(約1時間)。授業後には、学習した語彙・文法事項を整理した

上で例文を暗記し、簡単な応用問題にも対応できるようにしておいて下さい(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	15 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験・小テストは、原則として採点の上、返却し、授業内で解説します。

教科書

シンプルチャイニーズ 北京 文法篇,早稲田大学理工学術院中国語部会,朝日出版社,9784255453071

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000105	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)5		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	和田 浩平		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-208		

授業概要

中国語の初学者を対象とする授業です。発音からはじめ、必要な語彙を身につけ、やさしい文法の学習を行います。繰り返し学習することで、読む力、話す力、そして聞く力を養っていきます。新しい中国に対する理解も深めたいと考えています。

到達目標

中国語の発音が正確にできること、簡体字、ピンインの読み書きができること、基礎的な語彙や文法を身につけることが主な目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス……授業の進め方。教材、辞書、評価の仕方。中国語の発音(一)声調、単母音。
第2回	中国語の発音(二)複合母音。
第3回	中国語の発音(三)子音、無気音と有気音、音声の構成。
第4回	中国語の発音(四)声調の変化、ピンインの綴り方。
第5回	第一課『何を食べるの?』…人称代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文。
第6回	第一課の復習、練習問題
第7回	第二課『それって中国語の新聞?』…指示代名詞、名詞の前の修飾語。
第8回	第二課の復習、練習問題
第9回	第三課『かわいい!』…形容詞述語文、主述述語文、選択疑問文。
第10回	第三課の復習、練習問題
第11回	第四課『何人家族?』…数量の数え方、「有」の用法、「想」の用法。
第12回	第四課の復習、練習問題
第13回	第五課『家はどこ?』…方位詞、「在」の用法。
第14回	第五課の復習、練習問題
第15回	前期のまとめと確認
第16回	第六課『ごはん食べた?』…連動文、助動詞「要」の用法、文末の「了」。
第17回	第六課の復習、練習問題
第18回	第七課『一枚あげるよ』…目的語を二つ取れる動詞、時刻の言い方。
第19回	第七課の復習、練習問題
第20回	第八課『ちょっと見せて』…動詞の重ね型、「給」の用法、助動詞「可以」。
第21回	第八課の復習、練習問題
第22回	第九課『中国語話せるよ』…経験、持続を表す助詞、助動詞「会」、「能」。
第23回	第九課の復習、練習問題
第24回	第十課『まだ食事中?』…時間量を表す語句、様態補語、進行の表現。
第25回	第十課の復習、練習問題
第26回	第十一課『心配しないで』…結果補語、比較、「不要、別」の用法。
第27回	第十一課の復習、練習問題
第28回	第十二課『両親が帰ってくるようになって』…方向補語、使役の使い方。
第29回	第十二課の復習、練習問題
第30回	後期のまとめと確認

授業計画コメント

授業の進度は状況によって変わります。

授業方法

授業は講義形式ですが、中国語の基礎力を身につけるために、発声練習を繰り返します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業の前にCDを聞いて、読み方の練習をしてもらうことがのぞましい。既習した課の復習を心がけてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	発音、語彙、文法の習得度によって評価する。
学年末試験(第2学期)	40 %	初級の基礎力が身についているかを評価する。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	出席率や授業にのぞむ姿勢によって評価する。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

中国語の基礎が身についたか、各試験で力を発揮できたか、授業に安定して出席できたか等によって総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行った場合は、授業内で答案を返却します。

教科書

しっかり初級中国語,石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ,白水社

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000106	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)6		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	馬場 昭佳		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1-105		

授業概要

中国語をはじめて学ぶ学生が対象です。中国語の発音と基本的な語彙・文法を学んでいきます。

到達目標

- ・中国語を正しく発音できる
- ・中国語で簡単なコミュニケーションがとれる
- ・HSK(中国政府公認の中国語能力テスト)2級に合格できるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 声調
第2回	母音
第3回	子音
第4回	鼻母音 発音の細かいルール
第5回	第1課:人称代詞「是」「不是」副詞「也・都」
第6回	第2課:指示代詞「吗」疑問文 反復疑問文
第7回	第3課:形容詞述語文 副詞「很」
第8回	第4課:助詞「的」親族呼称
第9回	第5課:前置詞「在」「是～的」構文 疑問詞疑問文
第10回	第6課:数 年月日・曜日 疑問詞「几」省略疑問文
第11回	第7課:ものの数え方 動詞「有」その1 数詞「二」と「兩」
第12回	第8課:動詞「有」その2 動詞「在」「什么地方」と「哪儿」
第13回	復習:第1課～第8課
第14回	第1学期のまとめ
第15回	第1学期の到達度確認
第16回	第9課:疑問詞「怎么・为什么」副詞「这么・那么」
第17回	第10課:進行 前置詞「离・往・用」助動詞「得・要」
第18回	第11課:連動文 使役文 兼語文 前置詞「给」
第19回	第12課:否定詞「不・没」二重目的語 様態補語
第20回	第13課:助動詞「会・能・可以」助動詞「想・要」助詞「了」その1 疑問詞「几・多少」
第21回	第14課:アスペクト 助詞「着」助詞「过」その1
第22回	第15課:助詞「了」その2 助詞「过」その2 時刻
第23回	第16課:自然現象 比較 副詞「有点儿」と数量詞「一点儿」「快(要)～了」
第24回	第17課:結果補語 受け身文
第25回	第18課:動詞の重ね型 数量詞「一下」「把」構文
第26回	第19課:趨向補語 可能補語「越来越～」
第27回	第20課:疑問詞の呼応用法 複文の意味関係 離合詞
第28回	復習:第9課～第20課
第29回	第2学期のまとめ
第30回	第2学期の到達度確認

授業方法

グループワークによる練習・実践

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・授業前に新出単語を確認しておく(約15分)
- ・授業前に文法のポイントを予習しておく(約15分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	単位取得に必須
学年末試験(第2学期)	20 %	単位取得に必須
中間テスト		
レポート		
小テスト	60 %	リスニング形式 授業2回ごと 複数回受けられる
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業のため、授業中に適宜コメントする

教科書

中国語入門ルール66,相原茂 玄宜青,朝日出版社,2019,9784255453309

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

学生が自ら進んで学習に取り組む授業を目指します。したがって、先生の側からのアクション(一斉講義など)は極力しない方針です。なぜ中国語を学ぶのか、よく考えたうえで履修してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000107	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)7		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	許 家晟		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1-303		

授業概要

主に初めて中国語を学習する学生を対象にした基礎的内容の授業です。

到達目標

教科書にもとづき、中国語の発音や基礎的な語彙、日常会話などの学習・練習を行ない、一年間で簡単な日常会話ができるようになることを目指します。また、より理解しやすく、習得しやすいため、歴史や社会・文化に関連することについても説明します。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語についての説明、日本語との異同についての説明。発音:声調、単母音、複母音 挨拶。
第2回	発音:子音、無気音と有気音、そり舌音、挨拶。
第3回	発音:声調の変化・声調の組み合わせ。
第4回	発音の総復習
第5回	第1課:「チョコレートを食べますか?」
第6回	第2課:「ご実家はどちらですか?」
第7回	第3課:「私は日本人留学生です。」
第8回	これまでの復習
第9回	春学期中間テスト
第10回	第4課:「中国語は難しいですか?」
第11回	第5課:「お茶ありますか?」
第12回	第6課:「食べられますか?」
第13回	第7課:「お腹すいた。」
第14回	春学期総復習
第15回	前期末理解度確認試験
第16回	第8課:「購入できましたか?」
第17回	第9課:「雨が降っています。」
第18回	第10課:「あなたは上海語喋られますか?」
第19回	秋学期復習・一
第20回	第11課:「上海でどのくらい滞在するつもりですか?」
第21回	第12課:「紹介させていただきます。」
第22回	第13課:「ここは北京よりずっと蒸し暑いです。」
第23回	秋学期復習・二
第24回	秋学期中間テスト
第25回	第14課:「あそこはすごく賑やかなところです。」
第26回	第15課:「遠くありません、すぐにつきます。」
第27回	文章講読・一
第28回	文章講読・二
第29回	学年末総復習
第30回	学年末試験

授業方法

講義形式、グループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語の事前予習(30分)、授業後の内容復習(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業後、随時質問受け付けます。
グループワークの最後にコメントをします。

教科書

中国語の基礎づくり,張麗群 他,白帝社,初,2016,978-4-86398-045-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000108	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)8		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	大澤 顯浩		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 中央-501		

授業概要

中国語の語法の基礎を身に付ける。そのためによく書き、よく話し、暗唱する。さらに、コンピュータで中国語を利用できるようにする。

到達目標

中国語の基本的な語彙を身に付け、それらを用いた基本文型をマスターして、数語からなる短文を読み、発音し理解できるようにする。また、歌が歌える程度の中国語レベルを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語について、簡体字、ピンイン、発音
第2回	第一課 発音1
第3回	第二課 発音2
第4回	第三課 発音3
第5回	第一課～第三課復習
第6回	第四課 数の表現
第7回	第五課
第8回	第五課 キーボードでの中国語入力
第9回	第六課
第10回	第六課
第11回	第六課までの復習
第12回	第七課
第13回	第七課
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	第八課
第17回	第八課
第18回	第九課
第19回	第九課
第20回	第十課
第21回	第十課
第22回	第十一課
第23回	第十一課
第24回	第十二課
第25回	第十二課
第26回	第十三課
第27回	第十三課
第28回	第十四課
第29回	第十四課 初級の文法事項の学習、補足
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

必要な事項は適宜プリントで補充します。

授業方法

テキストの音読、プリント解説、単語・書き取りの小テスト、中国語テキストの入力

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

(予習)事前にテキストの該当部分の新出語彙を調べ2回以上朗読しておくこと(20分) (復習)授業で取り上げた基本例文を暗唱す

ること、小テストの復習チェック(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:出席しただけでは評価対象とはならない。(授業中のパフォーマンスを重視する)

第2学期(学年末試験)を重視する

第1学期(学期末試験)前期試験の成績はあくまでも通過点に過ぎません。あくまでも最終的な到達レベルで評価されるので油断しないこと。

小テスト:(満点のみプラス評価の対象とする)授業中に小テストを行いますので、一度返却した後に正答を書き加えたものを再度提出すること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に適宜解説、返却する

教科書

初級中国語 講読編, 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧著,金星堂,2017,9784764707047

教科書コメント

文法事項を中心に学習しますが、初級ではどうしても語彙が不足になりがちなので、辞書で調べる習慣をつけるようにしてください。

参考文献

クラウン中日辞典,三省堂

中日辞典,小学館または講談社、白水社

参考文献コメント

辞書は「小は大を兼ねない」ので、高価であっても初めにちゃんとした辞書を買うほうがよいと思います。最低限三省堂のクラウン中日辞典、中級以降のことを考えると小学館または講談社か白水社の中日辞典か東方書店の東方中国語辞典は備えておいてください。日中辞典は、初めのうちはさほど必要性を感じないと思いますので、特に買う必要はありません。最近では電子辞書を利用する諸君がめだっていますが、電子辞書の単語の配列は完全ローマ字順で画面も大きくないので、初心の人は熟語をひくと、かえって見落としがちになる例があります。電子辞書は本来ピンインをマスターしている人が利用するのに適しているようになってきているのでよく注意してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語をあるレベルまで身に付けるには、400時間程度の集中的な学習が必要なので、週1~2度の授業だけではどうしても不足します。予習復習は必ずしてください。質問はいつでも歓迎します。遅刻または欠席によって当人に如何なる不利益が生じたとしても一切関知しません。おまけとして、中国の歌をマスターするとポイントアップ!

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000109	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)9		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石野 一晴		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 5時限 西1-109		

授業概要

初めて中国語を学ぶ学生を対象として、発音と基本文法を学習します。特に前期の授業では発音を重視します。中国語の発音を表記する「ピンイン」を確実に理解したのちに、徐々に基本的な会話表現と文法を学んでいきます。テキストは日本と中国の異文化コミュニケーションを題材にした教材を利用します。何気ない会話のやりとりからは、日中の考え方や行動様式の違いを伺うことができるでしょう。皆さんも中国語と異文化と一緒に学んでみませんか。

到達目標

- ・基本的な単語を正確に発音できる。
- ・辞書を使いながら、基本的な会話・読解・作文ができる。
- ・中国語検定試験4級、HSK2級合格程度の能力を有する。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	発音編―声調と母音―:第1課
第3回	発音編―ピンイン・子音―:第2課
第4回	発音編―鼻母音―:第3課
第5回	発音編―声調変化―:第4課
第6回	あいさつ言葉と人称代名詞:第5課 ―どうぞよろしく―
第7回	名前の言い方:第6課―お名前は―
第8回	発音テスト(1)―ピンインと四声の基本―
第9回	指示代名詞と動詞述語文:第7課―ご出身は―
第10回	疑問詞の使い方:第8課―飲み物は―
第11回	数の数え方:第9課―おいくつ―
第12回	形容詞述語文:第10課―和食はいかが―
第13回	発音テスト(2)―基本的なあいさつ―
第14回	発音と基礎文法のまとめ
第15回	理解度の確認
第16回	前期のおさらい
第17回	助動詞「要」、主述述語文-第11課 家庭訪問-
第18回	助動詞「可以」、方向補語-第12課 買い物-
第19回	動詞の後ろの「了」-第13課 道案内-
第20回	年月日の言い方、文末の「了」-第14課 中秋節-
第21回	発音テスト(3)-基本的な例文の発音-
第22回	時刻の言い方、時間量の言い方-第15課 食事の前は-
第23回	結果補語、助動詞「会」-第16課 手作り料理-
第24回	可能補語、助動詞「能」-第17課 カニの季節-
第25回	様態補語・程度補語-第18課 スキー場で-
第26回	暗唱テスト(15個程度の基本的なフレーズを暗唱)
第27回	進行の表し方-第19課 おみやげ-
第28回	「把」構文-第20課 空港まで-
第29回	総復習
第30回	理解度の確認

授業方法

授業中は発音・練習問題等で頻繁に指名します。予習は必須。中国語を「口を大きく開けて大きな声で」発音してもらいます。毎回授業の冒頭に単語・文法テストを実施します。学期に2回「発音テスト」を実施して、基本的な発音が身についているか確認します。重要な例文については暗唱を求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

新出単語を辞書で調べておきましょう(20分)。一番重要なのは自宅でCDを聞き、最低でも3回は本文と単語を音読することです(10分)。各課の練習問題は事前に解答してきてください(10分)。予習はもちろんのこと復習も忘れないでください。毎回単語・文法の小テストを実施します。全ての単語のピンインと意味を覚え(30分)、基本的な例文を暗唱すること(30分)が必要になります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期の試験はできて当たり前、第2学期から難易度が高まりますので気を緩めずに勉強してください。なお、「出席点」は存在しません。平常点は「大きな声で発音しているか」「授業中の課題に積極的に取り組んでいるか」を評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストはその日の授業中にフィードバックします。

教科書

日中いぶこみ交差点,相原茂・陳淑梅・飯田敦子著,朝日出版社,978-4-255-45286-9

参考文献

中日辞典 第3版,北京商務印書館・小学館,小学館,2016,978-4095156040

参考文献コメント

必ず中日辞典を1冊購入してください。講談社もしくは白水社の中日辞典でも構いませんが、一番のお勧めは小学館のものです。高いと感じるかもしれませんが、特に2年生になるとその必要性を痛感するはずです。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000110	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)10		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	馬場 昭佳		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-105		

授業概要

中国語をはじめて学ぶ学生が対象です。中国語の発音と基本的な語彙・文法を学んでいきます。

到達目標

- ・中国語を正しく発音できる
- ・中国語で簡単なコミュニケーションがとれる
- ・HSK(中国政府公認の中国語能力テスト)2級に合格できるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 声調
第2回	母音
第3回	子音
第4回	鼻母音 発音の細かいルール
第5回	第1課:人称代詞「是」「不是」副詞「也・都」
第6回	第2課:指示代詞「吗」疑問文 反復疑問文
第7回	第3課:形容詞述語文 副詞「很」
第8回	第4課:助詞「的」親族呼称
第9回	第5課:前置詞「在」「是～的」構文 疑問詞疑問文
第10回	第6課:数 年月日・曜日 疑問詞「几」省略疑問文
第11回	第7課:ものの数え方 動詞「有」その1 数詞「二」と「兩」
第12回	第8課:動詞「有」その2 動詞「在」「什么地方」と「哪儿」
第13回	復習:第1課～第8課
第14回	第1学期のまとめ
第15回	第1学期の到達度確認
第16回	第9課:疑問詞「怎么・为什么」副詞「这么・那么」
第17回	第10課:進行 前置詞「离・往・用」助動詞「得・要」
第18回	第11課:連動文 使役文 兼語文 前置詞「给」
第19回	第12課:否定詞「不・没」二重目的語 様態補語
第20回	第13課:助動詞「会・能・可以」助動詞「想・要」助詞「了」その1 疑問詞「几・多少」
第21回	第14課:アスペクト 助詞「着」助詞「过」その1
第22回	第15課:助詞「了」その2 助詞「过」その2 時刻
第23回	第16課:自然現象 比較 副詞「有点儿」と数量詞「一点儿」「快(要)～了」
第24回	第17課:結果補語 受け身文
第25回	第18課:動詞の重ね型 数量詞「一下」「把」構文
第26回	第19課:趨向補語 可能補語「越来越～」
第27回	第20課:疑問詞の呼応用法 複文の意味関係 離合詞
第28回	復習:第9課～第20課
第29回	第2学期のまとめ
第30回	第2学期の到達度確認

授業方法

グループワークによる練習・実践

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・授業前に新出単語を確認しておく(約15分)
- ・授業前に文法のポイントを予習しておく(約15分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	単位取得に必須
学年末試験(第2学期)	20 %	単位取得に必須
中間テスト		
レポート		
小テスト	60 %	リスニング形式 授業2回ごと 複数回受けられる
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業のため、授業中に適宜コメントする

教科書

中国語入門ルール66,相原茂 玄宜青,朝日出版社,2019,9784255453309

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

学生が自ら進んで学習に取り組む授業を目指します。したがって、先生の側からのアクション(一斉講義など)は極力しない方針です。なぜ中国語を学ぶのか、よく考えたうえで履修してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000111	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)11		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	日原 きよみ		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-302		

授業概要

基礎となる発音練習を徹底して行い、初級段階の基本文法を体系的に学習する。中国語の特徴的な文の構造を理解し、正しい表現ができるようにする。また中国語の学習を通じて、中国語という言語の特色や中国の社会や歴史、日本や日本語との関係などについても考えられるような授業にしたい。

到達目標

中国語の基本構造を理解し、応用できるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語概説と簡単な発音練習
第2回	第1課
第3回	第2課
第4回	第3課
第5回	発音発展練習／挨拶言葉と基礎語彙
第6回	第4課
第7回	第5課
第8回	第6課
第9回	第7課
第10回	第8課
第11回	第9課
第12回	第10課（一学期は第10課までの学習を目標とする）
第13回	復習と応用練習
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	第11課
第17回	第12課
第18回	第13課
第19回	第14課
第20回	第15課
第21回	第16課
第22回	第17課
第23回	第18課
第24回	復習と応用練習
第25回	〃
第26回	〃
第27回	プリントによる応用学習
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

進度は受講生の理解度によって調整する。

授業方法

まず徹底して発音の基礎を身につけ、テキストに沿って学習を進める。各課の流れは、本文(会話文)の理解→文法説明→置き換え練習→リスニング練習→ドリルの順に進めたい。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習:その日学ぶ課の本文を読んで訳ができるようにしておき、発音練習もしておく。リスニング問題とドリルはあらかじめやっておく。

復習:繰り返し発音し、置き換え練習を繰り返す。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40% 出席と積極的な参加を重視する。

新しい語学への積極的な取り組み(試験成績や普段の勉強、出席などから)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業でできなかった問題については宿題として提出してもらい、それによって達成度を確認する。

教科書

入門中国語 西遊記へのオマージュ,童鍾文,朝日出版社,改定,2020,ISBN978-4-255-45336-1 C1087

参考文献コメント

辞書、参考書等については授業時に必要に応じて紹介する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

初めての言語である。みなが初心者。間違いを恥じず大きな声で発音し、積極的に質問や意見を出してほしい。発音練習、聞き取りやドリルなど、予復習をしっかりとすることが大切である。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000112	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)12		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	大澤 顯浩		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 5時限 中央-505		

授業概要

中国語の語法の基礎を身に付ける。そのためによく書き、よく話し、暗唱する。さらに、コンピュータで中国語を利用できるようにする。

到達目標

中国語の基本的な語彙を身に付け、それらを用いた基本文型をマスターして、数語からなる短文を読み、発音し理解できるようにする。また、歌が歌える程度の中国語レベルを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語について、簡体字、ピンイン、発音
第2回	第一課 発音1
第3回	第二課 発音2
第4回	第三課 発音3
第5回	第一課～第三課復習
第6回	第四課 数の表現
第7回	第五課
第8回	第五課 キーボードでの中国語入力
第9回	第六課
第10回	第六課
第11回	第六課までの復習
第12回	第七課
第13回	第七課
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	第八課
第17回	第八課
第18回	第九課
第19回	第九課
第20回	第十課
第21回	第十課
第22回	第十一課
第23回	第十一課
第24回	第十二課
第25回	第十二課
第26回	第十三課
第27回	第十三課
第28回	第十四課
第29回	第十四課 初級の文法事項の学習、補足
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

必要な事項は適宜プリントで補充します。

授業方法

テキストの音読、プリント解説、単語・書き取りの小テスト、中国語テキストの入力

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

(予習)事前にテキストの該当部分の新出語彙を調べ2回以上朗読しておくこと(20分) (復習)授業で取り上げた基本例文を暗唱す

ること、小テストの復習チェック(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:出席しただけでは評価対象とはならない。(授業中のパフォーマンスを重視する)

第2学期(学年末試験)を重視する

第1学期(学期末試験)前期試験の成績はあくまでも通過点に過ぎません。あくまでも最終的な到達レベルで評価されるので油断しないこと。

小テスト:(満点のみプラス評価の対象とする)授業中に小テストを行いますので、一度返却した後に正答を書き加えたものを再度提出すること。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に適宜解説、返却する

教科書

初級中国語 講読編, 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧著,金星堂,2017,9784764707047

教科書コメント

文法事項を中心に学習しますが、初級ではどうしても語彙が不足になりがちなので、辞書で調べる習慣をつけるようにしてください。

参考文献

クラウン中日辞典,三省堂

中日辞典,小学館または講談社、白水社

参考文献コメント

辞書は「小は大を兼ねない」ので、高価であっても初めにちゃんとした辞書を買うほうがよいと思います。最低限三省堂のクラウン中日辞典、中級以降のことを考えると小学館または講談社か白水社の中日辞典か東方書店の東方中国語辞典は備えておいてください。日中辞典は、初めのうちはさほど必要性を感じないと思いますので、特に買う必要はありません。最近は電子辞書を利用する諸君がめだっていますが、電子辞書の単語の配列は完全ローマ字順で画面も大きくないので、初心の人は熟語をひくと、かえって見落としがちになる例があります。電子辞書は本来ピンインをマスターしている人が利用するのに適しているようになってきているのでよく注意してください。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語をあるレベルまで身に付けるには、400時間程度の集中的な学習が必要なので、週1~2度の授業だけではどうしても不足します。予習復習は必ずしてください。質問はいつでも歓迎します。遅刻または欠席によって当人に如何なる不利益が生じたとしても一切関知しません。おまけとして、中国の歌をマスターするとポイントアップ!

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000113	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)13		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	平石 淑子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 南1-302		

授業概要

中国語を初めて学ぶ人の為の講座です。一年を通して、発音を含め、中国語の基本的な約束事を学びます。併せてことばの背景にある文化を学び、日本との比較も行っていきます。

到達目標

- ・中国語の基礎知識を身につけ、簡単な挨拶や自己紹介ができるようになる。
- ・中国語を通して中国の文化を知り、日本の文化を再認識することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語の基礎知識——中国語とはどのような言語か 学習のしかた、受講上の注意など
第2回	中国語の発音(1)声調と母音
第3回	中国語の発音(2)子音と鼻音
第4回	発音の総復習
第5回	第1課:どうぞよろしく
第6回	第1課:復習と練習問題 第2課:到着ロビーで
第7回	第2課:復習と練習問題 第3課:明日のスケジュール
第8回	第1課～第3課の復習
第9回	第4課:喫茶店で
第10回	第6課:復習と練習問題 第4課:復習と練習問題
第11回	第5課:コンビニで買い物
第12回	第5課:復習と練習問題
第13回	第6課:電子辞書がほしい
第14回	第7課:復習と練習問題 第6課:復習と練習問題
第15回	第1課～第6課のまとめ
第16回	第1課～第6課の復習
第17回	第7課:京劇を見る
第18回	第7課:復習と練習問題
第19回	第8課:ファーストフード店で昼食
第20回	第8課:復習と練習問題
第21回	第9課:カラオケ店で
第22回	第9課:復習と練習問題
第23回	第10課:万里の長城に登る
第24回	第10課:復習と練習問題
第25回	第11課:診察を受ける
第26回	第11課:復習と練習問題
第27回	第12課:タクシーに乗る
第28回	第12課:復習と練習問題
第29回	第7課～第12課の復習
第30回	第1課～第12課のまとめ

授業計画コメント

- ・各自復習をきちんとすること
- ・授業に積極的に参加すること
- ・提出物は必ず提出すること

授業方法

授業方法

演習形式で行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・毎日10分程度、中国語の発音を練習してください。
- ・授業前には必ず前回までの復習をし、分からない所があれば質問できるようにしておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ・実授業の1/3以上欠席した場合は単位を認めない。
- ・出席していても、授業に取り組む姿勢、態度が不真面目であれば、マイナス評価になります。
- ・提出物がきちんと出されているか、内容が整っているかなども評価のポイントです。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題は毎回提出してもらい、そこから発見された問題点などについて、次の授業で解説します。

教科書

1冊めの中国語(講読クラス),劉穎他,白水社,2019,9784560069196

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000114	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)14		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	三宅 俊彦		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1-308		

授業概要

中国語を初めて学ぶ人のための授業です。まず、発音と初歩的な文法を学習することを中心に進めます。そして、簡単な会話(聞く・話す)を身につける学習を行います。教科書に示された程度の会話・文章を、聞いて理解し、また話せるようになることが、一年を通しての最終的な目標となります。授業は教科書に沿って進め、聞く・話すことのトレーニングを重視して行います。

到達目標

中国語を正しく発音できるようになる。中国語の初級文法を理解し、簡単な会話ができるようになる。中国語の初級文法を理解し、簡単な文章が書けるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス・中国語とはどのような言語か(ウォーミングアップ)
第2回	発音 1短母音 2声調 3二重母音 4三重母音
第3回	発音 5子音 6鼻音 7軽声
第4回	発音 8その他のルール 覚えておきたい表現 発音のまとめと理解度の確認
第5回	第1課 1人称代名詞 2“是” 3“嗎”疑問文
第6回	第2課 1疑問詞「だれ」 2疑問詞「何」「何の」 3「～の」
第7回	第3課 1動詞述語文 2副詞「～も」 3省略疑問文「～は？」
第8回	第4課 1形容詞述語文 2曜日の言い方・尋ね方
第9回	第1課～第4課の復習
第10回	第5課 1疑問詞「どこ」 2時刻の言い方と数詞 3前置詞「～と」
第11回	第6課 1指示代名詞(1) 2存在を表す“在”
第12回	第7課 1所有と存在を表す“有” 2数量の言い方
第13回	第8課 1指示代名詞(2) 2いろいろな量詞 3値段の言い方・尋ね方
第14回	第5課～第8課の復習 理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	第1学期の復習
第17回	第9課 1動作が発生したことを表す“了” 2連動文(1)
第18回	第10課 1様態補語 2「～なのです」
第19回	第11課 1助動詞「～したい」 2動作の完了を表す「～した」 3前置詞「～で」
第20回	第12課 1「どうやって」「どのように」 2選択疑問文 3前置詞「～に」
第21回	第13課 1時量補語 2経験を表す「～したことがある」 3二重目的語をとる動詞
第22回	第9課～第13課の復習
第23回	第14課 1助動詞“会”「～できる」 2助動詞“能”「～できる」 3連動文(2)
第24回	第15課 1比較を表す 2反復疑問文 3名詞を修飾する“的”
第25回	第16課 1前置詞「～から/～まで」 2「ちょっと」 3比較を表す“没有” 4動詞の重ね型
第26回	第17課 1動作の進行を表す副詞 2結果補語
第27回	第18課 1助動詞「～しなければならない」 2変化を表す“了”
第28回	第14課～第18課の復習
第29回	全体の復習 理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

上記は目安であり、実際の授業では受講者の理解度・達成度を見ながら、柔軟に進めていく。

授業方法

講義形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に会話文・ポイントの例文を読み、発音練習をしておくこと(1~2時間)。授業で学習した文を復習し、日本語に訳しておくこと(1~2時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	30 %	
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 中間テスト:30% 第2学期(学年末試験):30% 第1学期の最後に中間テスト、第2学期に学年末試験を行います。また授業時間内に数回に一度の割合で復習の小テストを行います。さらに授業態度や出席状況などを加味して、総合的に評価します。小テスト:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

復習プリントや小テストは理解度を確認した後、返却する。また理解度に従い、授業内で解説を行う。

教科書

できる・つたわるコミュニケーション中国語,岩井伸子・胡興智,白水社,初,2015,9784560069356

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000115	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)15		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小野 泰教		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-101		

授業概要

この授業では、中国語学習の基礎となる発音(およびその表記法であるピンイン)、簡体字の読み書き、そして文法について学習する。次の2点には特に力を入れる。第1に、中国語の基礎文法をマスターし、初級レベルの中国語文を正確に逐語訳する能力を身につける。第2に、教科書の文章を正確に発音する能力を身につける。その際にはネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら朗読練習を行う。そして授業での学習を通じ、最終的には、自分のことや自身の生活について中国語で簡単に表現・紹介できる能力を身につけたい。

到達目標

- ・ピンインや簡体字のしくみについて説明することができる。
- ・教科書の文章を文法事項に基づいて正確に逐語訳することができる。
- ・教科書の文章を正確にかつ感情豊かに朗読することができる。
- ・初級文法を使って自己表現をすることができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 発音練習(声調・単母音・複母音)
第2回	発音練習(子音・-n、-ngを持つ母音・軽声・声調の変化・アル化・声調の組み合わせ)
第3回	第1課 文法学習(人称代名詞・AはBである・～か)
第4回	第1課 本文読解・作文練習
第5回	第2課 文法学習(動詞述語文・疑問詞疑問文・省略疑問文)
第6回	第2課 本文読解・作文練習
第7回	第3課 文法学習(指示代名詞・形容詞述語文・～の・～ましょう/～なさいよ/～でしょう?)
第8回	第3課 本文読解・作文練習
第9回	第4課 文法学習(所有の表現・反復疑問文・数詞)
第10回	第4課 本文読解・作文練習
第11回	第5課 文法学習(場所を表わす代名詞・存在の表現・～も/～みな・二重目的語文)
第12回	第5課 本文読解・作文練習
第13回	第6課 文法学習(…は～にいる/ある・動詞の重ね型・時を表わす語の位置)
第14回	第1学期の復習
第15回	理解度の確認
第16回	第6課 本文読解・作文練習
第17回	第7課 文法学習(量詞・実現や完了・～したい)
第18回	第7課 本文読解・作文練習
第19回	第8課 文法学習(連動文・(場所)で～する・時刻の言い方・名詞述語文)
第20回	第8課 本文読解・作文練習
第21回	第9課 文法学習(～することができる・～と(一緒に)…する・～に/～のために…する・主述述語文)
第22回	第9課 本文読解・作文練習
第23回	第10課 文法学習(様態補語・～したことがある・AはBより～だ・～をするのを好む)
第24回	第10課 本文読解・作文練習
第25回	第11課 文法学習(進行・方向補語・選択疑問文)
第26回	第11課 本文読解・作文練習
第27回	第12課 文法学習(…は～したのです・結果補語・時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置)
第28回	第12課 本文読解・作文練習
第29回	第2学期の復習
第30回	理解度の確認

授業方法

- ・単語と文法を学習し、本文を日本語訳、朗読していく。
- ・文法の学習には教科書のほか適宜プリント等を用いる場合がある。
- ・ネイティブの発音や感情のこめ方を詳しく考察したうえで、本文の朗読を行う。

・学習した文法に基づき、作文練習を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・辞書等を用いつつ、教科書の単語、例文、本文の日本語訳を作成しておくこと(1時間30分程度)。
- ・教科書付属のCDを聞き、ネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら、例文、本文の朗読練習をしておくこと(30分程度)。
- ・作文課題にあらかじめ取り組んでおくこと(30分程度)。
- ・授業後は、学習した単語、例文、本文を復習し、暗唱するとともに、自分の気に入った表現をメモし、日常的に口ずさむ習慣をつけること(1時間程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの答えは返却し、授業中に解説を行う。

教科書

はじめまして！ 中国語、喜多山 幸子、鄭 幸枝、白水社、9784560069219

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

- ・授業で発言する時には、自分の分かるところまでしっかりと考えること。分からない場合でも「どこが分からないのか」「なぜ分からないのか」をはっきり答えること。授業では、そうした発言・思考への頑張り进行评估する。
- ・教科書付属のCDを1日5分でよいので聴く習慣を身につけてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000116	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)16		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	蝦名 良亮		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1-214		

授業概要

聞き、読み、話し、書く作業を繰り返して、基本的な口語表現および文法事項を習得する。

到達目標

500語程度の語彙で、現代中国語による日常生活におけるコミュニケーション能力を養成する。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業概要の説明 第1課 発音1 単母音・複母音
第2回	第2課 発音2 子音
第3回	第3課 発音3 鼻母音
第4回	第4課 発音4 軽声・声調変化
第5回	第5課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 人称代名詞
第6回	第6課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 名詞述語文
第7回	第7課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 指示詞(1)・存在動詞
第8回	学習内容の確認と中間総括
第9回	第8課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 経験相・連動文
第10回	第9課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 形容詞述語文
第11回	第10課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 選択疑問文
第12回	第11課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 時点表現・時量補語
第13回	第12課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 疑問詞疑問文
第14回	1学期学習内容理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	第1学期の復習 第13課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 量詞
第17回	第14課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 結果補語・進行
第18回	第15課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 様態補語
第19回	第16課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 二重目的語
第20回	第17課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 方向補語
第21回	第18課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 可能補語
第22回	学習内容の確認と中間総括
第23回	第19課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 反復疑問文・比較
第24回	第20課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 義務の助動詞
第25回	第21課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 処置文
第26回	第22課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 存現文
第27回	第23課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 持続
第28回	第24課 本文・新出単語・短文読解・発音会話練習 祈願文
第29回	第2学期学習内容理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

基本的に指定テキストの構成に準拠します。限られた授業時間を有効に活用するために、会話形式の本文と文法例文の予習を欠かさずに毎回の授業に臨んでください。

授業方法

教師による説明と出席者の個人練習を交えて進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと(約20分)。

授業の復習と次回小テストの準備(約20分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	前期後期に行う
レポート		
小テスト	20 %	回数は未定、基本的な単語の確認を主とする
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		授業回数の3分の2以上の出席が評価の前提
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期(中間と学期末試験):40% 第2学期(中間と学期末試験):40%(訳読・文法運用能力) 小テスト:20%(つづり・単語の知識)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは原則として返却し、授業内で解説を行う。

教科書

初級中国語きっかけ24,相原茂・蘇紅,朝日出版社,初版,2020,9784255453347C1087

教科書コメント

教科書は毎回持参してください。

参考文献コメント

参考書や辞書は特に定めません。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

通年で20回ほど小テストを行います。またできるだけ口頭での発表を求めますから、十分な予習と復習をしたうえで積極的に授業に参加してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000117	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)17		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-209		

授業概要

中国語未修者を対象とし、中国語の基本的な発音・文法等を学びます。特に高度な内容は含まれませんが、授業時間のみでなく、授業時間以外の地道な学習が必須な授業です。

到達目標

中国語の発音・語彙・文法の基礎をマスターし、簡単な中国語の文章を読み・書き・話し・聴くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	予備的説明 発音(1) 声調 単母音
第2回	発音(2) 複母音 子音
第3回	発音(3) 子音 鼻母音
第4回	発音(4) 鼻母音 軽声 声調変化 声調の組み合わせ r化
第5回	第1課 人称代名詞 判断を表す「是」 名前の尋ね方と答え方
第6回	第2課 動詞述語文 疑問詞疑問文 副詞「也」 省略疑問文の「呢」
第7回	第2課 (続き) 第3課 指示詞(1) 助詞「～的」 副詞「都」 文末の語気助詞「吧」
第8回	第3課 (続き) 第4課 数字の言い方(1) 所有を表す「有」と「没有」 形容詞述語文 年齢の言い方・尋ね方
第9回	第4課 (続き) 第5課 量詞・ものの数え方 「几」と「多少」 比較の表現 値段の尋ね方 数字の言い方(2)
第10回	第5課 (続き)
第11回	第6課 年月日・曜日の言い方 時刻の言い方 助動詞(1)「想」 連動文
第12回	第6課 (続き) 第7課 存在の表現「有」と「在」 前置詞(1)「在」 反復疑問文
第13回	第7課 (続き) 総復習 I
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	期末試験の解説 第8課 完了を表す「了」 変化・到達を表す「了」 前置詞(2)「跟」 助動詞(2)「要」
第17回	第8課 (続き) 第9課 助動詞(3)「会」「能」「可以」 二つの目的語をとる動詞 動作の進行を表す「在」 動詞「喜欢」
第18回	第9課 (続き) 第10課 時間の長さを表す言葉(時量補語) 前置詞「从」「到」「离」「往」
第19回	第10課 (続き)
第20回	第11課 様態補語 経験を表す「过」 動作の回数を表す言葉(動量補語) 前置詞(4)「对」「给」
第21回	第11課 (続き) 第12課 動詞の重ね型 選択疑問文 持続を表す「着」 疑問詞と疑問文
第22回	中間試験 第12課 (続き)
第23回	第13課 結果補語 受身の表現 助動詞(4)「得」「应该」
第24回	第13課 (続き) 第14課 主述述語文 方向補語 「把」構文 「要～了」
第25回	第14課 (続き) 第15課 「是～的」構文 「有点儿」と「一点儿」 謹慎の表現 使役の表現
第26回	第15課 (続き) 第16課 前置詞のまとめ 助動詞のまとめ 補語のまとめ 否定の「不」と「没」
第27回	第16課 (続き)
第28回	総復習 II
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

テキストの内容に沿って、文法事項と例文の解説・発音練習・練習問題・小テストを繰り返します。文法事項の説明に当たっては、事前に解説を記したプリントを配布しますので、教室では発音練習・練習問題・小テストに重点を置きます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前には、例文・会話等の発音の練習をするとともに、事前に配布するプリントなども参考にして、各課の文法事項・例文・会話文・練習問題について、自分なりの解釈・解答を準備しておいて下さい(約1時間)。授業後には、学習した語彙・文法事項を整理した

上で例文を暗記し、簡単な応用問題にも対応できるようにしておいて下さい(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	15 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験・小テストは、原則として採点の上、返却し、授業内で解説します。

教科書

シンプルチャイニーズ 北京 文法篇,早稲田大学理工学術院中国語部会,朝日出版社,9784255453071

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000118	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)18		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	日原 きよみ		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-302		

授業概要

基礎となる発音練習を徹底して行い、初級段階の基本文法を体系的に学習する。中国語の特徴的な文の構造を理解し、正しい表現ができるようにする。また中国語の学習を通じて、中国語という言語の特色や中国の社会や歴史、日本や日本語との関係などについても考えられるような授業にしたい。

到達目標

中国語の基本構造を理解し、応用できるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語概説と簡単な発音練習
第2回	第1課
第3回	第2課
第4回	第3課
第5回	発音発展練習／挨拶言葉と基礎語彙
第6回	第4課
第7回	第5課
第8回	第6課
第9回	第7課
第10回	第8課
第11回	第9課
第12回	第10課（一学期は第10課までの学習を目標とする）
第13回	復習と応用練習
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	第11課
第17回	第12課
第18回	第13課
第19回	第14課
第20回	第15課
第21回	第16課
第22回	第17課
第23回	第18課
第24回	復習と応用練習
第25回	〃
第26回	〃
第27回	プリントによる応用学習
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

進度は受講生の理解度によって調整する。

授業方法

まず徹底して発音の基礎を身につけ、テキストに沿って学習を進める。各課の流れは、本文(会話文)の理解→文法説明→置き換え練習→リスニング練習→ドリルの順に進めたい。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習:その日学ぶ課の本文を読んで訳ができるようにしておき、発音練習もしておく。リスニング問題とドリルはあらかじめやっておく。
復習:繰り返し発音し、置き換え練習を繰り返す。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40% 出席と積極的な参加を重視する。

新しい語学への積極的な取り組み(試験成績や普段の勉強、出席などから)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業でできなかった問題については宿題として提出してもらい、それによって達成度を確認する。

教科書

入門中国語 西遊記へのオマージュ,童鍾文,朝日出版社,改定,2020,ISBN978-4-255-45336-1 C1087

参考文献コメント

辞書、参考書等については授業時に必要に応じて紹介する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

初めての言語である。みなが初心者。間違いを恥じず大きな声で発音し、積極的に質問や意見を出してほしい。発音練習、聞き取りやドリルなど、予復習をしっかりすることが大切である。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000119	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)19		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小野 泰教		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1-210		

授業概要

この授業では、中国語学習の基礎となる発音(およびその表記法であるピンイン)、簡体字の読み書き、そして文法について学習する。次の2点には特に力を入れる。第1に、中国語の基礎文法をマスターし、初級レベルの中国語文を正確に逐語訳する能力を身につける。第2に、教科書の文章を正確に発音する能力を身につける。その際にはネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら朗読練習を行う。そして授業での学習を通じ、最終的には、自分のことや自身の生活について中国語で簡単に表現・紹介できる能力を身につけたい。

到達目標

- ・ピンインや簡体字のしくみについて説明することができる。
- ・教科書の文章を文法事項に基づいて正確に逐語訳することができる。
- ・教科書の文章を正確にかつ感情豊かに朗読することができる。
- ・初級文法を使って自己表現をすることができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 発音練習(声調・単母音・複母音)
第2回	発音練習(子音・-n、-ngを持つ母音・軽声・声調の変化・アル化・声調の組み合わせ)
第3回	第1課 文法学習(人称代名詞・AはBである・～か)
第4回	第1課 本文読解・作文練習
第5回	第2課 文法学習(動詞述語文・疑問詞疑問文・省略疑問文)
第6回	第2課 本文読解・作文練習
第7回	第3課 文法学習(指示代名詞・形容詞述語文・～の・～ましょう/～なさいよ/～でしょう?)
第8回	第3課 本文読解・作文練習
第9回	第4課 文法学習(所有の表現・反復疑問文・数詞)
第10回	第4課 本文読解・作文練習
第11回	第5課 文法学習(場所を表わす代名詞・存在の表現・～も/みな・二重目的語文)
第12回	第5課 本文読解・作文練習
第13回	第6課 文法学習(…は～にいる/ある・動詞の重ね型・時を表わす語の位置)
第14回	第1学期の復習
第15回	理解度の確認
第16回	第6課 本文読解・作文練習
第17回	第7課 文法学習(量詞・実現や完了・～したい)
第18回	第7課 本文読解・作文練習
第19回	第8課 文法学習(連動文・(場所)で～する・時刻の言い方・名詞述語文)
第20回	第8課 本文読解・作文練習
第21回	第9課 文法学習(～することができる・～と(一緒に)…する・～に/～のために…する・主述述語文)
第22回	第9課 本文読解・作文練習
第23回	第10課 文法学習(様態補語・～したことがある・AはBより～だ・～をするのを好む)
第24回	第10課 本文読解・作文練習
第25回	第11課 文法学習(進行・方向補語・選択疑問文)
第26回	第11課 本文読解・作文練習
第27回	第12課 文法学習(…は～したのです・結果補語・時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置)
第28回	第12課 本文読解・作文練習
第29回	第2学期の復習
第30回	理解度の確認

授業方法

- ・単語と文法を学習し、本文を日本語訳、朗読していく。
- ・文法の学習には教科書のほか適宜プリント等を用いる場合がある。
- ・ネイティブの発音や感情のこめ方を詳しく考察したうえで、本文の朗読を行う。

・学習した文法に基づき、作文練習を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・辞書等を用いつつ、教科書の単語、例文、本文の日本語訳を作成しておくこと(1時間30分程度)。
- ・教科書付属のCDを聞き、ネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら、例文、本文の朗読練習をしておくこと(30分程度)。
- ・作文課題にあらかじめ取り組んでおくこと(30分程度)。
- ・授業後は、学習した単語、例文、本文を復習し、暗唱するとともに、自分の気に入った表現をメモし、日常的に口ずさむ習慣をつけること(1時間程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの答えは返却し、授業中に解説を行う。

教科書

はじめまして！ 中国語、喜多山 幸子、鄭 幸枝、白水社、9784560069219

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

- ・授業で発言する時には、自分の分かるところまでしっかりと考えること。分からない場合でも「どこが分からないのか」「なぜ分からないのか」をはっきり答えること。授業では、そうした発言・思考への頑張り进行评估する。
- ・教科書付属のCDを1日5分でよいので聴く習慣を身につけてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000120	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)20		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	李 和書		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 中央-503		

授業概要

中国語未修者を対象とした、文法が中心となる授業である。この授業では通年で原則として指定の教科書の項目順に沿って授業を進め、中国語の発音をしっかり和習得してもらった上で、文法の基礎および文章の構造を一年かけてきちんと解説する。授業理解の到達度の確認として、一回おきに小テストなどを行う。なお、授業のスケジュールや内容は、学期開始後に実際の状況に応じて一部変更する場合もある。

到達目標

自分の伝えたいことを基礎的な中国語で表現できる能力を養成し、そして初歩的な中国語作文能力を身に付け、平易な現代中国語で書かれた文章を読めることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス ピンイン1(声調・母音)
第2回	ピンイン2(子音・声調の変化)
第3回	第1課 您贵姓?
第4回	第2課 喝茶吗?
第5回	第3課 你有时间吗?
第6回	第4課 你喜欢吃鱼还是吃肉?
第7回	復習と補足
第8回	第5課 我不会唱中国歌儿
第9回	第6課 唱了三个多小时
第10回	第7課 刘荣嗓子比我好
第11回	復習と補足
第12回	第8課 有点儿累了
第13回	第9課 喝完咖啡陪我去看看
第14回	第10課 我怕穿出去被人笑话
第15回	理解度の確認
第16回	第11課 咱们得回去了
第17回	第12課 下雨了
第18回	第13課 公司派我去出差
第19回	第14課 您汉语说得真好
第20回	復習と補足
第21回	第15課 十二点多才睡着
第22回	第16課 有人来接你吗?
第23回	第17課 该准备的都准备好了
第24回	第18課 又给您添麻烦了,真过意不去
第25回	復習と補足
第26回	第19課 晚上好好儿休息
第27回	第20課 祝你们生活美满,白头到老
第28回	第21課 谢谢你的祝福
第29回	復習と補足
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

授業中にわからない点があれば積極的に質問すること。

授業方法

原則として指定の教科書の項目順に沿って授業を進め、基本的に講義形式をとる。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で取り上げる単語や短文、文法のポイントについて予習や復習を行うのはもとより、教材の各課の練習問題をしっかり完成・確認し、さらに教科書の本文や用例を暗記するのも肝要である。余力があれば、教材の音声をなるべく毎日聞き・復唱するように努力することが望ましい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは自己採点のうえ、授業内で解説する。

教科書

基礎漢語,楊凱栄ほか,白帝社,初,2017,9784891749866

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

受講の際には、辞書または電子辞書を持参することが望ましい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000121	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)21		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	菅野 恵美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-301		

授業概要

この授業では、中国語の基本的な文法・語彙・発音・読解・ヒアリングの力を身につけることを目指しています。

到達目標

中国語の発音表記(ピンイン)の読み方を習得する。
正しい発音とリズムが身につくようにする。
対話練習を行い、文法の理解と語彙を増やす。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 発音と表記方法(1)母音の発音と表記法
第2回	発音と表記方法(2)子音の発音と表記法
第3回	人称代名詞と述語(1)「私は〜です」の文
第4回	人称代名詞と述語(2)疑問文と否定文
第5回	動詞を使った表現と疑問詞(1)基本的な動詞を覚える
第6回	動詞を使った表現と疑問詞(2)動詞を増やし会話文を作る
第7回	これ・それ、形容詞を使った表現(1)基本的な形容詞
第8回	これ・それ、形容詞を使った表現(2)状況説明をする
第9回	所有を示す表現、数字(1)家族構成の説明、数字の基本
第10回	所有を示す表現、数字(2)4桁まで表現する
第11回	場所と存在を示す表現(1)居場所を説明する
第12回	場所と存在を示す表現(2)物が置かれた場所を説明する会話文を作る
第13回	時点の表現(1)主な時点
第14回	時点の表現(2)一日、一年の計画を説明する
第15回	理解度の確認
第16回	物の数え方、完了表現(1)量詞と物との関係について
第17回	物の数え方、完了表現(2)主な量詞を覚える。完了の規則を把握する。
第18回	複数動作と時間表現(1)時間の表現を覚える
第19回	複数動作と時間表現(2)一日の行動を表現する
第20回	助動詞と前置詞(1)主な助動詞・前置詞とその規則
第21回	助動詞と前置詞(2)会話文を作る
第22回	経験と比較の表現(1)経験と比較の規則
第23回	経験と比較の表現(2)比較の否定文
第24回	進行を示す表現(1)基本形
第25回	進行を示す表現(2)様々な動詞で進行形を表現する
第26回	強調文と時間量・回数の表現(1)主な時間量・回数と目的語との関係
第27回	強調文と時間量・回数の表現(2)強調文と時間量・回数を組み合わせた会話文の作成
第28回	復習
第29回	朗読練習:ピンイン表記のない文章を読む訓練をする
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

語学を習得するには、基本的に毎回の積極的な授業参加と復習が重要です。毎回休まずに出席してください。ミニテストは中国語のレベルを上げるために効果的ですから、準備をし、参加するよう心がけましょう。

授業方法

先ず前回のテーマを復習をします。次に当日の授業テーマを教員が説明し、受講者がグループで学習内容を会話形式で実践します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習した上でミニテストに臨むこと。前回学んだことについて教科書・ノートを見直しておくこと。(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

学期末試験では聴き取り・筆記両方を試験します。中国語の発音表記を正確に発音し、聴き取って表記して簡体字に変換できるか、そして文法理解、語彙力、などを評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

ミニテストや前期の期末テストは次週あるいは次学期に返却し、評価を明示します。

後期の期末テストは評価配分が高いので、成績によって明示します。

教科書

『中国語ポイント42』,本間 史、孟 広学,白水社,最新

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823000122	科目ナンバリング	002D141
講義名	中国語B(初級)22		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-201		

授業概要

中国語未修者を対象とし、中国語の基本的な発音・文法等を学びます。特に高度な内容は含まれませんが、授業時間のみでなく、授業時間以外の地道な学習が必須な授業です。

到達目標

中国語の発音・語彙・文法の基礎をマスターし、簡単な中国語の文章を読み・書き・話し・聴くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	予備的説明 発音(1) 声調 単母音
第2回	発音(2) 複母音 子音
第3回	発音(3) 子音 鼻母音
第4回	発音(4) 鼻母音 軽声 声調変化 声調の組み合わせ r化
第5回	第1課 人称代名詞 判断を表す「是」 名前の尋ね方と答え方
第6回	第2課 動詞述語文 疑問詞疑問文 副詞「也」 省略疑問文の「呢」
第7回	第2課 (続き) 第3課 指示詞(1) 助詞「～的」 副詞「都」 文末の語気助詞「吧」
第8回	第3課 (続き) 第4課 数字の言い方(1) 所有を表す「有」と「没有」 形容詞述語文 年齢の言い方・尋ね方
第9回	第4課 (続き) 第5課 量詞・もの数の数え方 「几」と「多少」 比較の表現 値段の尋ね方 数字の言い方(2)
第10回	第5課 (続き)
第11回	第6課 年月日・曜日の言い方 時刻の言い方 助動詞(1)「想」 連動文
第12回	第6課 (続き) 第7課 存在の表現「有」と「在」 前置詞(1)「在」 反復疑問文
第13回	第7課 (続き) 総復習 I
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	期末試験の解説 第8課 完了を表す「了」 変化・到達を表す「了」 前置詞(2)「跟」 助動詞(2)「要」
第17回	第8課 (続き) 第9課 助動詞(3)「会」「能」「可以」 二つの目的語をとる動詞 動作の進行を表す「在」 動詞「喜欢」
第18回	第9課 (続き) 第10課 時間の長さを表す言葉(時量補語) 前置詞「从」「到」「离」「往」
第19回	第10課 (続き)
第20回	第11課 様態補語 経験を表す「过」 動作の回数を表す言葉(動量補語) 前置詞(4)「对」「给」
第21回	第11課 (続き) 第12課 動詞の重ね型 選択疑問文 持続を表す「着」 疑問詞と疑問文
第22回	中間試験 第12課 (続き)
第23回	第13課 結果補語 受身の表現 助動詞(4)「得」「应该」
第24回	第13課 (続き) 第14課 主述述語文 方向補語 「把」構文 「要～了」
第25回	第14課 (続き) 第15課 「是～的」構文 「有点儿」と「一点儿」 謹慎の表現 使役の表現
第26回	第15課 (続き) 第16課 前置詞のまとめ 助動詞のまとめ 補語のまとめ 否定の「不」と「没」
第27回	第16課 (続き)
第28回	総復習 II
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

テキストの内容に沿って、文法事項と例文の解説・発音練習・練習問題・小テストを繰り返します。文法事項の説明に当たっては、事前に解説を記したプリントを配布しますので、教室では発音練習・練習問題・小テストに重点を置きます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前には、例文・会話等の発音の練習をするとともに、事前に配布するプリントなども参考にして、各課の文法事項・例文・会話文・練習問題について、自分なりの解釈・解答を準備しておいて下さい(約1時間)。授業後には、学習した語彙・文法事項を整理した

上で例文を暗記し、簡単な応用問題にも対応できるようにしておいて下さい(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	15 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験・小テストは、原則として採点の上、返却し、授業内で解説します。

教科書

シンプルチャイニーズ 北京 文法篇,早稲田大学理工学術院中国語部会,朝日出版社,9784255453071

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001101	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)1[時事]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石野 一晴		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-109		

授業概要

この授業では初級で学んだ発音や初級文法を基礎として、中国語で平易な日常会話ができるようになることを目指します。そのためまず重視するのは正確な発音です。ピンインの習得がまだ不十分な学生は、重点的にトレーニングをする必要があります。その上で、語彙力を高めるため、毎回授業冒頭に単語試験を実施します。

授業では、声を出す場面が多くなります。教科書の単語や本文を読みあげるのはもちろんのこと、教科書に出てきたフレーズを応用してその場で表現を口に出してもらいことも頻繁にあるでしょう。90分間の授業を終えるとぐったりしてしまうかもしれませんが、トレーニングを最後まで続けた学生さんには確かな中国語力が身につけていることをお約束します。

到達目標

中国語初級で身につけた語彙力・文法知識・リスニング力をさらに高め、中国語で平易な日常会話ができるようになる。HSK4級相当の中国語力を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	第1課(1) 过洋节
第3回	第1課(2)
第4回	第2課(1) 直率
第5回	第2課(2)
第6回	第3課(1) 军训
第7回	第3課(2)
第8回	第4課(1) 餐厅
第9回	第4課(2)
第10回	第5課(1) 妈妈和儿子
第11回	第5課(2)
第12回	第6課(1) 陪床
第13回	第6課(2)
第14回	総復習
第15回	理解度の確認
第16回	第7課(1) 签证
第17回	第7課(2)
第18回	第8課(1) 待遇
第19回	第8課(2)
第20回	第9課(1) 北京的天空
第21回	第9課(2)
第22回	第10課(1) 男朋友
第23回	第10課(2)
第24回	第11課(1) 没想到
第25回	第11課(2)
第26回	第12課(1) 贝多芬和样板戏
第27回	第12課(2)
第28回	予備回
第29回	総復習
第30回	理解度の確認

授業方法

会話体の教科書を使って、単語や文法知識を学び、やや高度な会話を理解できるようにします。その上で、教科書の表現を踏まえて、会話の中で実際にそれらの表現が使えるようトレーニングしていきます。教科書の一部を暗唱してもらいこともあります。基本的に1課を2回で終わらせます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

新出単語を辞書で調べ、本文の意味を正確に日本語訳できるようにする(30分)。附属CDを聞いて、最低3回は本文を朗読する(10分)。次回の小テストに備えて、単語のピンイン・意味を覚え(30分)、例文を暗唱する(30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

「出席点」は存在しません。平常点は授業中の積極性を評価します。なお、理由無く半期で5回以上欠席した場合には、期末試験の受験資格を放棄したものとみなします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に適宜フィードバックする。

教科書

大学生のための現代中国12話・4,黄漢青・杉野元子,白帝社,2015,9784863982062

参考文献

中日辞典 第3版,北京商務印書館・小学館,小学館,2016,978-4095156040

参考文献コメント

必ず中型の中日辞典を手許に備えてください。すでに別の中型辞典を購入しているのであれば、それを継続して使ってもらっても構いません。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001102	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)2[時事]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	和田 浩平		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 南1-205		

授業概要

中国語の初級を終えた人を対象とする授業です。初級で学習した発音、語彙、文法を確認しながら時事に関する文章を読んでいきます。テキストに声調符号も語注も備わっていますが、自分でも辞書を用いて読むことになります。

到達目標

中国語の基礎力、応用力の定着をめざしながら、最新の中国事情を理解する力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国大使の講演(1)
第2回	中国大使の講演(2)
第3回	中国料理(1)
第4回	中国料理(2)
第5回	AIが学校へ(1)
第6回	AIが学校へ(2)
第7回	労働環境の変化(1)
第8回	労働環境の変化(2)
第9回	宅配便で暮らしが一変(1)
第10回	宅配便で暮らしが一変(2)
第11回	テレビドラマ(1)
第12回	テレビドラマ(2)
第13回	呼び名一人間関係と社会の変化(1)
第14回	呼び名一人間関係と社会の変化(2)
第15回	前期のまとめと確認。
第16回	プーアル茶からコーヒー豆へ(1)
第17回	プーアル茶からコーヒー豆へ(2)
第18回	街のこぼれ話(1)
第19回	街のこぼれ話(2)
第20回	中国マネーと日本企業(1)
第21回	中国マネーと日本企業(2)
第22回	北京のヤナギ(1)
第23回	北京のヤナギ(2)
第24回	健康志向の時代(1)
第25回	健康志向の時代(2)
第26回	内モンゴルのネットアイドル(1)
第27回	内モンゴルのネットアイドル(2)
第28回	北朝鮮への旅行(1)
第29回	北朝鮮への旅行(2)
第30回	後期のまとめと確認。

授業計画コメント

中級の授業ですが、初級のレベルを確認しながら進めていきます。現代中国に興味をもてるように中国がかかえる諸問題に言及していきます。授業の進捗は状況によって変わります。

授業方法

はじめに読解の担当者(学生)が本文を中国語で読み、日本語に訳出します。その後で発音を矯正し、文法事項を確認しながら、参考となる訳文を紹介します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業に出る前に、予習として、和訳を作成してみてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	発音、語彙、文法の定着度を確認します。
学年末試験(第2学期)	40 %	基礎力及び少し難しい時事文の理解度を確認します。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	出席率と読解担当にのぞむ姿勢で評価します。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

読解の担当を熱心にやったか。また、試験で力を発揮できたか。そして、安定して出席しているかなどによって、総合的に評価します。

読解の担当部分が正確にできたか。試験で基礎的な文章が理解できたか。出席が安定していたか。総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行った場合には、授業内で答案を返却します。

教科書

時事中国語の教科書,三潴正道・陳祖蓓・古屋順子,朝日出版社,2020年度

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001103	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)3[社会・思想]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1-103		

授業概要

中国語初級を修了した学生を対象に、初級よりも一段高い中国語の読解力の習得を目指す授業です。教材として、中国の社会や文化に関する短文を使用する予定です。あくまで、外国語の授業であり、中国語の能力を高めることが第一の目的ですから、そのための毎回の予習・復習が不可欠です。

到達目標

初級で身につけた中国語の語彙や文法についての知識をさらに伸ばし、平易な書き言葉で書かれた文章(HSK4級程度)を理解できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の中国語読解力の確認(1)
第2回	履修者の中国語読解力の確認(2)・初級文法事項のまとめ(1)
第3回	初級文法事項のまとめ(2)
第4回	初級文法事項のまとめ(3)
第5回	テキストの読解と解説(1)
第6回	テキストの読解と解説(2)
第7回	テキストの読解と解説(3)
第8回	テキストの読解と解説(4)
第9回	テキストの読解と解説(5)
第10回	テキストの読解と解説(6)
第11回	テキストの読解と解説(7)
第12回	テキストの読解と解説(8)
第13回	テキストの読解と解説(9)
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	レポート課題の解説
第17回	テキストの読解と解説(10)
第18回	テキストの読解と解説(11)
第19回	テキストの読解と解説(12)
第20回	テキストの読解と解説(13)
第21回	テキストの読解と解説(14)
第22回	テキストの読解と解説(15)
第23回	テキストの読解と解説(16)
第24回	テキストの読解と解説(17)
第25回	テキストの読解と解説(18)
第26回	テキストの読解と解説(19)
第27回	テキストの読解と解説(20)
第28回	テキストの読解と解説(21)
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

年度によって受講者のレベルに違いがあるので、まず最初にレベル確認を行います。その後、初級で学習した文法知識のまとめを行い、テキストの読解に入ります。

テキストの読解は、文章を中国語で発音した後に日本語訳を行うという、標準的な訳読の形式をとります。最初の段階ではピンイン付きのものを用いますが、次第にピンインを減らし、最終的にはピンイン無しの文章を用いることをめざします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前には、事前に配布された講読文や文法事項に関する例文について、発音練習・自分なりの日本語訳を作成しておいて下さい(約1~2時間)。授業後には、授業内容を復習し、教材に出てきた語彙や基本的な言い回しについては、他の場面でも応用できるようにして下さい(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は原則として採点の上、返却します。また、レポート課題については、授業中に解説を加えます。

教科書コメント

特定のテキストは使用せず、プリントを配布します。また、講読文の他に、文法事項に関連する資料も、必要に応じて配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001104	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)4[社会・思想]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	蝦名 良亮		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-214		

授業概要

中国語の古典文章語と現代の文章語、それぞれの特徴を把握しつつ、現代中国語を通して中国古典を読解する。比較的短い素材文(古典原文と現代中国語訳)について、ピンインを介しての口頭での発音練習をした後、主として現代中国語訳の文章を中心に読解に必要な文法的な知識を確認する。

到達目標

初級中国語の学習で得た、主として口語の発音と文法の知識をもとに現代中国語における文章を読むスキルにまで洗練させる。より具体的には、1)辞書を活用しつつ、新聞社説程度の現代文章語を読むことができる。2)日中共有の古典を現代普通話の発音で、中国語として音読する習慣を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業概要の説明(口語と文章語、古典語と現代語)。発音の復習。工具書の紹介。
第2回	塞翁失馬
第3回	両小兒辯日
第4回	晏子使荆
第5回	長安何如日遠
第6回	呉興老狸
第7回	馬説
第8回	黔之驢
第9回	賣油翁
第10回	愛蓮説
第11回	樂府二首
第12回	詞曲二首
第13回	詩經二首
第14回	到達度の確認と解説
第15回	自主研究
第16回	古典読解上の留意点
第17回	論語二則
第18回	老子三章
第19回	孟子二章
第20回	河伯與海若
第21回	四面楚歌
第22回	樂羊子妻
第23回	賣炭翁
第24回	水調歌頭
第25回	桃花源記1
第26回	桃花源記2
第27回	赤壁之戰1
第28回	赤壁之戰2
第29回	到達度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

基本的に指定教科書に沿って授業を進めます。後期には適宜現代中国の文章を補充教材として使用する予定です。

授業方法

- 1 古典と現代中国語訳の音読練習。
- 2 文法ポイントの解説と確認。
- 3 補充プリントによる問題演習。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

補充プリントによる音読練習と文法問題演習。(約10分)事前にG-portを通じてデジタル化したデータを配布します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	第1・第2学期に一回ずつ予定
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	無断欠席など、減点法で算定します。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(出席状況。予習の確認。)小テスト(授業の簡単な確認):10%第1学期(中間と学期末試験):40% 第2学期(中間と学年末試験):40%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト・テストの答えは原則として返却し、授業内で解説を行う。

教科書

現代中国語で読む古典,青木五郎,白帝社,2000,9784891744236

教科書コメント

教科書は語学教科書ではなく一般語学書として出版されたものです。古典原文は簡体字/ピンイン表記、現代中国語訳は簡体字表記、これに古典文法の解説と現代日本語訳が添えられています。授業では現代中国語訳を主要な教材とし、それに関する補充プリントによって、文法事項を確認することになります。

参考文献コメント

中日辞典・中国語辞典は入手しておくのが望ましいと思います。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回の授業で何かを習得しようという意識で授業に参加してください。事前にG-portを通じ副教材としてデータを配布するので必ず打ち出したうえで持参してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001105	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)5[歴史]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	大澤 顯浩		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 中央-505		

授業概要

中国の歴史を題材とした平易な文章を読解し、中国語の文の構造を解析し理解できるようにする。

到達目標

中国史についての一般常識を身につけ、中国語で記された文章の大意を辞書なしで理解できるようにする。さらに研究論文の読解に役立てることも視野に入れた語学力の育成を目標とする。web上のデータベースの利用など実際の場面で中国語を活用してみる。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(1)
第3回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(2)
第4回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(3)
第5回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(4)
第6回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(5)
第7回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(6)
第8回	ピンインのついた文章の講読「三字経」(7)
第9回	一般的な中国語の読解「故事成語」(1)
第10回	一般的な中国語の読解「故事成語」(2)
第11回	一般的な中国語の読解「故事成語」(3)
第12回	一般的な中国語の読解「故事成語」(4)
第13回	一般的な中国語の読解「故事成語」(5)
第14回	まとめ
第15回	予備日
第16回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(1)
第17回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(2)
第18回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(3)
第19回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(4)
第20回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(5)
第21回	歴史的な題材をとった文章の選読「民間故事」(6)
第22回	歴史的な題材をとった文章の選読(1)
第23回	歴史的な題材をとった文章の選読(2)
第24回	歴史的な題材をとった文章の選読(3)
第25回	歴史的な題材をとった文章の選読(4)
第26回	歴史的な題材をとった文章の選読(5)
第27回	歴史的な題材をとった文章の選読(6)
第28回	歴史的な題材をとった文章の選読(7)
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

受講生諸氏の要望にもよるがなるべく様々な形式の文章に触れるようにしたい。webも利用して総合的に読むことを意識するようにする。

授業方法

テキストの読解と解説

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

(予習)事前にテキストの該当部分の新出語彙を調べ通読しておくこと(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート	20 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

学年末試験を重視する。
レポート(夏休みの課題)
平常点(クラス参加、グループ作業の成果等、授業中のパフォーマンス)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時間に適宜、解説して返却する予定

教科書コメント

テキストはプリントを作成して配布する予定

参考文献

中国語の構文,王亜新,アルク,2011

参考文献コメント

授業中に適宜紹介する

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

中級既習者の参加も歓迎する。小学館『中日辞典』程度の辞書を用意するのが望ましい。ハンディな辞書では中級以上のレベルになると役に立たないことが多い。中国語は少なくとも3000語は語彙を身につけなければ一定のレベルには到達しないので、とにかく、まず半年は頑張ること。なお遅刻または欠席によって当人に如何なる不利益が生じたとしても一切関知しない。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001106	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)6[歴史]		
副題	語彙力を高め、読解力を高める		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	菅野 恵美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-301		

授業概要

この授業は、中国語初級を終えた学生を対象に中国語の文章の読解力を養うことを目的とし、文法理解・基本的語彙の習得・音読練習を重視する。
 毎回の授業では、受講者の文章音読の発音と日本語訳の試案を確認し、文法と語彙の説明を行う。
 各課では、発音表記の無い文章の音読テストと筆記テストを行う。

到達目標

発音表記無しでも文章を正しく音読し、内容が理解できるようになる。
 基本的な文法と語彙を習得する。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンスおよび参加者らの中国語力の確認を行う。簡単な用語と文法の復習。第1課(1)「自己紹介」の語彙・発音・文法の確認。
第2回	第1課(2)「自己紹介」の語彙・発音・文法の確認。自分の趣味と得手不得手を表現する。
第3回	第1課(3)「自己紹介」の例文の暗記と会話練習。家族構成を表現し、時量を使った動作表現を理解する。
第4回	第1課(4)「自己紹介」の音読・発音表記テスト。自己紹介文を作る。
第5回	第2課(1)「你为什么学习汉语？」の語彙・発音・文法の確認。理由の表現方法。「ますます～だ」の表現。数字の表現。
第6回	第2課(2)「你为什么学习汉语？」の語彙・発音・文法の確認。例えば、の表現。「～にとっては」の表現。
第7回	第2課(3)「你为什么学习汉语？」の例文の暗記と会話練習。
第8回	第2課(4)「你为什么学习汉语？」の音読・発音表記テスト。
第9回	第3課(1)「怎么学好汉语？」の語彙・発音の確認。
第10回	第3課(2)「怎么学好汉语？」の語彙・文法の確認。
第11回	第3課(3)「怎么学好汉语？」の例文の暗記と会話練習。
第12回	第3課(4)「怎么学好汉语？」の音読・発音表記テスト。
第13回	第1課から第3課の復習。日中大学生の討論番組を視聴し、討論内容を確認する。
第14回	第4課(1)「电子邮件二则」の語彙・発音の確認。
第15回	第4課(2)「电子邮件二则」の語彙・文法の確認。
第16回	第4課(3)「电子邮件二则」の例文の暗記と会話練習。
第17回	第4課(4)「电子邮件二则」の音読・発音表記テスト。
第18回	第5課(1)「匆匆 朱自清」の語彙・発音の確認。
第19回	第5課(2)「匆匆 朱自清」の語彙・文法の確認。
第20回	第5課(3)「匆匆 朱自清」の例文の暗記と会話練習。
第21回	第5課(4)「匆匆 朱自清」の音読・発音表記テスト。
第22回	第6課(1)「明日歌 (清) 錢鶴灘」の語彙・発音の確認。
第23回	第6課(2)「明日歌 (清) 錢鶴灘」の語彙・文法の確認。
第24回	第6課(3)「明日歌 (清) 錢鶴灘」の例文の暗記と会話練習。
第25回	第6課(4)「明日歌 (清) 錢鶴灘」の音読・発音表記テスト。
第26回	第7課(1)「中日関係」の語彙・発音の確認。
第27回	第7課(2)「中日関係」の語彙・文法の確認。
第28回	第7課(3)「中日関係」の例文の暗記と会話練習。
第29回	第7課(4)「中日関係」の音読・発音表記テスト。
第30回	中国のTV番組を観て、主食と地理・歴史の関係について理解する。

授業計画コメント

語学の習得では、基本的に受講者の積極的な授業参加と予習・復習が重要です。毎回休まずに出席すること。参加者には、中日辞典を用意し使いこなしてもらいたい。

授業方法

授業方法

音読、訳読、文法・語彙説明、重要単語を用いた作文・会話練習、の順に行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

本文の中国語を日本語に訳してくる。音読して理解できるよう、何度も音読練習すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	50 %	聴き取りと筆記テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	50 %	音読テスト(発音記号の無い中国語を正しく音読する)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストの評価は次週に返却し明示します。

教科書

総合力をきたえる 実用中級中国語, 郭春貴・郭久美子, 白帝社, 2012, 9784863980921

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001107	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)7[文学]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	和田 浩平		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-201		

授業概要

中国語の初級を終えた人を対象とする授業です。はじめは初級で学習した発音、語彙、文法を確認しながらやさしい文章を読んできます。その後は、声調符号のない白文の文章に移ります。中国の故事、伝説、歴史、文化、生活、自然などの内容が含まれています。読む力を鍛えながら、中国に対する理解を深めていきます。

到達目標

中国語の基礎力の定着、そして応用力を養うことが目標です。同時に新しい中国に対する理解も深めていきたいと考えています。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス……授業の進め方。教材、辞書、評価について。
第2回	寓言(一)
第3回	寓言(二)
第4回	故事(一)
第5回	故事(二)
第6回	謎謎(一)
第7回	謎謎(二)
第8回	地方の祭り(一)
第9回	地方の祭り(二)
第10回	各地の風味(一)
第11回	各地の風味(二)
第12回	伝説(一)
第13回	伝説(二)
第14回	中国茶(一)
第15回	前期のまとめと確認
第16回	中国茶(二)
第17回	書籍(一)
第18回	書籍(二)
第19回	三国志(一)
第20回	三国志(二)
第21回	煙草と酒(一)
第22回	煙草と酒(二)
第23回	北京(一)
第24回	北京(二)
第25回	魯迅(一)
第26回	魯迅(二)
第27回	春節(一)
第28回	春節(二)
第29回	中国からの手紙
第30回	後期のまとめと確認

授業計画コメント

中級の授業ですが、初級のレベルを確認しながら進めていきます。後期にはかなり読めるようになると思います。授業の進度は状況によって変わります。

授業方法

はじめに読解の担当者(学生)が本文を中国語で読み、日本語に訳出します。その後で、発音を矯正し、文法事項を確認しながら、参考となる訳文を紹介します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業の前には予習として、和訳を作成してみてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	発音、語彙、文法の定着度を評価します。
学年末試験(第2学期)	40 %	基礎学力を再確認し、少し難しい作品の理解度を評価します。
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	出席率、読解担当にのぞむ姿勢で評価します。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

読解の担当を正確にできるか。また、各試験で力を発揮できるか。そして、出席が安定しているか等によって評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行った場合は、授業内で返却します。

教科書

中文課本(応用編),竹島金吾・張乃方,金星堂

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001108	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)8[文学]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	小野 泰教		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-202		

授業概要

この授業では、随時初級文法も復習しながら、中級レベルの中国語読解能力を身につけることを目標とする。この授業では第1に、中国語の文章の正確な逐語訳を作る能力および文章をネイティブのリズムで感情豊かに朗読する能力を養成する。第2に、中国の若者を主人公とする文章を中心教材とし、その読解を通じて、中国文学を読解するうえでの前提知識となる中国の人々のものの考え方や文化的背景について理解を深める。

到達目標

- ・中級レベルの文章の正確な逐語訳ができる。
- ・教科書の文章をネイティブのリズムで感情豊かに朗読できる。
- ・中国文学を読む際の前提知識となる中国の人々のものの考え方や文化的背景について説明できる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	第1課 文法学習
第3回	第1課 本文読解 朗読練習
第4回	第2課 文法学習
第5回	第2課 本文読解 朗読練習
第6回	第3課 文法学習
第7回	第3課 本文読解 朗読練習
第8回	第4課 文法学習
第9回	第4課 本文読解 朗読練習
第10回	第5課 文法学習
第11回	第5課 本文読解 朗読練習
第12回	第6課 文法学習
第13回	第6課 本文読解 朗読練習
第14回	第1学期の復習
第15回	理解度の確認
第16回	第7課 文法学習
第17回	第7課 本文読解 朗読練習
第18回	第8課 文法学習
第19回	第8課 本文読解 朗読練習
第20回	第9課 文法学習
第21回	第9課 本文読解 朗読練習
第22回	第10課 文法学習
第23回	第10課 本文読解 朗読練習
第24回	第11課 文法学習
第25回	第11課 本文読解 朗読練習
第26回	第12課 文法学習
第27回	第12課 本文読解 朗読練習
第28回	第2学期の復習
第29回	全体の復習
第30回	理解度の確認

授業方法

- ・単語と文法を学習した後、本文を日本語に翻訳し、朗読していく。
- ・本文を理解した後、必要に応じて配布資料なども参照しながら、各回の内容について教員、学生相互で情報を共有する。その際は、事前に集めてきた情報を学生からも提供してもらう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・教科書の単語や文法を辞書を用いて予習し、本文の正確な日本語訳を作る(1時間程度)。
- ・各レッスンの内容につき、書籍やインターネットで情報を収集する(30分程度)。
- ・教科書付属の音声教材を聞き、ネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら、例文・本文の朗読練習をしておく(30分程度)。
- ・授業で講読した中国語の逐語訳を復習する(30分程度)。
- ・授業で得た情報につき、自分なりの感想をまとめておく(30分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの答案は返却し、授業中に解説を行う。
- ・各回の議論における学生の発言に対しては、そのつどコメントを行う。

教科書

大学生のための中級中国語20回, 杉野 元子、黄 漢青, 白帝社, 9784863983694

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

- ・授業で発言する時には、自分の分かるところまでしっかりと考えること。分からない場合でも「どこが分からないのか」「なぜ分からないのか」をはっきり答えること。授業では、そうした発言・思考への頑張り进行评估する。
- ・教科書付属の音声教材を1日5分のでよいので聴く習慣を身につけてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001109	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)9[総合]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	小野 泰教		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-206		

授業概要

この授業では、中級レベルの中国語の読解、発音・リスニング、作文の総合的学習を行う。読解については、随時、初級文法も復習しながら、正確な逐語訳の能力を身につける。発音・リスニングについては、漢字1字1字の発音力向上に加え、ネイティブの発話リズムの習得にも力を入れる。作文については、教科書本文から有用な表現をピックアップして学習するほか、多くの練習問題にも取り組む。以上の学習を通じて、最終的には、自身の学生生活等を中級中国語を使って表現できるようになることを目指す。

到達目標

- ・中級レベルの中国語の正確な逐語訳ができる。
- ・教科書の文章をネイティブの発話リズムで朗読できる。
- ・教科書で学習した文法事項に基づき、中国語作文ができる。
- ・学習を通じて、自身の学生生活等を中級中国語を使って表現できる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	第1課 自己紹介 文法学習 本文読解
第3回	第1課 本文読解 朗読練習、作文練習
第4回	第2課 私の家庭 文法学習 本文読解
第5回	第2課 本文読解 朗読練習、作文練習
第6回	第3課 インターネット 文法学習 本文読解
第7回	第3課 本文読解 朗読練習、作文練習
第8回	第4課 デート 文法学習 本文読解
第9回	第4課 本文読解 朗読練習、作文練習
第10回	第5課 温泉旅行 文法学習 本文読解
第11回	第5課 本文読解 朗読練習、作文練習
第12回	第6課 私の趣味 文法学習 本文読解
第13回	第6課 本文読解 朗読練習、作文練習
第14回	第1学期の復習
第15回	理解度の確認
第16回	第7課 友達になる 文法学習 本文読解
第17回	第7課 本文読解 朗読練習、作文練習
第18回	第8課 会食 文法学習 本文読解
第19回	第8課 本文読解 朗読練習、作文練習
第20回	第9課 目覚まし時計 文法学習 本文読解
第21回	第9課 本文読解 朗読練習、作文練習
第22回	第10課 アルバイト 文法学習 本文読解
第23回	第10課 本文読解 朗読練習、作文練習
第24回	第11課 冬休み 文法学習 本文読解
第25回	第11課 本文読解 朗読練習、作文練習
第26回	第12課 留学 文法学習 本文読解
第27回	第12課 本文読解 朗読練習、作文練習
第28回	文法の復習
第29回	第2学期の復習
第30回	理解度の確認

授業方法

- ・単語と文法を学習し、本文を日本語訳、朗読していく。
- ・本文の朗読に際しては、ネイティブの発音の特徴を深く考察し、感情豊かな朗読を目指す。
- ・教科書の例文、本文、練習問題を使って、作文練習を行う。
- ・本文の内容を参考に、自身の学生生活等を表現する練習を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・辞書等を用いつつ、教科書の単語、例文、本文の日本語訳を作成しておくこと(1時間程度)。
- ・教科書付属のCDを聞き、ネイティブの発音や感情のこめ方に注意しながら、例文、本文の朗読練習をしておくこと(30分程度)。
- ・授業で出された作文課題に取り組むこと(30分程度)。
- ・授業後は、学習した単語、例文、本文を復習し、暗唱するとともに、自分の気に入った表現をメモし、日常的に口ずさむ習慣をつけること(1時間程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの答えは返却し、授業中に解説を行う。
- ・朗読や作文等の練習については、授業中にコメントを行う。

教科書

2冊めの中国語《講読クラス》,劉 穎、柴 森、小澤 正人,白水社,9784560069271

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

- ・授業で発言する時には、自分の分かるところまでしっかりと考えること。分からない場合でも「どこが分からないのか」「なぜ分からないのか」をはっきり答えること。授業では、そうした発言・思考への頑張り进行评估する。
- ・教科書付属のCDを1日5分でよいので聴く習慣を身につけてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823001110	科目ナンバリング	002D243
講義名	中国語R(中級)10[総合]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1-207		

授業概要

中国語初級を修了した学生を対象に、多様なスタイルの文章を材料として、初級段階よりもワンランク高い語彙面・文法面での知識を総合的に習得し、一層の読解力の向上を目指します。

到達目標

中国語初級段階で修得した読解力・語彙力をさらに高め、HSK4級レベルの文章を基本的に理解できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の中国語読解力の確認(1)
第2回	履修者の中国語読解力の確認(2)
第3回	初級文法事項の総復習(1)
第4回	初級文法事項の総復習(2)
第5回	テキストの読解と解説(1)
第6回	テキストの読解と解説(2)
第7回	テキストの読解と解説(3)
第8回	テキストの読解と解説(4)
第9回	テキストの読解と解説(5)
第10回	テキストの読解と解説(6)
第11回	テキストの読解と解説(7)
第12回	テキストの読解と解説(8)
第13回	テキストの読解と解説(9)
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	夏期課題レポートの解説
第17回	テキストの読解と解説(10)
第18回	テキストの読解と解説(11)
第19回	テキストの読解と解説(12)
第20回	テキストの読解と解説(13)
第21回	テキストの読解と解説(14)
第22回	テキストの読解と解説(15)
第23回	テキストの読解と解説(16)
第24回	テキストの読解と解説(17)
第25回	テキストの読解と解説(18)
第26回	テキストの読解と解説(19)
第27回	テキストの読解と解説(20)
第28回	テキストの読解と解説(21)
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

年度によって受講者のレベルに違いがあるので、まず最初にレベル確認を行います。その後、初級で学習した文法知識のまとめを行い、テキストの読解に入ります。
 テキストの読解は、まず文章を発音してもらい、その後で文の内容の日本語訳を行うという、標準的な訳読のスタイルをとります。必要に応じて、関連文法事項に関する資料を配付し、その例文等についても内容の確認を求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予め「講読文」と「文法事項」に関連する教材を配布するので、その内容について予習し(約1~2時間)、授業終了後には、語彙・文法面での学習内容を復習(約30分)して、他の場面でも応用できるようにして下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は、原則として採点の上返却します。なお、レポート課題については、授業中に解説を加えます。

教科書コメント

特定のテキストは使用せず、プリントを配布します。また、講読文の他に、文法事項に関連する資料も、必要に応じて配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823002101	科目ナンバリング	002D343
講義名	中国語R(上級)		
英文科目名	Chinese (Advanced Course; Reading)		
担当者名	高柳 信夫		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西1-207		

授業概要

中国語中級を修了した学生を対象とし、問題演習形式の授業を通して、中国語の読解能力のさらなる向上を目指します。教材とする文章は、できるだけ多様な内容を含むものを用いる予定です。

到達目標

中国語中級までに修得した文法や語彙に関する知識をさらに広げて読解力を向上させ、辞書なしで、HSK5級レベル程度の文章の基本的な内容を把握できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の中国語読解力の確認(1)
第2回	履修者の中国語読解力の確認(2)
第3回	問題演習と解説(1)
第4回	問題演習と解説(2)
第5回	問題演習と解説(3)
第6回	問題演習と解説(4)
第7回	問題演習と解説(5)
第8回	問題演習と解説(6)
第9回	問題演習と解説(7)
第10回	問題演習と解説(8)
第11回	問題演習と解説(9)
第12回	問題演習と解説(10)
第13回	問題演習と解説(11)
第14回	まとめ
第15回	到達度確認
第16回	問題演習と解説(12)
第17回	問題演習と解説(13)
第18回	問題演習と解説(14)
第19回	問題演習と解説(15)
第20回	問題演習と解説(16)
第21回	問題演習と解説(17)
第22回	問題演習と解説(18)
第23回	問題演習と解説(19)
第24回	問題演習と解説(20)
第25回	問題演習と解説(21)
第26回	問題演習と解説(22)
第27回	問題演習と解説(23)
第28回	問題演習と解説(24)
第29回	まとめ
第30回	到達度確認

授業方法

授業時間内に問題を解いてもらい、その後に内容についての解説・確認を行います。問題の種類は、文法・語彙的知識に関するもの、文章の内容理解に関するもの、問題文の部分訳などを出題します。文法・語彙に関する問題については、必要に応じて、補足資料を配布します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業時間中の問題演習を中心とする授業なので、いわゆる「予習」は特に必要としませんが、授業終了後、出題された問題文や配布

された資料ついて、発音の確認も含めて必ず復習し、中国語の読解能力の向上に努めて下さい(約2時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	25 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内に行う演習問題や試験は、原則として採点の上、返却します。

教科書コメント

特定のテキストは使用せず、プリントを配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100101	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)1		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	廖 伊庄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 南1-103		

授業概要

本講義は、初めて中国語を学ぶ者を対象とする。中国語の発音と基礎文法を中心に展開し、第2外国語としての基礎読解力や聞き取り・日常会話の能力を養ってゆく。同時に、必要に応じ、映像資料等を通して伝統的・現代中国の知識や情報を紹介し、中国・中国人に対する理解を深めてもらう。

到達目標

中国語の発音記号「ピンイン」をマスターする。中国語の基本知識を把握し、中国文化への理解を深める。

授業内容

実施回	内容
第1回	講義の概要と進め方及び評価基準等の説明。中国語に関する基本知識を講義。
第2回	発音①音節、四声、母音等の解説&発音練習。
第3回	発音②子音の解説&発音練習
第4回	発音③声調符号の付け方、声調の変化、隔音記号、音節表の見方等の解説&発音練習。
第5回	第1課
第6回	第2課
第7回	第3課①
第8回	第3課②
第9回	第4課①
第10回	第4課②
第11回	第5課①
第12回	第5課②
第13回	総復習
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	第1～5課の復習
第17回	第6課①
第18回	第6課②
第19回	第7課①
第20回	第7課②
第21回	第8課①
第22回	第8課②
第23回	第9課①
第24回	第9課②
第25回	第10課①
第26回	第10課②
第27回	総復習①
第28回	総復習②
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

講義&演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を予習しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各課題については、必要に応じて授業内で適宜解説を加える。

教科書

エッセンシャル チャイニーズ, 廖伊庄・利波雄一, 駿河台出版社, 2020

参考文献コメント

参考書と辞書は開講時に指示。

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100102	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)2		
副題	身につく中国語		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	呉 秀月		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 4時限 西1-209		

授業概要

本授業は、中国語初心者を対象とし、一年間の履修を通じて、中国語の発音、基本的文法、一般的な表現と、日常会話力を身につけることを目指します。新しい外国語の習得は、努力と忍耐が必要です。履修する学生は、予習と復習、及び積極的な授業への参加が望まれます。

到達目標

最初の授業は中国語で一番難しい発音を繰り返して暗誦することにより、より正確な発音をしゃべれるようになる。さらに一年間の文法と単語の学習により、簡単な中国語の会話が身につけることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語に関する紹介と中国語の発音の基礎紹介
第2回	中国語の発音:(1)声調・単母音の習得
第3回	中国語の発音:(2)複合母音の習得
第4回	中国語の発音:(3)子音の習得
第5回	中国語の発音:(4)鼻母音の習得
第6回	第1課:名詞判断文・一般疑問文
第7回	第1課:名前の言い方 第2課:動詞「在」「有」の使い方
第8回	第2課:疑問詞疑問文・「的」の使い方 第3課:「是」・動詞文・前置詞「在」の使い方
第9回	第3課:「是」・動詞文・前置詞「在」の使い方・連動文(1)
第10回	第1-3課のまとめ
第11回	第4課:形容詞述語文・主述述語文・反復疑問文
第12回	第4課の復習 第5課:予定を表す「打算」などの文
第13回	第5課:「想」「能」「可以」の使い方・数量補語
第14回	第4-5課の総括
第15回	到達度確認
第16回	第6課:動詞「完了」「経験」の表現
第17回	第6課:反復疑問文 第7課:前置詞(1)の文
第18回	第7課:連動文(2)
第19回	第8課:二重目的語・前置詞(2)
第20回	第8課:疑問詞の文 第9課:状態補語・助動詞(1)「会」の文
第21回	第9課:比較構文(1)(2)
第22回	第6-9課のまとめ
第23回	第10課:進行中を表す文・助動詞(2)
第24回	第10課:結果補語・動詞の重ね型の文
第25回	第11課:「是…的」などの使い方
第26回	第11課:接続語の使い方
第27回	第12課:変化を表す「了」の文
第28回	第12課:「快…了」・「只」などの文
第29回	第10-12課の総括
第30回	到達度確認

授業方法

実際の授業の進め方は次の通り。全員参加を原則とし、一人ずつ発音を練習し、全員で中国語の朗読を繰り返します。それから学習した単語と表現を用いて、簡単な中国語の文を作ります。学生は、自分で作った文章を中国語で発音し、話す練習によって基礎語学力を身につけることが大切だと考えています。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 単語と例文や本文の内容について読みの練習(約30分間) 復習: 聴き取りの練習と暗記することが望ましい(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	18 %	
学年末試験(第2学期)	18 %	
中間テスト	34 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

中国語の勉強だけではなく、中国、台湾や香港の文化や食べ物などについて随時紹介します。試験の答えについては、必要に応じて解説を行います。

教科書

学ぶ中国語, 王亜新・劉素英, 朝日出版社, 2018, 4255452265

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100103	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)3		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	王 瑞来		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1-302		

授業概要

同じ漢字文化圏に身を置く日本人学生に日中文化の比較を念頭に置かせて、中国語の深い文化的背景を理解させる。実用性を重視し、場面別での日常会話を反復練習させる。

到達目標

受講生が基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	発音の勉強(1)
第3回	発音の勉強(2)
第4回	発音の勉強(3)
第5回	発音の復習
第6回	場面別の会話1の解説と読み練習
第7回	〃
第8回	場面別の会話2の解説と読み練習
第9回	〃
第10回	場面別の会話3の解説と読み練習
第11回	〃
第12回	場面別の会話4の解説と読み練習
第13回	〃
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	前期内容の復習
第17回	場面別の会話5の解説と読み練習
第18回	〃
第19回	場面別の会話6の解説と読み練習
第20回	〃
第21回	場面別の会話7の解説と読み練習
第22回	〃
第23回	場面別の会話8の解説と読み練習
第24回	〃
第25回	場面別の会話9の解説と読み練習
第26回	〃
第27回	場面別の会話10の解説と読み練習
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

読み練習を重視して暗記させる

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

勉強した内容を復習した上でそれから勉強する内容を予習する。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは原則として返却し、授業内で解説を行う。

教科書

中国語急就篇:初級から中級まで,王 瑞来,白帝社,再訂版,2009

参考文献コメント

適宜プリント等を配布する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100104	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)4		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	遠藤 知佳恵		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1-104		

授業概要

初心者が中国語を話す楽しさ、中国語で自分の事を伝える喜びを感じられる学習を目指します。話すためには発音が重要です。一年間を通じて、正しい発音の習得に特に力を入れ、また単語も文法も耳から覚える習慣をつけます。

到達目標

中国語の拼音が読めるようになると同時に、正しい発音ができるようになる。
基本的な語順が理解できるようになる。自分自身のことを簡単に紹介できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	第1課 声調と単母音
第2回	第2課 複母音
第3回	第3課 子音
第4回	第4課 鼻母音、声調の組合せ
第5回	第5課 「キャンパスで初対面」 ①動詞“是” ②語気助詞 ③人称代名詞
第6回	第6課 「名前を尋ねる」 ①名前の言い方、尋ね方 ②助詞“的”
第7回	第7課 「喫茶店で」 ①動詞述語文 ②疑問詞疑問文と反復疑問文 ③選択疑問文
第8回	第8課 「趣味を語る」 ①助動詞“想” ②連動文 ③動詞“喜歡”
第9回	第9課 「Tシャツを買う」 ①量詞 ②動詞“有” ③数字の言い方
第10回	第10課 「レストランで」 ①動詞“請” ②経験の表現 ③形容詞述語文
第11回	第11課 「交番で道を尋ねる」 ①動詞“在” ②方位詞 ③前置詞1
第12回	第12課 「今年はいくつ？」 ①年月日・曜日の言い方 ②文末の“了” ③年齢の言い方、尋ね方
第13回	第13課 「毎日何時に起きますか？」 ①時刻の言い方 ②時間量の言い方 前置詞2
第14回	第1学期の総復習
第15回	到達度確認
第16回	第14課 「セールでの買い物」 ①動詞の直後の“了” ②比較の表現
第17回	第14課の復習と応用練習
第18回	第15課 「歴史記念館で」 ①助動詞“可以” ②方向補語 ③指示代名詞のまとめ
第19回	第15課の復習と応用練習
第20回	第16課 「テニスに誘う」 ①結果補語 ②主述述語文 ③助動詞“会”
第21回	第16課の復習と応用練習
第22回	第17課 「バドミントンを楽しんだ後」 ①二重目的語文 ②様態補語 ③助動詞“能”
第23回	第17課の復習と応用練習
第24回	第18課 「中国語が聞き取れなくて」 ①可能補語 ②助動詞“得” ③程度補語
第25回	第18課の復習と応用練習
第26回	第19課 「今何をしているの？」 ①進行表現と持続表現 ②“是～的”構文 ③使役表現
第27回	第19課の復習と応用練習
第28回	第20課 「引越し」 ①“把”構文 ②存現文 ③受身表現
第29回	第20課の復習と応用練習、第2学期の総復習
第30回	到達度確認

授業方法

発音の終了後は、新出単語及びポイント(文法)の説明と練習、本文の音読、次回にポイント復習、本文の暗唱、会話練習を行う。第1学期は毎回前半は前回の復習、後半は新しい内容に進む。第2学期は内容が複雑になるため、授業スピードを落として理解を深める。毎单元終了時に小テストを実施。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習 予め音声を聞いて音になじんでおくこと。

復習 音声を聞きながら各課の本文を暗唱し、文法への理解を深めること。ドリルの音声も繰り返し聞いておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

学期末試験及び学年末試験には筆記試験の後、口述試験も行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストの返却時に各学生及び全員に注意すべき点を指摘する。学期末試験については返却後に全員に解説をする。

教科書

わくわくスタディ実学実用初級中国語ライト版,陳淑梅・劉光赤,朝日出版社,第1,2019,9784255453156

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

第1回目から本格的に授業を始めます。履修希望者は第1回から出席してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100105	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)5		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	凌 雲鳳		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-208		

授業概要

音声が重要な中国語は、発音の習得がスムーズに進めるためには、基礎段階で徹底的に練習することは大事です。初級学習では、中国語の発音の基礎、特に中国語の特徴とも言える「四声」の感覚を身に着けると同時に、基礎文法も身に着けていきます。授業中主として、日常会話ができるように基本語句と常用表現の練習を進めていきます。

到達目標

中国語によるコミュニケーションを行うために必要不可欠な力を獲得します： 1. 中国語の発音表記「ピンイン」を正しく読めます。 2. 中国語の発声標識に従って、高さ異なる四つの声調を正しく出せます。 3. 中国語の初級文法について理解することができます。 4. 簡単な日常会話(挨拶、自己紹介、買い物、大学の生活など)ができます。

授業内容

実施回	内容	
第1回	ガイダンス 発音① 四声・単母音	
第2回	発音② 複合母音・子音	
第3回	発音③ 鼻音つき母音	
第4回	発音まとめ	
第5回	第1課 楊麗さんですか	人称代名詞・断定の表現など
第6回	第2課 荷物は多いですか	指示代名詞・形容詞述語文など
第7回	復習	
第8回	第3課 明日はどこへ行きますか	場所代名詞・動詞述語文など
第9回	第4課 ケーキを食べたいですか	助動詞“想”・選択疑問文など
第10回	復習	
第11回	第5課 これはいくらですか	数詞(量詞)・反復疑問文など
第12回	第6課 電子辞書を持っていますか	動詞“有”と“在”・前置詞“離”など
第13回	復習	
第14回	授業の総括	
第15回	到達度の確認	
第16回	前期学習内容の復習	
第17回	第7課 京劇のチケットを買いました	完了を表す“了”・連動文など
第18回	第8課 ファーストフード店がありますか	変化を表す“了”・前置詞“在”など
第19回	復習	
第20回	第9課 中国の歌が歌えますか	可能を表す“会・能・可以”・前置詞“給”など
第21回	第10課 長城に行ったことがありますか	時刻の言い方・方向補語など
第22回	復習	
第23回	第11課 お腹をこわしました	比較の表現・主述述語文など
第24回	第12課 どのくらいの時間がかかりますか	時間の量の表現・結果補語など
第25回	復習	
第26回	第13課 トイレが故障しました	曜日の言い方・使役の表現など
第27回	第14課 中国語が上手ですね	動作の進行を表す言い方・様態補語など
第28回	復習	
第29回	授業の総括	
第30回	到達度確認	

授業方法

教師の指導の下で、発音の練習を徹底的に行い、基本表現を理解した上に単語の置き換え練習を繰り返します。集団練習とペアかグループの練習、発表を実施します。授業の内容に合わせて映像の鑑賞も行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

発音と会話の練習を中心に授業を進めていくため、授業外での自習(40分以上)が大切です。①新出単語の発音と文法事項の予習 ②書き取りを主とする宿題の完成

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点と試験成績で総合的に評価します。授業参加・書き取りを含める課題の完成度と中間テスト:30%。学期末試験:第1学期35%(発音・声調・自己紹介の達成度) 第2学期35%(発音・声調・常用会話の聴解力と表現力)。学期末試験では、口頭試問と筆記試験を実施します。

口頭試問では、発音の正確さと習得した表現による会話力(語る、質問、答え)を評価します。

筆記試験では、習得した語句と基本表現の理解度(日本語訳)と応用力(中国語訳)を評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題とテストの答案を返却して、授業内で解説を行う。

教科書

一冊めの中国語 会話クラス:『一冊めの中国語』劉穎・喜多山幸子・松田かの子,白水社,初版,2008,9784560069202

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

遅刻3回を欠席1回とします。授業への参加を積極的にしてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100106	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)6		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	王 瑞来		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1-302		

授業概要

同じ漢字文化圏に身を置く日本人学生に日中文化の比較を念頭に置かせて、中国語の深い文化的背景を理解させる。実用性を重視し、場面別での日常会話を反復練習させる。

到達目標

受講生が基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	発音の勉強(1)
第3回	発音の勉強(2)
第4回	発音の勉強(3)
第5回	発音の復習
第6回	場面別の会話1の解説と読み練習
第7回	〃
第8回	場面別の会話2の解説と読み練習
第9回	〃
第10回	場面別の会話3の解説と読み練習
第11回	〃
第12回	場面別の会話4の解説と読み練習
第13回	〃
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	前期内容の復習
第17回	場面別の会話5の解説と読み練習
第18回	〃
第19回	場面別の会話6の解説と読み練習
第20回	〃
第21回	場面別の会話7の解説と読み練習
第22回	〃
第23回	場面別の会話8の解説と読み練習
第24回	〃
第25回	場面別の会話9の解説と読み練習
第26回	〃
第27回	場面別の会話10の解説と読み練習
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

読み練習を重視して暗記させる

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

勉強した内容を復習した上でそれから勉強する内容を予習する。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは原則として返却し、授業内で解説を行う。

教科書

中国語急就篇:初級から中級まで,王 瑞来,白帝社,再訂版,2009

参考文献コメント

適宜プリント等を配布する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100107	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)7		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	李 和書		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 中央-503		

授業概要

中国語未修者を対象とした授業である。この授業では通年で原則として指定の教科書の項目順に沿って授業を進め、中国語の発音をしっかりと習得した上で、中国語のリスニングと会話力を一年かけてきちんと身に付ける。授業理解の到達度の確認として、一回おきに小テストなどを行う。なお、授業のスケジュールや内容は、学期開始後に実際の状況に応じて一部変更する場合もある。

到達目標

自分の伝えたいことを基礎的な中国語で表現できる能力を養成し、現地の人と簡単な中国語でコミュニケーションが取れる程度の能力の基礎をしっかりと築くことを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス ピンイン1(声調・母音)
第2回	ピンイン2(子音・声調の変化)
第3回	第1課 空港で挨拶:わたしは～です
第4回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第5回	第2課 バスで荷物をピックアップ:これは～です
第6回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第7回	第3課 留学手続き後に書店を探す:～をします
第8回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第9回	第4課 キャンパスで建物の位置を確認:～はどこですか
第10回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第11回	第5課 カフェで家族の話:～がいます
第12回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第13回	第6課 服を買う:～が欲しい
第14回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第15回	理解度の確認
第16回	第7課 電話で友達と約束:～がしたい
第17回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第18回	第8課 放課後に待ち合わせ:～で…しよう
第19回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第20回	第9課 レストランで料理の話:～が好き
第21回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第22回	第10課 北京の気候の話:～は…より
第23回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第24回	第11課 趣味を話す:～するのが好き
第25回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第26回	第12課 北京駅への行き方:～にはどう行けば良いですか
第27回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第28回	第13課 自分の経験:～したことありますか
第29回	小テスト・解説・前回内容の復習と補足
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

授業中にわからない点があれば積極的に質問すること。

授業方法

原則として指定の教科書の項目順に沿って授業を進める。基本的に講義形式をとるが、グループで会話を練習する場合もある。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で取り上げる単語や短文、文法のポイントについて予習や復習を行うのはもとより、教材の各課の練習問題をしっかり完成・確認し、そして教材の音声をなるべく毎日聞き・復唱するように努力するのも肝要である。なお、教科書の本文や用例を暗記するのが望ましい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは自己採点のうえ、授業内で解説する。

教科書

スタートダッシュ中国語,氷野善寛ほか,朝日出版社,初,2019,978-4-255-45316-3

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

受講の際には、辞書または電子辞書を持参することが望ましい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100108	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)8		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	曾 紅		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-304		

授業概要

真剣に中国語を身につけて文化経済などの交流に役に立ちたい方々のために、中国の歴史、文化、風俗習慣などの話を織りまぜながら発音、文法、会話の練習を友達同士で緊張感をパワーに、自分でも不思議なほど短時間で多くの中国語の知識を身につける楽しい時間にしたい。毎回、聞き取り、暗記、宿題がありますので、それでも頑張って勉強する学生さんのみ受け入れます。

到達目標

グローバル時代に活躍するための語学力を身につけるため、この一年間の授業を通して、中国語の発音の仕方、基礎文法を習得しながら、話す力、聴く力、書く力を大いに身につけていきます。また、多民族構成の中国の歴史、風俗習慣、考え方を理解し、国際的な思考力、発信力を高めていきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	発音その1
第2回	〃
第3回	発音その2
第4回	〃
第5回	発音その3
第6回	〃
第7回	発音その4
第8回	〃
第9回	挨拶言葉
第10回	教室用語
第11回	発音チェック
第12回	第一課 空港
第13回	第二課 と、となりに
第14回	第三課 チェックイン
第15回	理解度の確認
第16回	第四課 はい、チーズ
第17回	第五課 何年生まれ
第18回	第六課 故宮
第19回	第七課 遊園地
第20回	第八課 北京の朝
第21回	第九課 プレゼント
第22回	第十課 北京動物園
第23回	第十一課 北京ダック
第24回	第十二課 サッカー観戦
第25回	第十三課 プールサイド
第26回	第十四課 お医者さん
第27回	第十五課 月の夜
第28回	第十六課 上海へ
第29回	総合練習
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

教室では、毎回、友達同士で楽しく本文の暗記を行い「聞く力」と「話す力」を高めていきたいと思います。授業外では、宿題などで「書く力」を高めていきます。一年後には、驚くほど上手に会話ができ、綺麗に文章を書けます。言葉以外にも、中国の歴史、文化・経済・風俗・習慣などに関する知識も豊富になります。必ず辞書を用意すること。購入は、日中・中日・電子辞書の順ですすめます。

授業方法

中国の風俗習慣などを紹介します。前回学んだものをヒアリングをします。

単語と文法は先生が教える前に自ら調べてやってみてください。毎回学んだ文章を学生同士と一緒に暗記します。毎回学んだ文法を宿題でさらに練習します。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業は、まず前回学んだ文章の書き取りを行います。次に中国の風俗習慣などのことを紹介します。それから新しい本文の単語、文法を勉強し、ビデオ画像を見ながら、友達同士で暗記の練習を行います。宿題は、その日学んだ単語、文法を繰り返し練習できるようなものを出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	20 %	
レポート	20 %	毎回の宿題
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):(毎週のグループで行う暗記と会話) 中間テスト:(発音に関する小テスト) 第2学期(学年末試験):(第2学期の学期末試験) 第1学期(学期末試験):(第1学期の学期末試験) 小テスト:(予習)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期・後期の期末試験と中間テストについては、必要に応じて解説等を加えます。

教科書

恋する莎莎,相原茂 陳淑梅,朝日出版社,初版,2002

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語を身につけるためには、暗記しないとうまく話せません。文書を書いてみないとよく書けません。というわけで、毎週、聞き取り、暗記、宿題があります。大変です！年度末には確実に話せる！聞ける！書ける目標にする学生さんを受け入れます。頑張った結果その喜びが大きいものになります。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100109	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)9		
副題	音読で学ぶ中国語		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	呂 小燕		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西2-303		

授業概要

中国語の発音を習って、日常よく使われる会話文を通して、基本表現と基本文型を学習する。一年間の勉強を通じて、中国語で初歩的なコミュニケーションに参加できることを目指す。日常会話の口頭練習を繰り返すことにより、生きた中国語を身につけるよう指導する。

到達目標

現代中国語の発音や基本文法、重要表現などをしっかり身につけ、応用できるようになることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語の性格、日本語との類似点と相違点。声調の解説。
第2回	簡単なあいさつ表現。単母音と複母音。
第3回	子音。無気音と有気音、そり舌音など。
第4回	鼻音をともなう母音、声調の組み合わせ、ピンインの総復習。
第5回	第一課:「こんにちは」 姓・名の言い方、“是”の構文、人称代詞など。
第6回	第二課:「学校」 指示代詞、疑問詞など。
第7回	第一課と第二課の復習
第8回	第三課:「新宿」 動詞述語文、連動文。
第9回	第四課:「カメラを買う」 形容詞述語文、助動詞の“想”、反復疑問文。
第10回	第三課と第四課の復習
第11回	第五課:「家族の話」 年齢の言い方、比較文、“有”の構文。
第12回	第六課:「富士山」 経験を表す言葉、助動詞の“要”、数詞。
第13回	第五課と第六課の復習
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	第一学期の復習
第17回	第七課:「喫茶店」 年月日・曜日の言い方、時刻の言い方、文末の“了”。
第18回	第八課:「外出」 動詞につく“了”、時間量の言い方。
第19回	第七課と第八課の復習
第20回	第九課:「京都」 “在”の構文、“是…的”の構文、進行の表し方。
第21回	第十課:「寿司」 助動詞の“能”、結果補語。
第22回	第九課と第十課の復習
第23回	第十一課:「滑雪」 助動詞の“会”、二重目的語をとる動詞、様態補語。
第24回	第十二課:「動物園」 方向補語、助動詞の“可以”、動詞の重ね型。
第25回	第十一課と第十二課の復習
第26回	第十三課:「春假」 疑問詞の不定用法、助動詞の“得”。
第27回	第十四課:「空港」 可能補語、“把”の構文、お金の言い方。
第28回	第十三課と第十四課の復習
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

授業中、中国語関連表現のプリントも配付する。

授業方法

講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、聞き取り小テストの予定があります、よく復習すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40%。総合的に評価をする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

期末試験の答えは返却し、授業内答案解説を行う。

教科書

日中いぶこみ広場「簡明版」,相原 茂,朝日出版社,初版,2014,9784255452371

教科書コメント

テキストは自習用CDが添付されている。

参考文献コメント

授業中適宜に指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業でわからないことがあれば、何でも聞いてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100110	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)10		
副題	話せる中国語を楽しく学ぶ		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	周 偉嘉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1-105		

授業概要

日本は国際社会で活躍する人材を養成するため、中国語習得の必要性はますます高まっている。この授業は、IoT×AIで加速する「第四次産業革命」が進む国際社会の中で「コミュニケーション中国語」のノウハウを身につけることをねらいとしている。本講義は受講者が取り組みやすいことを特徴としている。たとえば、中国語の発音は日本語にはないものがたくさんあるが、授業中の教員の身ぶり手ぶりをイメージすることで、発音しやすくなり、また母国語・中国語・アクセント・イントネーションの四点セットでコミュニケーションとしての基礎中国語を実践的にできるようになる。そのために正しくてきれいな発音に焦点を合わせ、読み・書き・聞き・話しを含む総合的な中国語力をたかめることができるようになる。

到達目標

本講義の到達目標は、(1)ピンインを正確に発音でき、ピンイン字母で表記された音節を見れば、発音ができ、聞けば、書き取れるようになる。(2)アクセントと声調の変化を正確に理解して、中国語の独特なリズム(イントネーション)の四点セットの演習を通じて、中国語会話力の向上をはかり、現場での実践に生かすことができるようになる。(3)基本となる語彙、語順による文法、コミュニケーション中国語で必要とされる会話文法における基礎知識を身につけるようになる。(4)初歩的な会話や文章の読解や作文などコミュニケーションの基礎能力ができるようになる。(5)幅広い教養と国際感覚や、現代社会などの諸問題に対する広い視野を養成するため、もう一つの外国語ツールとしての中国語を身につけるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	コミュニケーション中国語1 導入:どのようにコミュニケーション中国語ができるようになるのか。中国語の特徴(普通話・漢字・発音)や四点セット勉強法など、学習にあたって注意すべき点について説明。基礎中国語1:単母音・声調①/発音解説/発音と会話 復習:単母音の表記の重要性を理解して、単母音と四声をセットで練習する。正確にそれを発音できるようにする。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第2回	コミュニケーション中国語2 中国語における複母音の構成と要領について学び、教科書巻末の音節表の韻母の見方を学ぶ。単母音と声調の練習/複母音と発音法/発音解説/複母音と発音と会話 復習:複母音の表記を理解して、複母音と四声をセットで練習する。会話文とセットでそれを発音できるようにする。予習(アクティブ・ラーニング):練習を通じて、中国語の辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第3回	コミュニケーション中国語3 中国語における子音の構成と要領について学び、とりわけ有気音と無気音の違い、巻舌音(そり舌音)の発声法など日本人学習者が間違え易い綴りの発音を習得する。複母音と発音会話の練習/子音字母/子音の分類、特徴とその要領/発音解説/発音と会話 復習:子音の特徴、発音法と要領を抑えながら、21個の子音を暗記する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習を通じて、中国語の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第4回	コミュニケーション中国語4 中国語における鼻母音の構成と要領について学び、教科書巻末の音節表の鼻母音の見方を学ぶ。子音と子音会話の練習/n母音とng母音/n母音とng母音の分類、発音法とその要領/発音解説/発音と会話 復習:鼻母音の特徴、発音法と要領を理解して、子音と鼻母音また四声とセットで練習する。予習(アクティブ・ラーニング):鼻母音の比較練習や総合練習を通じて、鼻母音の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第5回	コミュニケーション中国語5 声調変化の規則(第三声+第一・二・三声、第四声+第四声)、軽声の発音の要領を習得する。鼻母音会話の練習/声調②・四声と軽声/声調の変化 復習:中国語の発音における軽声、声調変化の規則を理解して、会話文とセットで練習する。予習(アクティブ・ラーニング):声調の表記と四声の練習などの総合練習を通じて、中国語の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第6回	コミュニケーション中国語6 発音(ピンイン)のまとめ/子音+単母音/子音+複母音/子音+鼻母音/音節表記の規則 復習:音節表の音節を正確に発音でき、かつそれに声調を加えて発音できるようにする。その上で、単語レベルから文章レベルへと発音のレベルを上げていくことにより、コミュニケーション中国語の読解の基礎を固める。予習(アクティブ・ラーニング):間違えたピンイン直しの練習を通じて、中国語のローマ字表記法を理解する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第7回	コミュニケーション中国語7 習った中国語の発音と音節の基礎を応用しながら、単語レベルから文章レベルへと発音のレベルを上げていく。単語の読み方/文の構成/中国語の歌/四点セット勉強法/発音と会話 復習:中国語の基本文の構造と日本語を比較して、それがどのような特徴を有するかを理解する。予習(アクティブ・ラーニング):習った漢字と基本文を辞書で調べながら覚える。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第8回	コミュニケーション中国語8 習った中国語の発音と音節の基礎を応用しながら、本格的な中国語の会話と文章の読解の基礎を固める。実詞と虚詞/実詞:名詞・動詞・形容詞/虚詞:副詞・介詞(前置詞)・接続詞・語気詞/中国語の歌/パソコン中国語/発音と会話 復習:学んだ文の構造を正しく理解して、コミュニケーション中国語を自在にできるように、虚詞の用法に習熟しておくことが何よりも大切。予習(アクティブ・ラーニング):習った漢字と基本文を辞書で調べながら覚える。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
第9回	コミュニケーション中国語9 中国語学習の土台となるのが「語彙力」で、ピンインを発音しながら、四点セットで音も同時に覚える。中国語の歌/単語の覚え方/入れ替え練習/発音と会話 復習:学んだ歌の名文を朗読して、口を慣らしましょう。予習(アクティブ・ラーニング):判断文の新出単語と本文を辞書で調べながら予習。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。

- 第10回 コミュニケーション中国語10 判断動詞「是」を述語とする判断文や疑問文など学ぶ。 単語朗読／単語と会話／模範会話文／人称代名詞／中国語の文の基本構造／判断文／判断文の否定／疑問文と選択疑問文／副詞／限定語／補充単語 復習:学んだ内容をよく理解し、第六講の新出単語と本文、文法の例文をを辞書で調べながら復習。予習(アクティブ・ラーニング):判断文の自己紹介文の作成練習を行ない、総合練習問題を解く。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第11回 コミュニケーション中国語11 グループワークを通じて、判断文の自己紹介の練習を行う。 判断文／否定文／一般疑問文／選択疑問文／疑問代詞疑問文 復習:練習した内容をもう一度よく整理しておく。予習(アクティブ・ラーニング):教科書巻末音節表を中心に母音を整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第12回 コミュニケーション中国語12 第1学期で学習した母音が定着されているかどうかを確認するために、ヒアリングと和文中訳の検定練習を通じて点検する。 単母音／複母音／鼻母音／単語と構文 判断文の自己紹介の練習を行う。 復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):教科書巻末の音節表を中心に子音と母音をセットで整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第13回 コミュニケーション中国語13 第1学期で学習した子音が定着されているかどうかを確認するために、ヒアリングと和文中訳の検定練習を通じて点検する。 有気音と無気音／そり舌音／間違え易い発音／単語と構文／判断文の自己紹介の練習を行う。 復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):体系的に前期に学んだ単語、構文、文法を四点セットで整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第14回 コミュニケーション中国語14 第1学期の理解度の確認／授業のまとめ (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp1～38 復習:教科書pp1～38
- 第15回 コミュニケーション中国語15 振り返り／到達度の確認 (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp1～38 復習:教科書pp1～38
- 第16回 コミュニケーション中国語16 第1学期で学んだことが定着しているかどうかを再確認する。その定着度を測るために小テストを実施する。 第2学期授業計画の説明／指示語と指示文の比較説明 復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):指示文の単語や補充単語、また模範文と例文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第17回 コミュニケーション中国語17 中国語における指示語と指示文について学ぶ。 模範会話文／指示語／指示文／この、その、あの、どの(連体語)と日中指示語の区別／基数字と数量詞／終助詞と語気助詞・音便／補充単語 復習:中国語の指示語と日本語の指示語の区別を吟味し、練習問題を解き、模範文と練習文を四点セットで練習する。 予習(アクティブ・ラーニング):指示文の単語や補充単語、また模範文と例文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第18回 コミュニケーション中国語18 指示語や数量詞や指示文などの会話練習を行う。 小テストと構文練習／総合練習／声調の変化:「一」の音便／よく使う中国語の量詞／単語と四点セット会話 復習:よく使う中国語の量詞を四点セットで整理する。 予習(アクティブ・ラーニング):形容詞と形容詞述語文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第19回 コミュニケーション中国語19 形容詞が述語の役割を果たす形容詞述語文について学ぶ。 形容詞と構文／属性形容詞と状態形容詞／動作、行動、状態の程度を表す否定／副詞・形容詞・形容詞文の補語 復習:学んだ形容詞述語文を整理しておく。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第20回 コミュニケーション中国語20 形容詞と形容詞述語文の会話練習を行う。 模範会話文／形容詞と形容詞述語文／副詞と形容詞の否定／推量の表現／曜日の言い方／親族の呼び方／比較文 復習:学んだ形容詞述語文と名詞述語文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):動詞述語文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第21回 コミュニケーション中国語21 一般動詞が述語の役割を果たす動詞述語文について学ぶ。 小テストと総合練習／動詞の分類／一般動詞と動詞述語文／否定文:「不」と「没」／疑問文／目的語を2つある動詞述語文／使役文 復習:学んだ動詞述語文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第22回 コミュニケーション中国語22 一般動詞述語文、他動詞文と自動詞、動名詞文などの会話練習を行う。 小テストと総合練習／他動詞文と自動詞文／主述文／動態(進行と持続)／完了／連動文／丁寧な表現／時刻の言い方 復習:練習を行った動詞述語文について熟知する。予習(アクティブ・ラーニング):所有文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第23回 コミュニケーション中国語23 所有動詞を述語とする所有文について学ぶ。 所有動詞／所有文の構文／所有文の否定／数量詞と動量詞／「どのぐらい」と「何」の疑問文／「只」の使い方 復習:学んだ所有文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第24回 コミュニケーション中国語24 所有文、動量詞文、補充語文などの会話練習を行う。 小テストと総合練習／所有文の構文／動量詞文／数量詞／補充語文の構文 復習:練習を行った所有文とその他の構文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):存在文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第25回 コミュニケーション中国語25 存在動詞を述語とする存在文について学ぶ。 存在動詞／存在文／存在動詞「在」と存在を表す「有」／存在文と存現文／場所を表す指示語／方位詞／補充単語／助動詞の使い方 復習:学んだ存在文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第26回 コミュニケーション中国語26 存在文、存現文、方位詞文などの会話練習を行う。 小テストと総合練習／所有文の構文／存在文の構文／方位詞文の構文／受け身の構文／前置詞 復習:練習を行った存在文とその他の構文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):中国語の歌を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第27回 コミュニケーション中国語27 楽しい中国語の歌について学ぶ。 中国語の歌／中国語会話文法の総合運用 復習:学んだ中国の歌を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):パソコン中国語(自主課題) ※授業

前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。

- 第28回 コミュニケーション中国語28 引き続き楽しい中国語の歌について学ぶ。中国語の歌／中国語会話文法の総合運用 復習:学んだ中国の歌を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):後期の内容について整理しながら、総復習を行う。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第29回 コミュニケーション中国語29 引き続き楽しい中国語の歌について学ぶ／授業のまとめ (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp35～70 復習:教科書pp35～70
- 第30回 コミュニケーション中国語30 振り返り／到達度の確認 (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp35～70 復習:教科書pp35～70

授業計画コメント

コミュニケーション中国語で学んで欲しい到達目標とは何か? 1. 中国語のピン音字母、またピン音字母で表記された音節を身につける。 2. 中国語の独特なアクセントやイントネーションを修得する。 3. テキストに取り上げられた語彙、文法を体系的に掌握する。 4. 四点セットの把握法により、正しくきれいな発音で自分の意思を表現することができるようになる。

授業方法

この授業は演習の授業形態であり、アクティブラーニングの方法を通じて展開し、気軽に勉強できる雰囲気心がけている。また歌、映像などの手段をとおして勉強すると、何度も出てくる言葉はすぐに覚えられ、メロディがついているから、一度覚えれば忘れにくい、さらに楽しみながら学習できる。日本語との比較からコミュニケーション中国語を勉強すれば、中国語文化の楽しみを味わうことができると同時に、グローバル人材がますます求められている今日において人生の道具としての、もう一つの外国語を修得することも期待できる。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学の学習は予習と復習(アクティブ・ラーニング)が不可欠であり、中国語プレゼンテーションに受けた指摘事項を復習し、予習として次回の内容を作成する(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	学期末の達成目標に関する到達度を確認する。
学年末試験(第2学期)	25 %	学期末の達成目標に関する到達度を確認する。
中間テスト	10 %	中国語の運用についての課題・分析・応用力を評価する。
レポート	10 %	中国語の運用についての課題・分析・応用力を評価する。 (*パソコン中国語・加点あり、アクティブラーニングとフィードバックにて行う)。
小テスト	10 %	各ユニットで展開している「中国語 I」の理解度を確認する。
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	授業外学習や授業の取組みの姿勢などに合わせて評価する。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

期末試験、小テスト、課題提出、授業出席などにより総合的に評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

本科目は、学生諸君の課題やレポートや質問や意見等に対しては、コメントをフィードバックし、双方向型学習を展開する。PBL中心の授業のため、都度授業内で皆さまのプレゼンに対してコメントを行う。学生からのプレゼンペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布を行う。

教科書

文法・発音・リズムで勉強する中国語(印刷教材),周偉嘉,五紘舎,2014

教科書コメント

中国語レポート作成などをするうえで知っておくべき技法やパターン認識法、研究倫理などを学ぶことができるようになる。

参考文献

クラウン中日辞典小型版,松岡榮志・他,三省堂,2004,4385121761

参考文献コメント

中国語プレゼンテーション作成などをするうえで知っておくべき技法やパターン認識法、研究倫理などを学ぶことができるようになる。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語の勉強について、下記の方法をご提案します。(1)ノートは丁寧にとっておくこと。(2)予習と復習は常に心掛けること。(3)学習は中断せず続けること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100111	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)11		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	樹中 慧		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-107		

授業概要

語学を学ぶ上で大事なことは、正しい発音と基礎語法の習得です。このクラスは、中国語の構造を理解し、ある程度の会話ができるような学力の養成を目指します。中国の概況や生活習慣、日本文化との共通点や相違点なども紹介しながら、楽しく進めていきたいと思っています。

到達目標

漢字を見るとつい安心してしまい、学習が視覚的になりがちです。しかし相手の言葉を聞き取り、さらに自分の言いたいことを正確に伝えるためには正しい発音が不可欠です。そのためにも皆さんには積極的に口を開いて発音していただきたいと思います。自然で滑らかな発音が身につくように一年を通して発音練習と暗唱をしていきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 第1課 短母音・声調
第2回	第1課 子音・軽声
第3回	第2課 複合母音・鼻母音
第4回	発音のまとめ 第1-2課
第5回	第3課 数字・年月日・時間
第6回	第3課のトレーニング
第7回	第4課 自己紹介
第8回	第4課のトレーニング
第9回	文法のまとめ 第3-4課
第10回	第5課 動詞文・疑問文
第11回	第5課のトレーニング
第12回	第6課 ものの数え方・反復疑問文
第13回	第6課のKトレーニング
第14回	文法のまとめ 第5-6課
第15回	予備日
第16回	第7課 指示代名詞・選択疑問文
第17回	第7課のトレーニング
第18回	第8課 形容詞文・前置詞
第19回	第8課のトレーニング
第20回	文法のまとめ 第7-8課
第21回	第9課 値段の尋ね方・比較文
第22回	第9課のトレーニング
第23回	第10課 変化と完了の”了”
第24回	第10課のトレーニング
第25回	文法のまとめ
第26回	第11課 助動詞
第27回	第11課のトレーニング
第28回	第12課 進行形・”是～的”
第29回	第12課のトレーニング
第30回	文法のまとめ 第11-12課

授業方法

コミュニケーションは口に出して初めて成立します。滑らかに発音できるように、初級語法の学習とともに発音や聞き取りのトレーニングを随時平行して行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語彙力はそのまます学力となる。習った内容をしっかり身につけて欲しいので、一課終わるごとにテキストを暗誦してもらいます。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

期末試験及び授業の出欠、課題の状況によって総合的に評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験等については、適宜授業において解説を加える。

教科書

はじめよう楽々中国語,小林和代・韓軍,白水社,2018

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100112	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)12		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	河合 史恵		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-105		

授業概要

中国語の基礎を学びます。
発音からやさしい会話を通して基本文型を理解し、繰り返し練習して更にステップアップを図ります。

到達目標

発音記号を正確に読めるようになる。基本文型の修得。
生活に密着した、使用頻度の高い言葉で自分の意思を伝え、相手の言うことも聞きとれるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	声調・母音、発音記号
第2回	子音と母音、鼻音、軽声
第3回	挨拶と自己紹介、人称代名詞 お名前は？
第4回	動詞述語文、省略疑問文 専攻は？
第5回	疑問詞疑問文、基本的疑問文 ～ですか。
第6回	指示代名詞、選択疑問文 これはあなたのですか。
第7回	語気助詞、願望の助動詞 餃子を食べたい。
第8回	連動文、形容詞述語文 おいしい！
第9回	数の表現、ものを数える量詞 いくつですか。
第10回	所有、存在、できる助動詞 参加できます。
第11回	時間、時刻の表現 今何時ですか。
第12回	動作量補語、前置詞 もう一回おっしゃって下さい。
第13回	経験の表現、方位詞 中国へ行ったことがある。
第14回	比較表現、名詞述語文 東京は北京より暑い。
第15回	1学期のまとめ、理解度の確認
第16回	完了と変化の表現、時間量補語 二時間勉強しました。
第17回	進行、状態補語 何をしているの。
第18回	在現文、動詞の重ね型 ちょっと見て下さい。
第19回	結果補語、禁止 もう読み終わりました。
第20回	方向補語 父が帰って来ました。
第21回	様態の表現 大層親切です。
第22回	受け身、可能表現 聞いてわかりますか。
第23回	近接未来、主述述語文 もうすぐ文化祭です。
第24回	離合動詞、使役文 毎日8時間寝る。
第25回	処置文、必要と義務 このニュースを彼にしらせよう。
第26回	順接と逆接、仮定 寒いので一枚多く着る。
第27回	限定、仮定の譲歩 希望さえあれば。
第28回	補語の比較、特殊な可能表現 多くて食べきれません。
第29回	複文と接続詞 英語だけでなく中国語も。
第30回	2学期のまとめ、理解度の確認

授業方法

発音はくりかえし練習します。文法の解説からやさしい会話文を読みます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習・復習につとめ、短文は暗誦しましょう。習った本文を暗記すれば、何でも表現できるようになります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

発音は永遠の課題です。特に抑揚(音の高低)に注意しましょう。
練習すれば必ず上達します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案は解説をつけてお返しします。既習済みの本文の暗誦を高く評価します。

教科書

行ってみよう！中国語への旅,山下輝彦・黄漢青,朝日出版社,初,2020

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

意欲ある学生の参加を希望します。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100113	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)13		
副題	話せる中国語を楽しく学ぶ		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	周 偉嘉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1-105		

授業概要

日本は国際社会で活躍する人材を養成するため、中国語習得の必要性はますます高まっている。この授業は、IoT×AIで加速する「第四次産業革命」が進む国際社会の中で「コミュニケーション中国語」のノウハウを身につけることをねらいとしている。本講義は受講者が取り組みやすいことを特徴としている。たとえば、中国語の発音は日本語にはないものがたくさんあるが、授業中の教員の身ぶり手ぶりをイメージすることで、発音しやすくなり、また母国語・中国語・アクセント・イントネーションの四点セットでコミュニケーションとしての基礎中国語を習得できるようになる。そのために正しくてきれいな発音に焦点を合わせ、読み・書き・聞き・話しを含む総合的な中国語力をたかめることができるようになる。

到達目標

本講義の到達目標は、(1)ピンインを正確に発音でき、ピンイン字母で表記された音節を見れば、発音ができ、聞けば、書き取れるようになる。(2)アクセントと声調の変化を正確に理解して、中国語の独特なリズム(イントネーション)の四点セットの演習を通じて、中国語会話力の向上をはかり、現場での実践に生かすことができるようになる。(3)基本となる語彙、語順による文法、コミュニケーション中国語で必要とされる会話文法における基礎知識を身につけるようになる。(4)初歩的な会話や文章の読解や作文などコミュニケーションの基礎能力ができるようになる。(5)幅広い教養と国際感覚や、現代社会などの諸問題に対する広い視野を養成するため、もう一つの外国語ツールとしての中国語を身につけるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	コミュニケーション中国語1 導入:どのようにコミュニケーション中国語ができるようになるのか。中国語の特徴(普通話・漢字・発音)や四点セット勉強法など、学習にあたって注意すべき点について説明。基礎中国語1:単母音・声調①/発音解説/発音と会話 復習:単母音の表記の重要性を理解して、単母音と四声をセットで練習する。正確にそれを発音できるようにする。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第2回	コミュニケーション中国語2 中国語における複母音の構成と要領について学び、教科書巻末の音節表の韻母の見方を学ぶ。単母音と声調の練習/複母音と発音法/発音解説/複母音と発音と会話 復習:複母音の表記を理解して、複母音と四声をセットで練習する。会話文とセットでそれを発音できるようにする。予習(アクティブ・ラーニング):練習を通じて、中国語の辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第3回	コミュニケーション中国語3 中国語における子音の構成と要領について学び、とりわけ有気音と無気音の違い、巻舌音(そり舌音)の発声法など日本人学習者が間違え易い綴りの発音を習得する。複母音と発音会話の練習/子音字母/子音の分類、特徴とその要領/発音解説/発音と会話 復習:子音の特徴、発音法と要領を抑えながら、21個の子音を暗記する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習を通じて、中国語の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第4回	コミュニケーション中国語4 中国語における鼻母音の構成と要領について学び、教科書巻末の音節表の鼻母音の見方を学ぶ。子音と子音会話の練習/n母音とng母音/n母音とng母音の分類、発音法とその要領/発音解説/発音と会話 復習:鼻母音の特徴、発音法と要領を理解して、子音と鼻母音また四声とセットで練習する。予習(アクティブ・ラーニング):鼻母音の比較練習や総合練習を通じて、鼻母音の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第5回	コミュニケーション中国語5 声調変化の規則(第三声+第一・二・三声、第四声+第四声)、軽声の発音の要領を習得する。鼻母音会話の練習/声調②・四声と軽声/声調の変化 復習:中国語の発音における軽声、声調変化の規則を理解して、会話文とセットで練習する。予習(アクティブ・ラーニング):声調の表記と四声の練習などの総合練習を通じて、中国語の発音と辞書の調べ方をなじませる。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第6回	コミュニケーション中国語6 発音(ピンイン)のまとめ/子音+単母音/子音+複母音/子音+鼻母音/音節表記の規則 復習:音節表の音節を正確に発音でき、かつそれに声調を加えて発音できるようにする。その上で、単語レベルから文章レベルへと発音のレベルを上げていくことにより、コミュニケーション中国語の読解の基礎を固める。予習(アクティブ・ラーニング):間違えたピンイン直しの練習を通じて、中国語のローマ字表記法を理解する。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第7回	コミュニケーション中国語7 習った中国語の発音と音節の基礎を応用しながら、単語レベルから文章レベルへと発音のレベルを上げていく。単語の読み方/文の構成/中国語の歌/四点セット勉強法/発音と会話 復習:中国語の基本文の構造と日本語を比較して、それがどのような特徴を有するかを理解する。予習(アクティブ・ラーニング):習った漢字と基本文を辞書で調べながら覚える。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第8回	コミュニケーション中国語8 習った中国語の発音と音節の基礎を応用しながら、本格的な中国語の会話と文章の読解の基礎を固める。実詞と虚詞/実詞:名詞・動詞・形容詞/虚詞:副詞・介詞(前置詞)・接続詞・語気詞/中国語の歌/パソコン中国語/発音と会話 復習:学んだ文の構造を正しく理解して、コミュニケーション中国語を自在にできるように、虚詞の用法に習熟しておくことが何よりも大切。予習(アクティブ・ラーニング):習った漢字と基本文を辞書で調べながら覚える。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。
第9回	コミュニケーション中国語9 中国語学習の土台となるのが「語彙力」で、ピンインを発音しながら、四点セットで音も同時に覚える。中国語の歌/単語の覚え方/入れ替え練習/発音と会話 復習:学んだ歌の名文を朗読して、口を慣らしましょう。予習(アクティブ・ラーニング):判断文の新出単語と本文を辞書で調べながら予習。 ※授業前に指示した練習を準備しておくこと(予習・復習約20分間)。

- 第10回 コミュニケーション中国語10 判断動詞「是」を述語とする判断文や疑問文など学ぶ。単語朗読／単語と会話／模範会話文／人称代名詞／中国語の文の基本構造／判断文／判断文の否定／疑問文と選択疑問文／副詞／限定語／補充単語 復習:学んだ内容をよく理解し、第六講の新出単語と本文、文法の例文をを辞書で調べながら復習。予習(アクティブ・ラーニング):判断文の自己紹介文の作成練習を行ない、総合練習問題を解く。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第11回 コミュニケーション中国語11 グループワークを通じて、判断文の自己紹介の練習を行う。判断文／否定文／一般疑問文／選択疑問文／疑問代詞疑問文 復習:練習した内容をもう一度よく整理しておく。予習(アクティブ・ラーニング):教科書巻末音節表を中心に母音を整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第12回 コミュニケーション中国語12 第1学期で学習した母音が定着されているかどうかを確認するために、ヒアリングと和文中訳の検定練習を通じて点検する。単母音／複母音／鼻母音／単語と構文 判断文の自己紹介の練習を行う。復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):教科書巻末の音節表を中心に子音と母音をセットで整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第13回 コミュニケーション中国語13 第1学期で学習した子音が定着されているかどうかを確認するために、ヒアリングと和文中訳の検定練習を通じて点検する。有気音と無気音／そり舌音／間違え易い発音／単語と構文／判断文の自己紹介の練習を行う。復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):体系的に前期に学んだ単語、構文、文法を四点セットで整理する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第14回 コミュニケーション中国語14 第1学期の理解度の確認／授業のまとめ (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp1～38 復習:教科書pp1～38
- 第15回 コミュニケーション中国語15 振り返り／到達度の確認 (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp1～38 復習:教科書pp1～38
- 第16回 コミュニケーション中国語16 第1学期で学んだことが定着しているかどうかを再確認する。その定着度を測るために小テストを実施する。第2学期授業計画の説明／指示語と指示文の比較説明 復習:確認した内容を習熟する。予習(アクティブ・ラーニング):指示文の単語や補充単語、また模範文と例文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第17回 コミュニケーション中国語17 中国語における指示語と指示文について学ぶ。模範会話文／指示語／指示文／この、その、あの、どの(連体語)と日中指示語の区別／基数字と数量詞／終助詞と語気助詞・音便／補充単語 復習:中国語の指示語と日本語の指示語の区別を吟味し、練習問題を解き、模範文と練習文を四点セットで練習する。予習(アクティブ・ラーニング):指示文の単語や補充単語、また模範文と例文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第18回 コミュニケーション中国語18 指示語や数量詞や指示文などの会話練習を行う。小テストと構文練習／総合練習／声調の変化:「一」の音便／よく使う中国語の量詞／単語と四点セット会話 復習:よく使う中国語の量詞を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):形容詞と形容詞述語文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第19回 コミュニケーション中国語19 形容詞が述語の役割を果たす形容詞述語文について学ぶ。形容詞と構文／属性形容詞と状態形容詞／動作、行動、状態の程度を表す否定／副詞・形容詞・形容詞文の補語 復習:学んだ形容詞述語文を整理しておく。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第20回 コミュニケーション中国語20 形容詞と形容詞述語文の会話練習を行う。模範会話文／形容詞と形容詞述語文／副詞と形容詞の否定／推量の表現／曜日の言い方／親族の呼び方／比較文 復習:学んだ形容詞述語文と名詞述語文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):動詞述語文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第21回 コミュニケーション中国語21 一般動詞が述語の役割を果たす動詞述語文について学ぶ。小テストと総合練習／動詞の分類／一般動詞と動詞述語文／否定文:「不」と「没」／疑問文／目的語を2つある動詞述語文／使役文 復習:学んだ動詞述語文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第22回 コミュニケーション中国語22 一般動詞述語文、他動詞文と自動詞、動名詞文などの会話練習を行う。小テストと総合練習／他動詞文と自動詞文／主述文／動態(進行と持続)／完了／連動文／丁寧な表現／時刻の言い方 復習:練習を行った動詞述語文について熟知する。予習(アクティブ・ラーニング):所有文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第23回 コミュニケーション中国語23 所有動詞を述語とする所有文について学ぶ。所有動詞／所有文の構文／所有文の否定／数量詞と動量詞／「どのぐらい」と「何」の疑問文／「只」の使い方 復習:学んだ所有文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第24回 コミュニケーション中国語24 所有文、動量詞文、補充語文などの会話練習を行う。小テストと総合練習／所有文の構文／動量詞文／数量詞／補充語文の構文 復習:練習を行った所有文とその他の構文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):存在文を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第25回 コミュニケーション中国語25 存在動詞を述語とする存在文について学ぶ。存在動詞／存在文／存在動詞「在」と存在を表す「有」／存在文と存現文／場所を表す指示語／方位詞／補充単語／助動詞の使い方 復習:学んだ存在文とその例文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):総合練習問題を解き、模範文と総合練習文の発音練習を行なう。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第26回 コミュニケーション中国語26 存在文、存現文、方位詞文などの会話練習を行う。小テストと総合練習／所有文の構文／存在文の構文／方位詞文の構文／受け身の構文／前置詞 復習:練習を行った存在文とその他の構文を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):中国語の歌を辞書で調べながら予習する。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第27回 コミュニケーション中国語27 楽しい中国語の歌について学ぶ。中国語の歌／中国語会話文法の総合運用 復習:学んだ中国の歌を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):パソコン中国語(自主課題) ※授業

前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。

- 第28回 コミュニケーション中国語28 引き続き楽しい中国語の歌について学ぶ。中国語の歌／中国語会話文法の総合運用 復習:学んだ中国の歌を四点セットで整理する。予習(アクティブ・ラーニング):後期の内容について整理しながら、総復習を行う。 ※授業前に指示した練習を準備してくること(予習・復習約20分間)。
- 第29回 コミュニケーション中国語29 引き続き楽しい中国語の歌について学ぶ／授業のまとめ (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp35～70 復習:教科書pp35～70
- 第30回 コミュニケーション中国語30 振り返り／到達度の確認 (授業前に指示した練習を準備してくること) 予習:教科書pp35～70 復習:教科書pp35～70

授業計画コメント

コミュニケーション中国語で学んで欲しい到達目標とは何か? 1. 中国語のピン音字母、またピン音字母で表記された音節を身につける。 2. 中国語の独特なアクセントやイントネーションを修得する。 3. テキストに取り上げられた語彙、文法を体系的に掌握する。 4. 四点セットの把握法により、正しくきれいな発音で自分の意思を表現することができるようになる。

授業方法

この授業は演習の授業形態であり、アクティブラーニングの方法を通じて展開し、気軽に勉強できる雰囲気心がけている。また歌、映像などの手段をとおして勉強すると、何度も出てくる言葉はすぐに覚えられ、メロディがついているから、一度覚えれば忘れにくい、さらに楽しみながら学習できる。日本語との比較からコミュニケーション中国語を勉強すれば、中国語文化の楽しみを味わうことができると同時に、グローバル人材がますます求められている今日において人生の道具としての、もう一つの外国語を修得することも期待できる。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語学の学習は予習と復習(アクティブ・ラーニング)が不可欠であり、中国語プレゼンテーションに受けた指摘事項を復習し、予習として次回の内容を作成する(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	学期末の達成目標に関する到達度を確認する。
学年末試験(第2学期)	25 %	学期末の達成目標に関する到達度を確認する。
中間テスト	10 %	中国語の運用についての課題・分析・応用力を評価する。
レポート	10 %	中国語の運用についての課題・分析・応用力を評価する。 (*パソコン中国語・加点あり、アクティブラーニングとフィードバックにて行う)。
小テスト	10 %	各ユニットで展開している「中国語 I」の理解度を確認する。
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	授業外学習や授業の取組みの姿勢などに合わせて評価する。
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

期末試験、小テスト、課題提出、授業出席などにより総合的に評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

本科目は、学生諸君の課題やレポートや質問や意見等に対しては、コメントをフィードバックし、双方向型学習を展開する。PBL中心の授業のため、都度授業内で皆さまのプレゼンに対してコメントを行う。学生からのプレゼンペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布を行う。

教科書

文法・発音・リズムで勉強する中国語(印刷教材),周偉嘉,五絃舎,2014

教科書コメント

中国語レポート作成などをするうえで知っておくべき技法やパターン認識法、研究倫理などを学ぶことができるようになる。

参考文献

クラウン中日辞典小型版,松岡榮志・他,三省堂,2004,4385121761

参考文献コメント

中国語プレゼンテーション作成などをするうえで知っておくべき技法やパターン認識法、研究倫理などを学ぶことができるようになる。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語の勉強について、下記の方法をご提案します。(1)ノートは丁寧にとっておくこと。(2)予習と復習は常に心掛けること。(3)学習は中断せず続けること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100114	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)14		
副題	中国語を楽しみましょう		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	胡 婉如		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1-105		

授業概要

本講義は、現代中国語を初歩から始めますが、なるべくもうひとつの中国語の授業と関連付けて、主に「聞く」・「話す」のトレーニングに重点を置きます。日本人学生が間違いやすい発音・単語などに着目して、繰り返し練習します。1年間で発音や基礎表現が身につく、中国語的な会話の運び方が習得できることを目標とします。日本文化と対照して、現代中国の事情などを織り込んで、中国への理解を強め、中国語への興味を高めるようにします。

到達目標

前期は中国語のピンイン、日常の挨拶や自己紹介(自分の名前、国籍、大学名、専攻名、学年、趣味、家族構成など)を学びます。後期は 経験、進行、完了、能力、補語(様態、可能、結果、方向)、受け身、使役などを学びます。以上の学習によって、基礎文法を身に付け、中国語での基礎会話とレベルのやや高い自己紹介ができるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	発音編 中国語の紹介 発音
第2回	発音
第3回	〃
第4回	発音のまとめ 第1課 お名前はなんとおっしゃいますか
第5回	第1課 お名前はなんとおっしゃいますか
第6回	第2課 お元気ですか
第7回	第2課 お元気ですか 第3課 家は家族3人しかいません
第8回	第3課 家は家族3人しかいません
第9回	第4課 私の辞書は本棚にあります
第10回	第4課 私の辞書は本棚にあります 第5課 私は映画が好きです
第11回	第5課 私は映画が好きです
第12回	第6課 お家から大学まで何時間かかりますか
第13回	〃
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	復習 第7課 上海は東京より涼しいでしょう
第17回	第7課 上海は東京より涼しいでしょう
第18回	第8課 何年間中国語を勉強してきましたか
第19回	〃
第20回	第9課 一つ質問してもよろしいですか
第21回	〃
第22回	第10課 何をしていますか
第23回	〃
第24回	第11課 皆さんを呼んでみましょうか
第25回	〃
第26回	第12課 私たちの友情のために乾杯しましょう
第27回	〃
第28回	文法の総復習
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

1、第1学期の前半は中国語の発音、ローマ字の綴り(ピンイン)を練習します。2、教科書に基づいて講義を進め、一つ一つの話題をめぐって実際の状況に基づいて、会話をかわすように学習していきます。

授業方法

授業方法

講義形式とグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

発音段階は授業後CDを聞いて、大きな声で発音すること(30分) 本文段階は授業前に単語を朗読、覚えておくこと、指示した練習問題をやってくること(1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:40%(筆記小テスト・本文暗誦・会話発表、出席)。

第1学期(学期末試験):30%(発音の正確さ・流暢さ(単語・フレーズ・センテンス))。

第2学期(学年末試験):30%(発音の正確さ(声調・ピンイン)・流暢さ(単語・フレーズ・センテンス)・作文力(単語・文法の運び方))

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験・小テスト等については、必要に応じて適宜解説を加えます

教科書

基礎からきちんと中国語,胡婉如・柿市里子,東方書店,初版,2013,9784497213037

参考文献コメント

授業時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

中国語は発音がやや難しいですが、くりかえしCDを聞いたり、発音練習や朗読をし、指定された課題を怠らないように、積極的に授業に取り組んでほしいです。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100115	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)15		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	陳 継東		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-304		

授業概要

教科書にしたがって、中国語の会話と読解を学ぶ。各課では先に文法事項を学んでから本文を音読し、意味を確認していく。次の授業で復習として練習問題を解く。映像や音声資料も活用して、受講者の興味を喚起することにも努めたい。

到達目標

現代中国語の発音の特徴や基礎文型などを習得することを目標とする。ヒヤリングを重視しつつ、正しい発音を身につけ、挨拶や日常会話などを話せるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	発音1(母音)の学習。
第3回	発音2(子音)の学習
第4回	発音3(鼻音)の学習。
第5回	第一課「请多关照」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。。
第6回	第二課「你去哪儿?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第7回	第三課「这是什么?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第8回	第四課「你有课吗?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第9回	中国語映画の鑑賞
第10回	中間テスト
第11回	第五課「你家在哪儿?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第12回	復習「自我介绍」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第13回	第六課「和食はいかが?」新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第14回	第七課「家庭訪問」新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第15回	期末テスト
第16回	後期ガイダンスと復習
第17回	第八課「你会打乒乓球吗?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第18回	第九課「味道怎么样?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第19回	第十課「我家离学校不太远」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第20回	復習
第21回	中間テスト
第22回	中国語映画の鑑賞
第23回	第十一課「你在干什么?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第24回	第十一課「你在干什么?」、練習を行う。
第25回	第十二課「你都准备好了吗?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第26回	第十二課「你都准备好了吗?」、練習を行う。
第27回	第十三課「你是什么时候到的北京?」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第28回	第十三課「你是什么时候到的北京?」、練習を行う。
第29回	復習「我很喜欢北京」、新出単語と文法の学習、本文の訳と熟読。
第30回	期末テスト

授業方法

教科書にしたがって、中国語の会話と読解を学ぶ。また各課ごとの宿題を完成してもらう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習必要、小テスト実行。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

発音の練習、文法の説明などを受講生に対して随時に行う。

教科書

『シンプルチャイニーズ 東京 会話篇』、朝日出版社、2019。、早稲田大学理工学術院中国語部会、朝日出版社、4、2019、978-4-255-45279-1

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100116	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)16		
副題	身につく中国語		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	呉 秀月		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1-209		

授業概要

本授業は、中国語初心者を対象とし、一年間の履修を通じて、中国語の発音、基本的文法、一般的な表現と、日常会話力を身につけることを目指します。新しい外国語の習得は、努力と忍耐が必要です。履修する学生は、予習と復習、及び積極的な授業への参加が望まれます。

到達目標

最初の授業は中国語で一番難しい発音を繰り返して暗誦することにより、より正確な発音をしゃべれるようになる。さらに一年間の文法と単語の学習により、簡単な中国語の会話が身につけることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語に関する紹介と中国語の発音の基礎紹介
第2回	中国語の発音:(1)声調・単母音の習得
第3回	中国語の発音:(2)複合母音の習得
第4回	中国語の発音:(3)子音の習得
第5回	中国語の発音:(4)鼻母音の習得
第6回	第1課:名詞判断文・一般疑問文
第7回	第1課:名前の言い方 第2課:動詞「在」「有」の使い方
第8回	第2課:疑問詞疑問文・「的」の使い方 第3課:「是」・動詞文・前置詞「在」の使い方
第9回	第3課:「是」・動詞文・前置詞「在」の使い方・連動文(1)
第10回	第1-3課のまとめ
第11回	第4課:形容詞述語文・主述述語文・反復疑問文
第12回	第4課の復習 第5課:予定を表す「打算」などの文
第13回	第5課:「想」「能」「可以」の使い方・数量補語
第14回	第4-5課の総括
第15回	到達度確認
第16回	第6課:動詞「完了」「経験」の表現
第17回	第6課:反復疑問文 第7課:前置詞(1)の文
第18回	第7課:連動文(2)
第19回	第8課:二重目的語・前置詞(2)
第20回	第8課:疑問詞の文 第9課:状態補語・助動詞(1)「会」の文
第21回	第9課:比較構文(1)(2)
第22回	第6-9課のまとめ
第23回	第10課:進行中を表す文・助動詞(2)
第24回	第10課:結果補語・動詞の重ね型の文
第25回	第11課:「是…的」などの使い方
第26回	第11課:接続語の使い方
第27回	第12課:変化を表す「了」の文
第28回	第12課:「快…了」・「只」などの文
第29回	第10-12課の総括
第30回	到達度確認

授業方法

実際の授業の進め方は次の通り。全員参加を原則とし、一人ずつ発音を練習し、全員で中国語の朗読を繰り返します。それから学習した単語と表現を用いて、簡単な中国語の文を作ります。学生は、自分で作った文章を中国語で発音し、話す練習によって基礎語学力を身につけることが大切だと考えています。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: 単語と例文や本文の内容について読みの練習(約30分間) 復習: 聴き取りの練習と暗記することが望ましい(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	18 %	
学年末試験(第2学期)	18 %	
中間テスト	34 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

中国語の勉強だけではなく、中国、台湾や香港の文化や食べ物などについて随時紹介します。試験の答えについては、必要に応じて解説を行います。

教科書

学ぶ中国語, 王亜新・劉素英, 朝日出版社, 2018, 4255452265

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100117	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)17		
副題	シンプルチャイニーズ「東京篇」		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	呂 小燕		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西2-303		

授業概要

中国語をはじめて学ぶ人のための授業。中国語の発音を習って、日常よく使われる会話を通して、基本表現と基本文型を学習する。一年間の勉強を通じて、中国語で初歩的なコミュニケーションに参加できることを目指す。日常会話の口頭練習を繰り返すことにより、生きた中国語を身につけるよう指導する。

到達目標

現代中国語の発音や基本文法、重要表現などをしっかり身につけ、応用できるようになることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	声調、単母音、複母音、あいさつことば(1)
第2回	子音、そり舌音、あいさつことば(2)
第3回	鼻母音、数字、あいさつことば(3)
第4回	第一課「请多关照!」
第5回	第二課「你去哪儿?」
第6回	復習課
第7回	第三課「这是什么?」
第8回	第四課「你有课吗?」
第9回	復習課
第10回	第五課「你家在哪儿?」
第11回	「自己紹介」の作文
第12回	「自己紹介」の発表
第13回	まとめの復習
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	第六課「暑假做什么了?」
第17回	第七課「祝你生日快乐!」
第18回	復習課
第19回	第八課「你会打乒乓球吗?」
第20回	第九課「味道怎么样?」
第21回	復習課
第22回	第十課「我家离学校不太远。」
第23回	第十一課「你在干什么呢?」
第24回	復習課
第25回	第十二課「你都准备好了吗?」
第26回	第十三課「你是什么时候到的北京?」
第27回	復習課
第28回	まとめの復習
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

授業中、中国語関連表現のプリントも配付する。

授業方法

講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、聞き取り小テストの予定があります、よく復習すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40%。総合的に評価をする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

期末試験の答えは返却し、授業内答案解説を行う。

教科書

シンプルチャイニーズ 東京会話篇,西早稲田中国語部会,朝日出版社,第4,2020,978-4-255-45279-1

教科書コメント

テキストは自習用CDが添付されている。

参考文献コメント

授業中適宜に指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業でわからないことがあれば、何でも聞いてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100118	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)18		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	馮 青		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-303		

授業概要

中国語の特徴に則して、入門段階では正しい発音と基本文法、そして標準的会話表現の練習、習得に力点を置く。教科書による授業のほかに、ビジュアル資料の使用や相互の会話練習なども行う。

到達目標

中国語の面白さを知り、初級レベルに必要な知識と運用能力を身に付ける。さらに、異文化への理解を深めることにより、多元的な考え方を育成する。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション ピンイン習得(1): a o e i u ü er ā á ǎ à
第2回	ピンイン習得(2): ai ei ao ou ia ie ua uo ue iao iou(iu) uai uei(ui)
第3回	ピンイン習得(3): b p m f d t n l g k h j q x zh ch sh r z c s
第4回	ピンイン習得(4): an en ang eng ong ian in iang ing iong uan uen(un) uang ueng üan ün
第5回	ピンイン習得(5): nǐ hǎo nǐ men hǎo qǐngwèn xièxiè búxiè zàijiàn bú(不)の声調変化 yī(一)の声調変化
第6回	まとめ、ビジュアル資料による授業
第7回	第一課 你贵姓? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第8回	第二課 你家在哪儿? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第9回	第三課 身体好吗? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第10回	ビジュアル資料による授業、相互の会話練習を行う
第11回	第四課 几点上课? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第12回	第五課 你的爱好是什么? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第13回	第六課 你在做什么呢? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第14回	第一～六課の基本表現を復習し、習得度を確認する。
第15回	到達度確認、フィードバック
第16回	第1学期の内容の復習、聞き取り練習
第17回	第七課 你觉得行吗? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第18回	第七課 你觉得行吗? .基本表現, 語彙の応用 .会話練習
第19回	第八課 怎么了? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第20回	第八課 怎么了? .基本表現, 語彙の応用 .会話練習
第21回	ビジュアル資料による授業、聞き取り練習
第22回	第九課 你是怎么去的? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習

- 第23回 第九課 你是怎么去的?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第24回 第十課 你家离车站远吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第25回 第十課 你家离车站远吗?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第26回 第十一課 明天下雪吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第27回 第十一課 明天下雪吗?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第28回 第十二課 吃川菜, 好吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第29回 第七～十二課の基本表現を復習し、習得度を確認する。
- 第30回 到達度確認、フィードバック

授業方法

教員による解説のほか、発音、和訳、中訳、聞き取り及び会話練習を行い、中国語の基礎の確実な習得を図る。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回の授業で指示された内容について、予復習を行うこと(それぞれ60分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	学期末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
学年末試験(第2学期)	30 %	学年末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
中間テスト	20 %	第1学期、第2学期に小テストを各1回行う。満点を10点とする。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	第1学期、第2学期にそれぞれ平常点を10点設ける。平常点には授業への取り組み、出席状況、課題なども含む。
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

G-port などインターネットシステムも利用するが、基本的に授業中で説明を行う。

教科書

KOTOTOMO ことばを友に, 趙秀敏ら, 朝日出版社/Asahi Press, 2017, 978-4-255-45295-1

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回必ず出席を取る。30分以上の遅刻は欠席とみなす。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100119	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)19		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	曾 紅		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-304		

授業概要

真剣に中国語を身につけて文化経済などの交流に役に立ちたい方々のために、中国の歴史、文化、風俗習慣などの話を織りまぜながら発音、文法、会話の練習を友達同士で緊張感をパワーに、自分でも不思議なほど短時間で多くの中国語の知識を身につける楽しい時間にしたい。毎回、聞き取り、暗記、宿題がありますので、それでも頑張っ勉強する学生さんのみ受け入れます。

到達目標

グローバル時代に活躍するための語学力を身につけるため、この一年間の授業を通して、中国語の発音の仕方、基礎文法を習得しながら、話す力、聴く力、書く力を大いに身につけていきます。また、多民族構成の中国の歴史、風俗習慣、考え方を理解し、国際的な思考力、発信力を高めていきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	発音その1
第2回	〃
第3回	発音その2
第4回	〃
第5回	発音その3
第6回	〃
第7回	発音その4
第8回	〃
第9回	挨拶言葉
第10回	教室用語
第11回	発音チェック
第12回	第一課 空港
第13回	第二課 と、となりに
第14回	第三課 チェックイン
第15回	理解度の確認
第16回	第四課 はい、チーズ
第17回	第五課 何年生まれ
第18回	第六課 故宮
第19回	第七課 遊園地
第20回	第八課 北京の朝
第21回	第九課 プレゼント
第22回	第十課 北京動物園
第23回	第十一課 北京ダック
第24回	第十二課 サッカー観戦
第25回	第十三課 プールサイド
第26回	第十四課 お医者さん
第27回	第十五課 月の夜
第28回	第十六課 上海へ
第29回	総合練習
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

教室では、毎回、友達同士で楽しく本文の暗記を行い「聞く力」と「話す力」を高めていきたいと思います。授業外では、宿題などで「書く力」を高めていきます。一年後には、驚くほど上手に会話ができ、綺麗に文章を書けます。言葉以外にも、中国の歴史、文化・経済・風俗・習慣などに関する知識も豊富になります。必ず辞書を用意すること。購入は、日中・中日・電子辞書の順ですすめます。

授業方法

中国の風俗習慣などを紹介します。前回学んだものをヒアリングをします。

単語と文法は先生が教える前に自ら調べてやってみてください。毎回学んだ文章を学生同士で一緒に暗記します。毎回学んだ文法を宿題でさらに練習します。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業は、まず前回学んだ文章の書き取りを行います。次に中国の風俗習慣などのことを紹介します。それから新しい本文の単語、文法を勉強し、ビデオ画像を見ながら、友達同士で暗記の練習を行います。宿題は、その日学んだ単語、文法を繰り返し練習できるようなものを出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	20 %	
レポート	20 %	毎回の宿題
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):(毎週のグループで行う暗記と会話) 中間テスト:(発音に関する小テスト) 第2学期(学年末試験):(第2学期の学期末試験) 第1学期(学期末試験):(第1学期の学期末試験) 小テスト:(予習)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期・後期の期末試験と中間テストについては、必要に応じて解説等を加えます。

教科書

恋する莎莎,相原茂 陳淑梅,朝日出版社,初版,2002

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

外国語を身につけるためには、暗記しないとうまく話せません。文書を書いてみないとうまく書けません。というわけで、毎回、聞き取り、暗記、宿題があります。本当に大変です！それでも年度末には話せる！聞ける！書ける目標にして頑張る学生さんを受け入れます。頑張った結果その喜びは大きいものです！

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100120	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)20		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	許 家晟		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1-303		

授業概要

主に初めて中国語を学習する学生を対象にした会話中心の授業です。

到達目標

教科書にもとづき、中国語の発音や基礎的な語彙、日常会話などの学習・練習を行ない、一年間で簡単な日常会話ができるようになることを目指します。また、より理解しやすく、習得しやすいため、歴史や社会・文化に関連することについても説明します。

授業内容

実施回	内容
第1回	中国語についての説明、日本語との異同についての説明。発音:声調、単母音、複母音 挨拶。
第2回	発音:子音、無気音と有気音、そり舌音、挨拶。
第3回	発音:声調の変化・声調の組み合わせ。
第4回	発音の総復習
第5回	第1課:「浦東空港にて」
第6回	第2課:「タクシーに乗って」
第7回	第3課:「ホテルでお茶を」
第8回	第4課:「私の家族」
第9回	春学期中間テスト
第10回	第5課:「趣味は映画です」
第11回	第6課:「大学の図書館へ」
第12回	第7課:「放課後」
第13回	第8課:「上海の交通」
第14回	春学期総復習
第15回	前期末理解度確認試験
第16回	第9課:「地下鉄駅付近にて」
第17回	第10課:「上海の“小吃”」
第18回	第11課:「ちょっとおなかが空いた」
第19回	第12課:「突然の雨」
第20回	第13課:「上海料理を食べる」
第21回	第14課:「おなかいっぱいです」
第22回	秋学期中間テスト
第23回	第15課:「バンドの夜景」
第24回	第16課:「上海語はおもしろい」
第25回	第17課:「ホテルの部屋から」
第26回	第18課:「どうしたの?」
第27回	第19課:「上海は魅力的」
第28回	第20課:「また会いましょう」
第29回	学年末総復習
第30回	学年末試験

授業方法

講義形式、グループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

単語等の予習(30分)、授業後の復習(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業後、質問随時受け付けます。
グループワークの最後にコメントをします。

教科書

LOVE!上海 初級中国語,楊凱栄,朝日出版社,初,2018,978-4-255-45258-6

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100121	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)21		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	馮 青		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1-303		

授業概要

中国語の特徴に則して、入門段階では正しい発音と基本文法、そして標準的会話表現の練習、習得に力点を置く。教科書による授業のほかに、ビジュアル資料の使用や相互の会話練習なども行う。

到達目標

中国語の面白さを知り、初級レベルに必要な知識と運用能力を身に付ける。さらに、異文化への理解を深めることにより、多元的な考え方を育成する。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション ピンイン習得(1): a o e i u ü er ā á ǎ à
第2回	ピンイン習得(2): ai ei ao ou ia ie ua uo ue iao iou(iu) uai uei(ui)
第3回	ピンイン習得(3): b p m f d t n l g k h j q x zh ch sh r z c s
第4回	ピンイン習得(4): an en ang eng ong ian in iang ing iong uan uen(un) uang ueng üan ün
第5回	ピンイン習得(5): nǐ hǎo nǐ men hǎo qǐ ngwèn xièxiè búxiè zàijiàn bú(不)の声調変化 yī(一)の声調変化
第6回	まとめ、ビジュアル資料による授業
第7回	第一課 你贵姓? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第8回	第二課 你家在哪儿? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第9回	第三課 身体好吗? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第10回	ビジュアル資料による授業、相互の会話練習を行う
第11回	第四課 几点上课? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第12回	第五課 你的爱好是什么? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第13回	第六課 你在做什么呢? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第14回	第一～六課の基本表現を復習し、習得度を確認する。
第15回	到達度確認、フィードバック
第16回	第1学期の内容の復習、聞き取り練習
第17回	第七課 你觉得行吗? .基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第18回	第七課 你觉得行吗? 基本表現, 語彙の応用 .会話練習
第19回	第八課 怎么了? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習
第20回	第八課 怎么了? 基本表現, 語彙の応用 .会話練習
第21回	ビジュアル資料による授業、聞き取り練習
第22回	第九課 你是怎么去的? 基本表現, 語彙の学習 .会話練習

- 第23回 第九課 你是怎么去的?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第24回 第十課 你家离车站远吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第25回 第十課 你家离车站远吗?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第26回 第十一課 明天下雪吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第27回 第十一課 明天下雪吗?
基本表現, 語彙の応用
.会話練習
- 第28回 第十二課 吃川菜, 好吗?
基本表現, 語彙の学習
.会話練習
- 第29回 第七～十二課の基本表現を復習し、習得度を確認する。
- 第30回 到達度確認、フィードバック

授業方法

教員による解説のほか、発音、和訳、中訳、聞き取り及び会話練習を行い、中国語の基礎の確実な習得を図る。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回の授業で指示された内容について、予復習を行うこと(それぞれ60分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	学期末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
学年末試験(第2学期)	30 %	学年末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
中間テスト	20 %	第1学期、第2学期に小テストを各1回行う。満点を10点とする。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	第1学期、第2学期にそれぞれ平常点を10点設ける。平常点には授業への取り組み、出席状況、課題なども含む。
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

G-port などインターネットシステムも利用するが、基本的に授業中で説明を行う。

教科書

KOTOTOMO ことばを友に, 趙秀敏ら, 朝日出版社/Asahi Press, 2017, 978-4-255-45295-1

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回必ず出席を取る。30分以上の遅刻は欠席とみなす。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823100122	科目ナンバリング	002D142
講義名	中国語C(初級)22		
英文科目名	Chinese (Elementary Course; Communication)		
担当者名	林 鳴宇		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1-205		

授業概要

教材を使用して初歩的な中国語表現を学習し、日常会話の繰り返しにより、会話の基礎を習得することを目指す。

到達目標

標準中国語を基礎から学習します。発音や基本的な表現などを、「聞く」、「話す」、「書く」の三つの面から身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	授業ガイダンス 中国語について
第2回	発音 四声、子音など
第3回	発音 母音、軽声など
第4回	第一課:人称代名詞、否定詞「不」、疑問文
第5回	第一課:練習
第6回	第二課:指示代名詞、疑問詞疑問文
第7回	第二課:練習
第8回	第三課:動詞の使い方
第9回	第三課:練習
第10回	第四課:形容詞・量詞の使い方
第11回	第四課:練習
第12回	第五課:数字、年月日の言い方
第13回	第五課:練習
第14回	総合練習・復習
第15回	自主研究
第16回	第六課:助動詞の使い方
第17回	第六課:練習
第18回	第七課:「有」と「在」の使い方
第19回	第七課:練習
第20回	第八課:時間量の言い方・介詞の使い方
第21回	第八課:練習
第22回	第九課:動詞のさまざまな変化(1)
第23回	第九課:練習
第24回	第十課:可能表現「会」と「能」の使い方・様態補語
第25回	第十課:練習
第26回	第十一課:動詞のさまざまな変化(2)
第27回	第十一課:練習
第28回	第十二課:「比較」の表現
第29回	第十二課:練習
第30回	総合練習・復習

授業計画コメント

中国語会話の練習を中心とする授業

授業方法

中国語の発音表記システムである「ピンイン」の読み方を学習します。その後、基本的な表現を学び、日常会話を繰り返すことで、中国語会話の基礎を習得することを目指します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前には指示した箇所の単語を暗記してくること(約10分) 授業前には指示した箇所の練習問題を回答してくること(約10~15分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 通常の授業への積極的な参加度、および課題実行度、学期末試験によって、総合的に成績を評価します。第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は授業期間中に回収し、必要に応じて適宜解説を加えます。

教科書

最新2訂版 中国語 はじめの一步,尹 景春 竹島 毅,白水社,2訂版,2012,9784560069257

教科書コメント

初歩的な中国語でコミュニケーションを図ることを目指す。

参考文献

はじめての中国語学習辞典,相原茂,朝日出版社

中日辞典,北京商務印書館、小学館、小学館

参考文献コメント

中国語辞典は、初回に必ずしも持参する必要はない。授業の中で適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101101	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)1[会話]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	樹中 慧		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-107		

授業概要

コミュニケーションとは対話をすることです。相手の話したことを理解した上で自分の考えを述べるのが対話です。中国語は漢字を使用しているので日本人はつい目に頼りがちです。そのため本授業では、できるだけ自分で声に出して話すことで、自由に対話できる学力の養成を目指します。一課ごとにテーマを設定し、そのテーマについて話すトレーニングをしていきたいと思ひます。

到達目標

基礎を1年間学習した学生が無理なくついていけるように基本的な言い回しや単語のトレーニングから始めます。様々な場面を設定し、あらゆるシーンで使用される実用的な表現を学んでいきたいと思ひます。平易な表現から始め、少しずつ難度を高めていきます。

授業内容

実施回	内容
第1回	基本文型の確認
第2回	第1課 自己紹介
第3回	第1課のトレーニング
第4回	第2課 通学
第5回	第2課のトレーニング
第6回	第3課 趣味
第7回	第3課のトレーニング
第8回	第4課 アルバイト
第9回	第4課のトレーニング
第10回	第5課 スケジュール
第11回	第5課のトレーニング
第12回	第6課 料理を注文する
第13回	第6課のトレーニング
第14回	第1-6課の復習
第15回	予備日
第16回	第7課 診察を受ける
第17回	第7課のトレーニング
第18回	第8課 買い物
第19回	第8課のトレーニング
第20回	第9課 旅行
第21回	第9課のトレーニング
第22回	第10課 髪型
第23回	第10課のトレーニング
第24回	第11課 ファッション
第25回	第11課のトレーニング
第26回	第12課 宿を予約する
第27回	第12課のトレーニング
第28回	第7-12課の復習
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

1課を2回の授業で終わらせ、無理のないペースで進めていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前にテキストの内容を確認して、事前に文法事項を復習しておくことを希望します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

期末試験及び授業の出欠、課題の状況によって総合的に評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験等については、適宜授業において解説を加える。

教科書

『しゃべくり中国語』,内田慶市・張軼欧,金星堂,2018

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101102	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)2[会話]		
副題	中国語で日中間の慣習や大学事情について話してみましょう		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	胡 婉如		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西2-506		

授業概要

初級中国語を履修した学生を対象にするこの授業は、基礎的な事項を再確認しながら、会話を中心に授業を進める。

A、やり方

前半:聞き取り練習を行ったり、発音を直したりする。

後半:学習者が主体的に前回の授業の内容に基づいて自力で仕上げていく予定です。

① 教材を朗読して内容の確認をする。文型や慣用句などの説明を通して、口頭で短文を造ってもらう。

② 本文の内容に基づいて問答練習や会話発表をしてもらい、ドリルなどを通して、理解度を確認する。

③ 授業中、できるだけ中国語を使う。

B、進み具合

学生の人数やレベルにもよるが、二、三回で一課のようなペースで、授業を進める予定である。

到達目標

最新中国事情の学習や会話の発表を通して、日中間の慣習や大学事情について、中国語で中国人とコミュニケーションが少しでもとれるように次の3点を目標とする。

① 内容を聞いて直ちに理解できる。

② 正確な発音および自然なリズムで言える。

③ 日中間の慣習や大学事情について一般的な応答が支障なく行える。

授業内容

実施回	内容
第1回	本授業の概要 ピンインの復習(読む) 簡単な自己紹介 第1課 大学生生活
第2回	第1課 大学生生活
第3回	会話発表 第2課 大学のダイアリー
第4回	第2課 大学のダイアリー
第5回	会話発表 第3課 朝食
第6回	第3課 朝食
第7回	会話発表 第4課 お茶
第8回	第4課 お茶
第9回	会話発表 第5課 飲食
第10回	第5課 飲食
第11回	会話発表 第6課 生活習慣
第12回	第6課 生活習慣
第13回	会話発表 まとめの復習
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	復習 第8課 学園祭
第17回	第8課 学園祭
第18回	会話発表 第9課 スポーツ
第19回	第9課 スポーツ
第20回	会話発表 第10課 歌舞伎と京劇
第21回	第10課 歌舞伎と京劇
第22回	会話発表 第11課 方言
第23回	第11課 方言
第24回	会話発表 第12課 食卓のマナー
第25回	第12課 食卓のマナー
第26回	会話発表 第13課 お正月
第27回	第13課 お正月

第28回 会話発表 まとめ復習

第29回 理解度の確認

第30回 自主研究

授業計画コメント

受講者数とレベルによって 進み度合いの調整がある。

授業方法

講義形式とグループワーク

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習としては、単語や文法を調べて覚えてくること。事前に練習問題をやってくること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:40%(リスニングの小テスト、グループ作業、会話発表など)

第1学期(学期末試験):30%

第2学期(学年末試験):30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各課題については、授業時間内に適宜解説を加える。

教科書

『ことばと文化 一挙両得 中級中国語』,陳淑梅・陸薇,朝日出版社,初,2017

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

本授業は会話を中心に授業を展開していきますので、本気で中国語を話してみたい、聴力を上げたい方なら受講してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101103	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)3[会話]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	廖 伊庄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 南1-106		

授業概要

本講義は、中国語学習の経験者を対象とする。すでに把握した知識を活かしながら、語彙や文型等を増やし、会話の能力を向上させると同時に、映像資料等を通して伝統的・現代中国の知識や情報を紹介し、中国・中国人に対する理解を深めてもらう。

到達目標

語彙や文型を増やし、文法知識をマスターする。会話の能力を向上させ、中国文化への理解を深める。

授業内容

実施回	内容
第1回	講義の概要と進め方及び評価基準等の説明。
第2回	既習知識の復習①
第3回	既習知識の復習②
第4回	第1課
第5回	第2課
第6回	第3課①
第7回	第3課②
第8回	第4課①
第9回	第4課②
第10回	第5課①
第11回	第5課②
第12回	復習①
第13回	復習②
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	第6課①
第17回	第6課②
第18回	第7課①
第19回	第7課②
第20回	第8課①
第21回	第8課②
第22回	第9課①
第23回	第9課②
第24回	第10課①
第25回	第10課②
第26回	復習①
第27回	復習②
第28回	復習③
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

講義&演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

指示に従い該当箇所の予習・復習をすること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):60% 第1学期(学期末試験):20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

各課題については、必要に応じて、授業中に適宜解説を加える。

教科書コメント

基本文法を確認するための教材は開講時に指示する。

参考文献コメント

参考書と辞書は開講時に指示。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101104	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)4[会話]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	河合 史恵		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1-105		

授業概要

初級を終えた方を対象とします。
基礎文型、動態助詞、補語の復習をし、理解を深め、表現の幅を広げます。

到達目標

テキスト本文は暗誦し、やさしい言葉で自分の意思を伝え、相手の言葉を聞きとれるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	日常の挨拶、教室用語
第2回	自己紹介、基本文型の復習
第3回	完了と変化、現在完了
第4回	大学生生活の紹介、結果補語
第5回	複文、必要性、動詞の重ね型
第6回	会う約束、伝聞、使役と受身
第7回	処置文、方向補語
第8回	予定、計画、近接未来
第9回	反語表現、認定と結論
第10回	願望、主述述語文
第11回	疑問詞の特殊用法、可能性
第12回	結果補語、連動文
第13回	旅行、宿泊、手続
第14回	形容詞の副詞用法、仮定の譲歩
第15回	1学期のまとめ、理解度の確認
第16回	呼応表現、限定の副詞
第17回	可能補語と応用
第18回	料理の注文、メニューの読み方
第19回	病院、診察、兼語文
第20回	身体の部位、状況
第21回	補語の多様性
第22回	買物、贈答、複文
第23回	強調、仮定、褒め言葉
第24回	移動手段、乗物、交通
第25回	目的、必要性、義務
第26回	古都を訪問、留学生生活
第27回	祝祭日、冬休み、旧正月
第28回	将来の展望、就職
第29回	中国社会の変化
第30回	2学期のまとめ 理解度の確認

授業方法

文法の解説、本文の読解。音読を繰り返し、正確な発音、抑揚を目指します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習、復習につとめ、既習の本文は暗誦します。
日々のニュースを聞き、中国政治、社会の変化に注意して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

正確な発音、抑揚の把握に努めて下さい。練習問題も各自記入しておくこと。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案は解答例をつけてお返しします。本文の暗誦を高く評価します。

教科書

温故知新!中国語,虞萍,朝日出版社,初,2019

履修上の注意

履修者制限あり。第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

意欲ある学生の参加を希望します。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101105	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)5[リスニング]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	陳 継東		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1-304		

授業概要

教科書にしたがって、中国語の聴解を学ぶ。前後期は会話と聴解の練習に重点を置く。各課では先に文法事項を学んでから本文を音読し、意味を確認していく。次の授業で復習として練習問題を解く。映像や音声資料も活用して、受講者の興味を喚起することにも努めたい。

到達目標

さまざまなバリエーションの中国語に触れて、中国語の文型や表現のパターンに慣れるように練習する。様々な生活場面に対応できる会話力と、文法的難易度の高い文章でも辞書を使えば読みこなせる読解力をつけることを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	第一課新出単語、文法と本文の学習
第3回	聴解の練習
第4回	第二課新出単語、文法と本文の学習
第5回	聴解の練習
第6回	第三課新出単語、文法と本文の学習
第7回	聴解の練習
第8回	中国語映画の鑑賞
第9回	第四課新出単語、文法と本文の学習
第10回	聴解の練習
第11回	第五課新出単語、文法と本文の学習
第12回	聴解の練習
第13回	復習1
第14回	復習2
第15回	期末テスト
第16回	ガイダンスと復習
第17回	第六課新出単語、文法と本文の学習
第18回	聴解の練習
第19回	第七課新出単語、文法と本文の学習
第20回	聴解の練習
第21回	第八課新出単語、文法と本文の学習
第22回	聴解の練習
第23回	中国語映画の鑑賞
第24回	第九課新出単語、文法と本文の学習
第25回	聴解の練習
第26回	第十課新出単語、文法と本文の学習
第27回	聴解の練習
第28回	復習1
第29回	復習2
第30回	期末テスト

授業方法

教科書にしたがって、中国語の聴解を学ぶ。各課の宿題を完成してもらう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

各課を学ぶ前に単語や文法の予習必要、小テスト実行。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

受講生の発音、文法理解などの問題発見とその改善に随時に行う。

教科書

ステップアップ 実践中国語, 王学群監修、綾部武彦・金茵・高麗貞・白石裕一・橋本幸枝・李尚波・劉紅, 白帝社, 初, 2015, 978-4-86398-166-9

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101106	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)6[リスニング]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	林 鳴宇		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-205		

授業概要

「目で漢字を読む」とは異なり、本授業ではさまざまな場面での中国語会話をテーマとして、「耳で音としての中国語をつかまえる」能力を一層高めることを目的とする。

到達目標

中国人が日常生活の中で使う表現を習得する。聞き取り能力を一層向上させる。中国語会話に頻出の類義語や言い替えの表現を把握する。

授業内容

実施回	内容
第1回	概説
第2回	あいさつ1
第3回	あいさつ2
第4回	教室用語
第5回	数字
第6回	数量
第7回	買い物・金額
第8回	小数・分数・概数
第9回	時間
第10回	場所
第11回	位置
第12回	道をたずねる1
第13回	道をたずねる2
第14回	リスニング実戦訓練1
第15回	自主研究
第16回	夏休み課題の解答
第17回	道をたずねる3
第18回	入国手続き
第19回	宿泊
第20回	ファーストフード
第21回	レストラン
第22回	チケット購入1
第23回	チケット購入2
第24回	病院
第25回	郵便局
第26回	宴会
第27回	元旦
第28回	リスニング実戦訓練2
第29回	復習・総合練習
第30回	自主研究

授業計画コメント

30分前後のリスニング練習(近音詞、一問多答など)は毎週実施する。やる気があり、予習復習をしてくることを前提とする。

授業方法

- ①目、口、耳を十分に使い、中国語の表現を繰り返し練習します。
- ②中国人が日常生活の中でよく使う表現を習得します。
- ③聞き取り能力を一層向上させます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

新出単語の発音・意味を確認する(10分) テキスト例文を朗読する(5-10分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)	30 %	夏休みリスニング課題

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):50% 夏休みリスニング課題:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

それぞれの課題は授業期間中に回収し、必要に応じて解説を加えます。

教科書

中国語リスニング道場,遠藤雅裕・陳淑梅・柴森,朝日出版社,初版,2008,9784255451480

参考文献

中日辞典,北京商務印書館、小学館,小学館

参考文献コメント

中国語辞典は必ず持参すること。特に指定する辞典はなく、使い慣れたもので良い。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101107	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)7[リスニング]		
副題	場面による中国語リスニングと会話		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	呂 小燕		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 中央-503		

授業概要

一年間の中国語を履修した学生を対象とする授業である。初級の学習内容を定着させつつ、聞く、話すなどのコミュニケーション能力を一層向上させることを目指す。より豊かで自然な中国語表現を身につけることを目標とする。

到達目標

初級で習得した文法事項と基本表現に関する知識をさらに発展させながら、中国語のリスニング力と会話力の向上を目的とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	初回はガイダンスを行い、以後は教科書の内容に沿って進んでいく。2回で1課を進める予定である。初級中国語の文法事項のまとめ復習
第2回	第1課:「あなたたちと友達になれますか」
第3回	復習
第4回	第2課:「美味しくて安い」
第5回	復習
第6回	第3課:「どこかに遊びに行こうよ」
第7回	復習
第8回	第4課:「どの祝日が一番好き」
第9回	復習
第10回	第5課:「日本各地を見て回る」
第11回	復習
第12回	第6課:「まるで夢の世界」
第13回	復習
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究、振り返り
第16回	第7課:「送別」
第17回	復習
第18回	第8課:「恋人の話」
第19回	復習
第20回	第9課:「再会」
第21回	復習
第22回	第10課:「案内役」
第23回	復習
第24回	第11課:「家に招待する」
第25回	復習
第26回	第12課:「将来の夢」
第27回	第13課:「具合が悪いかしら」
第28回	総復習
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究、振り返り

授業計画コメント

さまざまなバージョンの中国語に触れて、中国語の文型や表現のパターンに慣れるように繰り返して練習する。教室での「中国語の楽しい旅」を気楽に体験してみてください。

授業方法

講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

文法事項の例文を授業前に和訳すること。聞き取り小テストを授業前によく復習すること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第2学期(学年末試験):40% 第1学期(学期末試験):40%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの答えは返却し、授業内で答案解説を行う。

教科書

話してみたい 中国語スピーキングサロン,相原茂 蘇紅,朝日出版社,初版,2014,9784255452470

教科書コメント

映像を観ながら、会話文を学習する。中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めてもらう。

参考文献コメント

授業中に適宜に紹介する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

受講者の皆さん、知的好奇心を持って、積極的に授業に参加してください。授業でわからないことがあれば、何でも聞いてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101108	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)8[作文]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	大澤 顯浩		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 中央-505		

授業概要

中国語作文を通して中国語文法の全体像を理解する。また、コンピュータで中国語を入力していくようにする。

到達目標

中国語でのコミュニケーションで、その場に相応しい適切な表現を身に付ける。web上での検索など、コンピュータで中国語を用いることができるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	第1課:一語文・一句文
第3回	第2課:基本構文と主題化
第4回	第3課:時間〈時点と時間量〉
第5回	第4課:場所と存在・移動
第6回	ユニット1のまとめ
第7回	第5課:疑問・否定
第8回	第6課:願望・必要
第9回	第7課:命令・依頼・可能
第10回	第8課:推定・伝聞
第11回	ユニット2のまとめ
第12回	第9課:数量表現
第13回	第10課:修飾語
第14回	第1学期のまとめ
第15回	予備日
第16回	第1学期の復習
第17回	第11課:形容詞の程度と動詞の様態
第18回	第12課:比較・類似
第19回	ユニット3のまとめ
第20回	第13課:時制とアスペクト
第21回	第14課:結果・方向・可能
第22回	第15課:二重目的語と対象を表す前置詞
第23回	第16課:使役・受け身・”把”
第24回	ユニット4のまとめ
第25回	第17課:仮定・条件
第26回	第18課:順序・全称
第27回	第19課:原因・目的・逆接
第28回	第20課:並列・累加
第29回	第2学期のまとめ
第30回	予備日

授業計画コメント

適宜、小テストを行う

授業方法

中国語の文をワードで入力してみる。
テキストに基づき予習してきた作文の作成例に解説を加えていく。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

新出単語を調べて、テキストの練習問題を前もって解いておくこと(40分) 授業後に、基本的な文例を暗唱する(20分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	50 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等): 第2学期(学年末試験): 第1学期(学期末試験): 小テスト

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に適宜解説、返却する

教科書

書く中国語,遠藤光暁・董燕,朝日出版社,2000,9784255451435

参考文献

中国語の構文,王亜新,アルク,2011,9784757420564

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

中国語への翻訳、作文を行うには、中国語でのコンピュータ入力が必要になります。とにかく中国語に慣れるようにすることがマスターへの近道です。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101109	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)9[作文]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	小野 泰教		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 5時限 西1-210		

授業概要

この授業では、随時、初級文法も復習しながら、中級レベルの作文能力を身につけることを目標とする。特に、自己紹介文や日記、そしてEメールなど、自己を表現したり友人と交流したりするための文を作成できる能力を養成したい。この授業では、正確な中国語をたくさん書く練習を行い、中国語作文の型を身につけることに重点を置く。多くの作文課題を用意するほか、教員も含めクラス全員で、辞書や書籍、インターネットなどから中国語例文を収集し、研究する時間も設ける。

到達目標

- ・文法事項に基づき、中級レベルの中国語文を書くことができる。
- ・自己紹介文、日記、Eメールの文を中国語で作成できる。
- ・書籍や辞書、インターネットなどから例文を収集し、単語や文法を説明することができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	第1課 文法の解説(結果補語「～のです」)
第3回	第1課 作文練習 例文研究
第4回	第2課 文法の解説(比較文 様態補語)
第5回	第2課 作文練習 例文研究
第6回	第3課 文法の解説(動作の持続を表す動態助詞 方向補語)
第7回	第3課 作文練習 例文研究
第8回	第4課 文法の解説(可能補語 時量補語)
第9回	第4課 作文練習 例文研究
第10回	第5課 文法の解説(「できる」の意を表す助動詞 進行形)
第11回	第5課 作文練習 例文研究
第12回	第6課 文法の解説(連動文「～だけではなく、しかも…」)
第13回	第6課 作文練習 例文研究
第14回	第1学期の復習
第15回	理解度の確認
第16回	第7課 文法の解説(兼語文 否定の仕方)
第17回	第7課 作文練習 例文研究
第18回	第8課 文法の解説(「完了」を表す動態助詞「経験」を表す動態助詞)
第19回	第8課 作文練習 例文研究
第20回	第9課 文法の解説(「～すると、すぐに…する」 存現文)
第21回	第9課 作文練習 例文研究
第22回	第10課 文法の解説(処置文「～によって」)
第23回	第10課 作文練習 例文研究
第24回	第11課 文法の解説(受身文「～したければ…しなければならない」)
第25回	第11課 作文練習 例文研究
第26回	第12課 文法の解説(近い未来における動作や状況の発生「少し」の表現)
第27回	第12課 作文練習 例文研究
第28回	例文研究の復習
第29回	第2学期の復習
第30回	理解度の確認

授業方法

- ・文法事項を学習したうえで、教科書の本文を正確な日本語に翻訳し、作文に使えるような表現をピックアップする。
- ・教科書の作文問題や作文課題のプリントについて添削を行う。
- ・書籍や辞書、インターネットから収集してきた例文について、クラス全員で研究を行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・辞書等を用いつつ、教科書の単語、例文、本文の日本語訳を作成しておくこと(1時間程度)。
- ・教科書の作文問題や作文課題のプリントに取り組むこと(30分程度)。
- ・授業で習った文法が使われている例文を、辞書や書籍、インターネットから収集し、日本語訳や文法を解説できるようにしておくこと(30分程度)。
- ・授業後は、作文課題のプリントを復習し、また授業で提示された例文をノートに書きため、例文集を作成すること(1時間程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	作文課題と例文収集作業への取り組み
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- ・テストの答えは返却し、授業中に解説を行う。
- ・作文課題や例文収集作業については、添削し返却、コメントを行う。

教科書

中国語作文のコツ,本間史,張明傑,金星堂,9784764707054

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

- ・授業で発言する時には、自分の分かるところまでしっかりと考えること。分からない場合でも「どこが分からないのか」「なぜ分からないのか」をはっきり答えること。授業では、そうした発言・思考への頑張り进行评估する。
- ・教科書付属の音声教材を1日5分程度でよいので聴く習慣を身につけてほしい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101110	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)10[総合]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	凌 雲鳳		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1-208		

授業概要

中国語を一年間習得した学生を対象として、主に会話の練習を行う。授業は中国語ネイティブの教員が担当する。通年科目であるため、前期と後期は一冊の教材を使い、中国各地の文化を紹介する。前期は大学のキャンパス、上海の歩行者天国、朝のトレーニングなど、後期は大学のサークル活動、北京故宫博物院、雲南省の少数民族などについて、映像を見ながら練習を進めていく。言語の習得だけでなく、中国の社会、歴史、文化などについて幅広く学習を行い、中国への理解を深めるようにする。

到達目標

1. 約600語の語句を増やして中級レベルの会話と短文の読解ができる 2. 約60個の常用表現の理解と応用ができる 3. 日常生活だけでなく、中国の多方面に関する知識が獲得できる

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の概要と進め方などの説明 第1課 大学のキャンパス 音読練習・聞き取りと会話の練習
第2回	第1課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第3回	第2課 南京路歩行者天国 音読練習・聞き取りと会話の練習
第4回	第2課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第5回	第3課 朝のトレーニング 音読練習・聞き取りと会話の練習
第6回	第3課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第7回	第1課～第3課の復習
第8回	第4課 豫園 音読練習・聞き取りと会話の練習
第9回	第4課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第10回	第5課 国宝 パンダ 音読練習・聞き取りと会話の練習
第11回	第5課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第12回	第6課 世界遺産九寨溝 音読練習・聞き取りと会話の練習
第13回	第6課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第14回	まとめ
第15回	達成度の確認
第16回	第7課 大学のサークル活動 音読練習・聞き取りと会話の練習
第17回	第7課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第18回	第8課 故宫博物院 音読練習・聞き取りと会話の練習
第19回	第8課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第20回	第9課 秦の始皇帝・兵馬俑 音読練習・聞き取りと会話の練習
第21回	第9課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第22回	第7課～第9課 復習
第23回	第10課 北京798芸術区 音読練習・聞き取りと会話の練習
第24回	第10課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第25回	第11課 少数民族 音読練習・聞き取りと会話の練習
第26回	第11課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第27回	第12課 麗江古城 音読練習・聞き取りと会話の練習
第28回	第12課 要約の練習・解説文の読解・新出表現の確認
第29回	まとめ
第30回	達成度の確認

授業方法

二回1課で授業を進めていきます。一回目は主に単語と会話文の音読、文法ポイントの確認、聞き取りの練習を行います。二回目は主に会話内容の要約、説明文の音読と理解を行います。授業中、DVDの映像を見ながら、先生との会話や学生同士の会話練習、発表を実施します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

教材付属のDVDを使って予習すること。各回の予習には30分かかると想定されます。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30%(口頭発表・課題完成度を確認) 第2学期(学年末試験):35%(発音・聴解力と表現力を確認する) 第1学期(学期末試験):35%(発音・聴解力と表現力を確認する) 第1学期と第2学期の最終授業日に、それぞれに口頭発表及び筆記式で理解度を確認する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題とテストの答案を返却して、授業内で解答を行います。

教科書

DVDで学ぶ中国文化 Chinese Adventure, 洪潔清, 株式会社 金星堂, 第4版, 2015, 9784764706866

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101111	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)11[総合]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	馮 青		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1-303		

授業概要

初級の学習成果を踏まえて、「循序漸進法」(順に追って進める方法)により授業を行う。授業では、ビジュアル教材を用い、「会話文」と「短文」の学習のバランスをよくとるように心がけ、また相互の会話練習にも努める。

到達目標

中級レベルの中国語を修得し、会話力を向上させ、あわせて中国社会・文化などに対する理解を深めること。

授業内容

実施回	内容
第1回	1) イントロダクション、2) 初級レベルの文法の復習、会話練習
第2回	第1課 新生入学「会話」
第3回	第1課 新生入学「短文」
第4回	第2課 泼水节「会話」
第5回	第2課 泼水节「短文」
第6回	第3課 苏州园林「会話」
第7回	第3課 苏州园林「短文」
第8回	中間まとめ、第4課 喝茶「会話」
第9回	第4課 喝茶「短文」
第10回	第5課 兵马俑「会話」
第11回	第5課 兵马俑「短文」
第12回	第6課 练习跳舞「会話」
第13回	第6課 练习跳舞「短文」
第14回	第1～6課の要点を復習し、習得度を確認する。
第15回	到達度確認、フィードバック
第16回	第1学期の内容を復習し、聞き取り練習を行う。
第17回	第7課 电影《少林寺》「会話」
第18回	第7課 电影《少林寺》「短文」
第19回	第8課 参观天坛「会話」
第20回	第8課 参观天坛「短文」
第21回	第9課 看京剧「会話」
第22回	第9課 看京剧「短文」
第23回	中間まとめ、第10課 参观中国馆「会話」
第24回	第10課 参观中国馆「短文」
第25回	第11課 石林观光「会話」
第26回	第11課 石林观光「短文」
第27回	第12課 漫步艺术街「会話」
第28回	第12課 漫步艺术街「短文」
第29回	第7～12課の要点を復習し、習得度を確認する
第30回	到達度確認、フィードバック

授業方法

教員による解説のほか、発音、和訳、中訳、聞き取り及び会話練習を行う。またビジュアル資料を通して、映像効果を生かす学習方法をも取り入れる。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回の授業で指示された内容について、予復習を行うこと(それぞれ60分程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	学期末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
学年末試験(第2学期)	30 %	学期末に筆記試験を行う。満点を30点とする。
中間テスト	20 %	第1学期、第2学期に中間テストを各1回行う。満点を10点とする。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	第1学期、第2学期にそれぞれ平常点を10点設ける。平常点には授業への取り組み、出席状況、課題なども含む。
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

G-portなどインターネットシステムも利用するが、基本的に授業中で説明を行う。

教科書

ビジュアル中国一初級から中級へー,衛榕群、汪曉京,朝日出版社,初,2014,978-4-255-45248-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823101112	科目ナンバリング	002D242
講義名	中国語C(中級)12[総合]		
英文科目名	Chinese (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	李 和書		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 中央-503		

授業概要

この授業は一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業であり、最初に中国語の基礎を復習し、その上で、中級レベルの内容に入る。授業では一年を通して一冊の教科書を用いて特に会話・リスニングに重点を置いて解説する。教科書のほか、台湾や香港も含め、いわゆる中国語圏の社会や文化、歴史等についても適宜に映画や時事問題などを織り交ぜて紹介し、中級レベルの中国語の総合的な授業を行う。授業理解の到達度の確認として、随時小テストやリスニングの練習などを行う。なお、授業のスケジュールや内容は、学期開始後に実際の状況に応じて一部変更する場合もある。

到達目標

自分自身の伝えたいことをなるべく授業で学習した中国語で論理的に表明できる、もしくは討論できる程度の表現力を身につけることを目指す。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス 受講者の中国語力の確認 発音の確認と基礎文法の復習1
第2回	発音の確認と基礎文法の復習2
第3回	第1課 自己紹介①一名前、出身:本文・単語・文型・文法の学習
第4回	第1課 自己紹介①一名前、出身:練習、会話と作文
第5回	第2課 自己紹介②一所属、専攻:本文・単語・文型・文法の学習
第6回	第2課 自己紹介②一所属、専攻:練習、会話と作文
第7回	第3課 自己紹介③一家族について:本文・単語・文型・文法の学習
第8回	第3課 自己紹介③一家族について:練習、会話と作文
第9回	第4課 お誘い:本文・単語・文型・文法の学習
第10回	第4課 お誘い:練習、会話と作文
第11回	第5課 レストラン:本文・単語・文型・文法の学習
第12回	第5課 レストラン:練習、会話と作文
第13回	第6課 買い物:本文・単語・文型・文法の学習
第14回	第6課 買い物:練習、会話と作文
第15回	理解度の確認
第16回	第7課 道案内:本文・単語・文型・文法の学習
第17回	第7課 道案内:練習、会話と作文
第18回	第8課 趣味に関する雑談:本文・単語・文型・文法の学習
第19回	第8課 趣味に関する雑談:練習、会話と作文
第20回	第9課 旅行の計画:本文・単語・文型・文法の学習
第21回	第9課 旅行の計画:練習、会話と作文
第22回	第10課 病院:本文・単語・文型・文法の学習
第23回	第10課 病院:練習、会話と作文
第24回	第11課 トラブル:本文・単語・文型・文法の学習
第25回	第11課 トラブル:練習、会話と作文
第26回	第12課 ホテル:本文・単語・文型・文法の学習
第27回	第12課 ホテル:練習、会話と作文
第28回	第13課 約束する:本文・単語・文型・文法の学習
第29回	第13課 約束する:練習、会話と作文
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

授業中にわからない点があれば積極的に質問すること。

授業方法

原則として指定の教科書の項目順に沿って授業を進める。基本的に講義形式をとるが、グループで会話を練習する場合もある。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で取り上げる単語や短文、文法のポイントについて予習や復習を行うのはもとより、教材の各課の練習問題をしっかり完成・確認し、そして教材の音声をなるべく毎日聞き・復唱するように努力するのも肝要である。なお、教科書の本文や用例を暗記するのが望ましい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題や小テストは自己採点のうえ、授業内で解説する。

教科書

中国語でコミュニケーション,氷野善寛ほか,朝日出版社,初,2020,978-4-255-45337-8

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

受講の際には、辞書や電子辞書を持参することが望ましい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823102101	科目ナンバリング	002D342
講義名	中国語C(上級)		
英文科目名	Chinese (Advanced Course; Communication)		
担当者名	遠藤 知佳恵		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1-104		

授業概要

中級修了者及び中検3級合格者又は合格を目指す程度の学力を有する学生を対象に、会話力の向上を目的とします。

到達目標

会話力の向上には先ず正しい発音、語彙力、文法の応用力、そして慣用表現の習得が必要です。本授業では中級までに学習した内容を更に深く掘り下げて定着をはかり、自分が表現したいことを、より楽しく自由に表現できることを目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	学生の自己紹介と授業ガイダンス
第2回	第1課「不見不散」(1) 語句の解説、本文音読、動態助詞“了”、前置詞“給”、連動文など
第3回	第1課「不見不散」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第4回	第2課「多一事不如少一事」(1) 語句の解説、本文音読、語気助詞“了”、“一～就～”など
第5回	第2課「多一事不如少一事」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第6回	第1課・第2課の復習
第7回	第3課「一言為定」(1) 語句の解説、本文音読、結果補語、語気助詞、“既然～就～”など
第8回	第3課「一言為定」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第9回	第4課「不管三七二十一」(1) 語句の解説、本文音読、“就”の用法、“好像”など
第10回	第4課「不管三七二十一」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第11回	第3課・第4課の復習
第12回	第5課「泪如泉湧」(1) 語句の解説、本文音読、様態補語、“把”の構文①など
第13回	第5課「泪如泉湧」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第14回	第5課の復習
第15回	理解度の確認
第16回	自由会話
第17回	第6課「吃一塹長一智」(1) 語句の解説、本文音読、“把”の構文②、可能補語など
第18回	第6課「吃一塹長一智」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第19回	第7課「来得早不如来得巧」(1) 語句の解説、本文音読、方向補語、助動詞など
第20回	第7課「来得早不如来得巧」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第21回	第6課・第7課の復習
第22回	第8課「越帮越忙」(1) 語句の解説、本文音読、“A帮B～”、“不但～而且～”など
第23回	第8課「越帮越忙」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第24回	第9課「天壤之别」(1) 語句の解説、本文音読、比較文、“就算～也～”など
第25回	第9課「天壤之别」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第26回	第8課・第9課の復習
第27回	第10課「心有余而力不足」(1) 語句の解説、本文音読、兼語文、受動文など
第28回	第10課「心有余而力不足」(2) ポイント復習・小テスト、本文暗唱、対話作文
第29回	総復習
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

履修者の学習歴及び学力に応じ、難易度を更に上げたり、内容を追加したり、又は変更したりする可能性があります。

授業方法

毎回テーマを決めて授業の初めに自由会話をする。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習と課題は必ずしてきて下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常評価と提出物の期限遵守状況及び学期末・学年末試験による総合評価。平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10%(宿題の提出状況を含む) 第2学期(学年末試験):40%(指定範囲内容についての理解度) 第1学期(学期末試験):40%(指定範囲内容についての理解度) 小テスト:10%(指定範囲内容についての理解度)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題については毎回各人にコメントする。試験については全体的にコメントする。

教科書

中国語テキスト 会話時間,王京蒂・山田知佳恵,白帝社,初,2017,9784863981072

参考文献コメント

授業時に中日辞典・日中辞典を持参して下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

第1回目に履修者の学習歴を確認し、具体的な授業方法を再考しますので、必ず出席してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U823200101	科目ナンバリング	002D544
講義名	中国語セミナー		
英文科目名	Chinese (Seminar)		
担当者名	大澤 顯浩		
単位	4	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 中央-505		

授業概要

中国古典の詩句や『蒙求』・『四庫全書総目』など標準的な古典の文章を読解し、中国についての理解を深める。web上の資料なども利用して漢文を読解する。

到達目標

中国語についての高度な読解力を身につけ、中国の知識人に対応できる文化的知識を涵養する。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション 古典文読解についての注意点
第2回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(1)
第3回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(2)
第4回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(3)
第5回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(4)
第6回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(5)
第7回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(6)
第8回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(7)
第9回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(8)
第10回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(9)
第11回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(10)
第12回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(11)
第13回	平易な古典の解析と精読:『蒙求』(12)
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	多様な形式の古典文の選読:『資治通鑑』(1)
第17回	多様な形式の古典文の選読:『資治通鑑』(2)
第18回	多様な形式の古典文の選読:『資治通鑑』(3)
第19回	多様な形式の古典文の選読:『資治通鑑』(4)
第20回	多様な形式の古典文の選読:『資治通鑑』(5)
第21回	多様な形式の古典文の選読:伝記文(1)
第22回	多様な形式の古典文の選読:伝記文(2)
第23回	多様な形式の古典文の選読:伝記文(3)
第24回	多様な形式の古典文の選読:伝記文(4)
第25回	多様な形式の古典文の選読:『四庫全書総目』(1)
第26回	多様な形式の古典文の選読:『四庫全書総目』(2)
第27回	多様な形式の古典文の選読:『四庫全書総目』(3)
第28回	多様な形式の古典文の選読:『四庫全書総目』(4)
第29回	授業のまとめ
第30回	予備日

授業計画コメント

テキストは『蒙求』・『四庫全書総目』などの古典文を和刻本なども用いてプリントを作成する。繁体字表記の文章を読むことがある。漢文訓読も可能な限り行う。

授業方法

資料の読解、注釈、人数によってはグループワークも行う

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

語彙を調べること、テキストの下調べと通読(50分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート	30 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	70 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):70%(授業中のパフォーマンス). レポート:30%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業時に適宜解説、返却する

教科書コメント

テキストはプリントを作成して配布する。

参考文献

漢文法基礎 本当にわかる漢文入門:講談社学術文庫,加地伸行,講談社,2010

漢文入門:岩波叢書,小川環樹・西田太一郎,岩波書店,1957

参考文献コメント

中国語の辞書はやや値段が張るが、小学館『中日辞典』程度以上の辞書を用意する必要がある。場合によっては、漢和辞典だけでなく中国で出版されている辞書の類を参考にする必要もある。ハンディな辞書では中級以上のレベルになると役に立たない。電子辞書の類は利用に際して注意が必要であることを理解して用いてもらいたい。その他のものについては、授業中に適宜紹介する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

精力的にnet上の情報も駆使して中国を知ることによってエネルギーを傾けてほしい

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>